

一般演題プログラム

(ワークショップ・口演)

※本号(()内)のページ数を掲載しております。

ワークショップ		プログラム/抄録	
12月3日(水)	基礎/社会: HIV感染の疫学/合同ワークショップ	17:50~19:50	P.41 P.227
12月4日(木)	臨床: 悪性腫瘍/ワークショップ2	11:00~12:00	P.42 P.232
	基礎: ウイルスと宿主因子/ワークショップ3	10:40~12:10	P.42 P.234
12月5日(金)	臨床: 認知障害/ワークショップ4	9:00~10:00	P.43 P.237
	重複感染/ワークショップ5	10:10~11:10	P.44 P.239
	治療困難例/ワークショップ6	11:20~12:20	P.44 P.241
	基礎: 新薬開発の最前線/ワークショップ7	9:00~10:00	P.45 P.243
口演		プログラム/抄録	
12月3日(水)	臨床: 薬剤耐性	11:10~11:50	P.46 P.245
	抗HIV療法1	9:30~10:40	P.47 P.247
	抗HIV療法2	10:50~11:50	P.48 P.250
	抗HIV療法3	14:20~15:10	P.48 P.253
	抗HIV療法4	15:30~16:40	P.49 P.256
	副作用1	9:30~10:40	P.50 P.259
	副作用2・免疫再構築症候群など	10:50~11:40	P.51 P.263
	日和見疾患1	14:20~15:30	P.51 P.265
	日和見疾患2	15:40~16:40	P.52 P.269
	社会: MSM	9:30~10:10	P.53 P.272
	陽性者支援1	15:50~17:00	P.54 P.274
	基礎: アジア・アフリカ地域におけるHIVの分子疫学	14:20~15:00	P.55 P.277
	複製1	15:05~15:55	P.55 P.279
	複製2	16:00~16:50	P.56 P.282
	社会: 薬害	9:30~10:40	P.56 P.284
	検査・相談体制1	10:50~11:40	P.57 P.288
	検査・相談体制2	14:20~15:10	P.58 P.290
	疫学	15:20~16:00	P.59 P.293
	12月4日(木)	臨床: 悪性腫瘍	9:00~10:00
母子感染1		10:10~11:00	P.60 P.298
母子感染2・生活習慣病3		11:20~12:10	P.61 P.300
生活習慣病2		16:50~17:40	P.61 P.303
生活習慣病1		9:00~10:00	P.62 P.305
症例1		10:10~11:10	P.63 P.308
社会: カウンセリング1		11:20~12:10	P.63 P.311
カウンセリング2		16:50~17:40	P.64 P.314
臨床: 看護2		16:40~17:40	P.65 P.316
看護1		9:00~10:00	P.65 P.319
基礎: 検査		17:10~17:40	P.66 P.322
免疫		9:00~9:30	P.67 P.324
アクセサリ遺伝子		9:40~10:30	P.67 P.325
宿主因子		16:40~17:40	P.68 P.328
社会: 陽性者支援2		9:00~10:10	P.68 P.331
薬物使用		10:20~11:20	P.69 P.334
予防・教育		16:40~17:40	P.70 P.337
12月5日(金)	臨床: STI・STD	9:00~10:00	P.71 P.341
	HAND1	10:10~11:10	P.72 P.344
	HAND2・服薬アドヒアランス	11:20~12:20	P.72 P.347
	基礎: 新薬開発	13:40~14:30	P.73 P.350
	臨床: 症例2	9:00~10:00	P.74 P.352
	その他	10:10~10:50	P.74 P.355
	看護4	11:20~12:10	P.75 P.357
	看護3	9:00~10:00	P.76 P.360
	基礎: 薬剤耐性	10:10~11:20	P.77 P.363
	ワクチンと中和抗体	11:30~12:20	P.78 P.366
	社会: 政策・医療体制1	9:50~10:50	P.78 P.369
	政策・医療体制2	11:10~12:20	P.79 P.372

【基礎／社会合同ワークショップ】

■日時：12月3日（水） 17:50～19:50

■会場：第4会場（大阪国際会議場
10F 1009）

WS1 基礎／社会：HIV感染の疫学

座長 武部 豊

（国立感染症研究所 エイズ研究センター）

市川誠一

（名古屋市立大学 看護学部）

WS1-001 日本初のHIV陽性者対象の大規模ウェブ調査「Futures Japan HIV陽性者のためのウェブ調査」～新たに誰のボイスを拾うことができたのか～

井上洋士

放送大学教養学部

WS1-002 急速な病期進行をみた感染初期例群に共通して検出された新規変異HIV-1の流行実態

森 治代¹⁾、小島洋子¹⁾、川畑拓也¹⁾、
駒野 淳²⁾

1) 大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課
2) 国立病院機構名古屋医療センター統括診療部

WS1-003 日本で検出したHIV-1組換え型流行株の解析

近藤真規子¹⁾、佐野貴子¹⁾、椎野禎一郎²⁾、
井戸田一朗³⁾、山中 晃⁴⁾、岩室紳也⁵⁾、
吉村幸浩⁶⁾、立川夏夫⁶⁾、今井光信⁷⁾、
武部 豊⁸⁾、加藤真吾⁹⁾

1) 神奈川県衛生研究所微生物部
2) 国立感染症研究所感染症疫学センター
3) しらかば診療所
4) 新宿東口クリニック
5) 厚木市立病院
6) 横浜市立市民病院
7) 田園調布学園大学
8) 国立感染症研究所エイズ研究センター
9) 慶應義塾大学医学部

WS1-004 国内感染者集団の大規模塩基配列解析5：MSMコミュニティへのサブタイプB感染の動態

椎野禎一郎¹⁾、服部純子²⁾、瀧永博之³⁾、
吉田 繁⁴⁾、石ヶ坪良明⁵⁾、近藤真規子⁶⁾、
貞升健志⁷⁾、横幕能行²⁾、古賀道子⁸⁾、
上田幹夫⁹⁾、田邊嘉也¹⁰⁾、渡邊 大¹¹⁾、
森 治代¹²⁾、南 留美¹³⁾、健山正男¹⁴⁾、
杉浦 互²⁾

1) 国立感染症研究所 感染症疫学センター
2) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター
3) 国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター
4) 北海道大学
5) 横浜市立大学
6) 神奈川県衛生研究所
7) 東京都健康安全研究センター
8) 東京大学医科学研究所
9) 石川県立中央病院
10) 新潟大学医歯学総合病院
11) (独) 大阪医療センター
12) 大阪府立公衆衛生研究所
13) (独) 九州医療センター
14) 琉球大学

WS1-005 ハッテン場におけるHIV感染リスク低減に向けた意識行動調査（第2報）

井戸田一朗^{1,2)}、星野慎二¹⁾、佐野貴子³⁾、
近藤真規子³⁾、金子典代⁴⁾

1) 特定非営利活動法人 SHIP
2) しらかば診療所
3) 神奈川県衛生研究所微生物部
4) 名古屋市立大学看護学部

WS1-006 男性同性愛者（MSM）間のHIV-1流行の国際的感染ネットワークの解明へ向けて：我が国-中国-世界流行間のこれまで明らかにされてこなかった相互関係について

武部 豊¹⁾、内藤雄樹²⁾、草川 茂¹⁾、
加藤真吾³⁾、俣野哲朗¹⁾、近藤真規子⁴⁾

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
2) ライフサイエンス統合データベースセンター
3) 慶応大学医学部微生物・免疫学部
4) 神奈川県衛生研究所 微生物部

WS1-007 MSMを対象とした情報の集約・発信のハブ的装置としてのコミュニティセンター akta

荒木順子^{1,2)}、佐久間久弘^{1,2)}、木南拓也^{1,2)}、
岩橋恒太^{1,3)}、大島 岳^{1,2)}、柴田 恵¹⁾、
阿部甚兵¹⁾、金子典代³⁾、塩野徳史³⁾、
市川誠一³⁾

1) 特定非営利活動法人 akta
2) 公益財団法人エイズ予防財団
3) 名古屋市立大学看護学研究科国際保健看護学

WS1-008 MSMにおけるHIV感染リスク行動とその関連要因

日高庸晴
宝塚大学看護学部

【ワークショップ】

■日時：12月4日（木） 11:00～12:00

■会場：第1会場（大阪国際会議場
10F 1003）

WS2 臨床：悪性腫瘍

座長 萩原将太郎

（国立国際医療研究センター）

高田清式

（愛媛大学 医学部附属病院 総合臨床研修センター）

WS2-009 当科における原発性脳悪性リンパ腫の治療戦略-自験6症例から学んだこと-

小泉祐介、古屋 彩、奥野貴史、南口仁志、
程原佳子、安藤 朗、藤山佳秀

滋賀医科大学消化器・血液内科

WS2-010 HIV感染症に合併したMALTリンパ腫の2例

古畑匡規¹⁾、佐々木秀悟¹⁾、関谷紀貴²⁾、
柳澤如樹¹⁾、菅沼明彦¹⁾、味澤 篤³⁾、
今村顕史¹⁾

1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科
3) 東京都立保険医療公社豊島病院

WS2-011 HIV感染者におけるanal intraepithelial neoplasiaの内視鏡診断

藤原 崇¹⁾、小泉浩一¹⁾、堀口慎一郎²⁾、
高橋雅恵²⁾、今村顕史³⁾

1) がん・感染症センター駒込病院 消化器内科
2) がん・感染症センター駒込病院 病理科
3) がん・感染症センター駒込病院 感染症科

WS2-012 HIV感染者の口腔前癌病変発症リスクの検討

筑丸 寛¹⁾、大久保牧子¹⁾、上田敦久²⁾、
白井 輝²⁾、竹林早苗³⁾、松山奈央³⁾、
石川好美⁴⁾、金子明寛⁵⁾、太田嘉英⁵⁾、
石ヶ坪良明²⁾、藤内 祝¹⁾

1) 横浜市立大学大学院医学研究科顎顔面口腔機能制御学
2) 横浜市立大学大学院医学研究科病態免疫制御内科学
3) 横浜市立大学附属病院 看護部
4) 藤沢市民病院 歯科口腔外科
5) 東海大学医学部 外科学系口腔外科学

■日時：12月4日（木） 10:40～12:10

■会場：第6会場（大阪国際会議場
12F 1202）

WS3 基礎：ウイルスと宿主因子

座長 岩谷靖雅

（国立病院機構 名古屋医療センター）

武内寛明

（東京医科歯科大学歯学総合研究科ウイルス制御学）

WS3-013 HIV-1感染マクロファージからの
ナノチューブ形成促進機構

鈴 伸也、Bhuyan Farzana、橋本倫拓、
Nasser Hesham、日吉真照

熊本大学 エイズ学研究センター
国際先端医学研究拠点施設

WS3-014 CBFβはMDM2によるVifの分解を阻害
することでVifを安定化する

松井佑亮、新堂啓祐、永田佳代子、吉永則良、
丸山 互、白川康太郎、小林正行、高折晃史

京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科

WS3-015 HIV-1 VifにおけるAPOBEC3C/F結合
インターフェース

大出裕高¹⁾、中島雅晶^{1,2)}、河村高志³⁾、
北村紳悟^{1,2)}、長縄由里子¹⁾、黒澤哲平^{1,2)}、
真野由有^{1,2)}、粟津宏昭^{1,2)}、松岡和弘¹⁾、
横幕能行¹⁾、渡邊信久^{2,3)}、杉浦 互^{1,4)}、
岩谷靖雅^{1,4)}

1) (独) 名古屋医療センター 臨床研究センター
感染・免疫研究部
2) 名古屋大学 大学院工学研究科
3) 名古屋大学 シンクロトロン光研究センター
4) 名古屋大学 大学院医学系研究科

WS3-016 細胞内抑制因子TRIM5によるレトロ
ウイルスのキャプシドの認識；もう一つ
の因子Fv1との比較

大倉定之^{1,2)}、Jonathan Stoye²⁾、高橋秀実¹⁾

1) 日本医科大学 微生物学免疫学教室
2) Division of Virology, MRC National Institute for
Medical Research

WS3-017 ヒトRNA輸送TREX-2因子GANPのHIV-1抵抗性の分子機序

前田和彦¹⁾、Almofty Sarah Ameen¹⁾、
下田真唯子¹⁾、Singh Shailendra Kumar¹⁾、
Eid Mohammed Mansour Abbas¹⁾、
池田輝政²⁾、川畑輝哉¹⁾、小糸 厚²⁾、
阪口薫雄¹⁾

1) 熊本大学大学院生命科学研究部感染免疫学講座
免疫学分野
2) 熊本大学大学院生命科学研究部感染制御学

WS3-018 新規宿主因子MARCH8によるHIV-1エンベロープ蛋白のダウンレギュレーション

多田卓哉¹⁾、張 延昭^{1,2)}、小山貴芳¹⁾、
山岡昇司²⁾、藤田英明³⁾、徳永研三¹⁾

1) 国立感染症研究所 感染病理部
2) 東京医科歯科大学 ウイルス制御学分野
3) 長崎国際大学 薬学部 機能形態学

■日時：12月5日（金） 9:00～10:00

■会場：第1会場（大阪国際会議場
10F 1003）

WS4 臨床：認知障害

座長 村井俊哉

（京都大学大学院医学研究科 精神医学）

山本政弘

（国立病院機構 九州医療センター）

WS4-019 認知機能低下が疑われた患者における認知障害の関連因子の検討

仲里 愛^{1,2)}、木内 英¹⁾、渡邊愛祈^{1,2)}、
小松賢亮^{1,2)}、大金美和¹⁾、池田和子¹⁾、
小林泰一郎¹⁾、柳川泰昭¹⁾、水島大輔¹⁾、
源河いくみ¹⁾、西島 健¹⁾、青木孝弘¹⁾、
渡辺恒二¹⁾、本田元人¹⁾、矢崎博久¹⁾、
田沼順子¹⁾、照屋勝治¹⁾、塚田訓久¹⁾、
瀧永博之¹⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾

1) 国立国際医療研究センター
エイズ治療研究・開発センター
2) エイズ予防財団 リサーチレジデント

WS4-020 米国におけるHAND診断のためのタッチパネル型神経心理検査バッテリーの開発

坂本麻衣子^{1,2)}、Marcotte Thomas²⁾、
Deutsch Reena²⁾、Hendrix Terence²⁾、
Severson Joan³⁾、Cosman Josh³⁾、
Merickel Michael³⁾、Heaton Robert²⁾、
Grant Igor²⁾

1) 佐賀大学医学部
2) University of California, San Diego,
HIV Neurobehavioral Research Program
3) Digital Artefacts, LLC

WS4-021 HIV患者の認知機能低下と炎症性サイトカインの解析

郭 悠、辻麻理子、阪木淳子、曾我真千恵、
城崎真弓、長與由紀子、高濱宗一郎、
中嶋恵理子、南 留美、山本政弘

NHO九州医療センター AIDS / HIV総合治療センター

WS4-022 HIV関連神経認知障害（HAND）および他神経疾患における髄液中のネオプテリン量の測定と比較

高田清式¹⁾、村上雄一²⁾、末盛浩一郎²⁾、
中西英元²⁾、辻井智明³⁾、西川典子³⁾、
木村博史⁴⁾、井門敬子⁴⁾、藤原光子⁵⁾、
中村真理子⁵⁾、中尾 綾²⁾、小野恵子⁶⁾、
若松 綾⁶⁾

1) 愛媛大学医学部附属病院 総合臨床研修センター
2) 第一内科
3) 薬物療法・神経内科
4) 薬剤部
5) 看護部
6) 総合医療サポートセンター

■日時：12月5日（金） 10:10～11:10

■会場：第1会場（大阪国際会議場
10F 1003）

WS5 臨床：重複感染

座長 三田英治

（国立病院機構 大阪医療センター）

上平朝子

（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 感染症内科）

■日時：12月5日（金） 11:20～12:20

■会場：第1会場（大阪国際会議場
10F 1003）

WS6 臨床：治療困難例

座長 味澤 篤

（東京都保健医療公社 豊島病院）

小泉祐介

（滋賀医科大学附属病院 血液内科）

WS5-023 HIVとHCVの重複感染を有する血友病患者における、複数の遺伝子型のHCVバリエーションの潜在的な混合感染に関する次世代シーケンサーを用いた検討

大岸誠人¹⁾、四柳 宏¹⁾、堤 武也¹⁾、
瀧永博之²⁾、森屋恭爾³⁾、小池和彦⁴⁾

1) 東京大学医学部感染症内科

2) 国立国際医療研究センター

エイズ治療研究開発センター

3) 東京大学医学部附属病院感染制御部

4) 東京大学医学部消化器内科

WS6-027 Darunavirを含む治療時に持続する低レベルの血中HIV-RNAを検出する症例に関する影響因子の探索

榎田宏幸¹⁾、富島公介¹⁾、矢倉裕輝¹⁾、
廣田和之²⁾、伊熊素子²⁾、小川吉彦²⁾、
矢嶋敬史郎²⁾、笠井大介²⁾、渡邊 大²⁾、
西田恭治²⁾、上平朝子²⁾、白阪琢磨²⁾

1) 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター
薬剤科

2) 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター
感染症内科

WS5-024 大阪医療センターにおけるHIV/HCV
重複感染患者の解析

笠井大介、湯川理己、廣田和之、伊熊素子、
小川吉彦、矢嶋敬史郎、渡邊 大、西田恭治、
上平朝子、白阪琢磨

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 感染症内科

WS6-028 広島大学病院における中枢神経病変合併
HIV感染者の現状と課題

齊藤誠司^{1,3)}、木下一枝²⁾、小川良子³⁾、
喜花伸子³⁾、浅井いづみ³⁾、塚本弥生³⁾、
藤井健司⁴⁾、藤田啓子⁴⁾、畝井浩子⁴⁾、
山崎尚也^{1,3)}、藤井輝久^{1,3)}、高田 昇⁵⁾

1) 広島大学病院 輸血部

2) 広島大学病院 看護部

3) 広島大学病院 エイズ医療対策室

4) 広島大学病院 薬剤部

5) 広島文化学園大学 看護学部

WS5-025 血友病HIV感染者における肝炎ウイルス
(C型, B型, D型) 重複感染症の治療

花房秀次、長尾 梓、和田育子、前川嘉世、
小島賢一

荻窪病院 血液科

WS6-029 難治症例に対する訪問診療を通じて見え
てきたエイズ診療担当医が患者自宅の
訪問診療をする意義

椎木創一¹⁾、向井三穂子²⁾、呉屋多恵子³⁾、
赤嶺一姫³⁾、谷口智宏¹⁾、高山義浩¹⁾、
喜舎場利恵⁴⁾、与那覇愛⁴⁾

1) 沖縄県立中部病院 感染症内科

2) 同 看護部

3) 同 薬局

4) 同 地域連携室

WS5-026 HIV/HBV genotype G/A2 共感染症例
の治療経過

安達英輔¹⁾、児玉華子²⁾、清水清香³⁾、
古川龍太郎¹⁾、大亀路生⁴⁾、佐藤秀憲⁴⁾、
菊地 正⁴⁾、古賀道子⁴⁾、中村仁美⁴⁾、
宮崎菜穂子¹⁾、杉山真也⁵⁾、溝上雅史⁵⁾、
鯉淵智彦¹⁾、岩本愛吉^{1,4)}

1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

2) 北里大学病院 膠原病・感染内科

3) 北里大学北里研究所病院 肝臓病センター

4) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野

5) 国立国際医療研究センター

研究所肝炎・免疫研究センター 肝疾患研究部

WS6-030 HIV陽性者におけるPET (positron emission tomography) 検査に関する後方視的検討

小川吉彦¹⁾、廣田和之¹⁾、伊熊素子¹⁾、
矢嶋敬史郎¹⁾、笠井大介¹⁾、渡邊 大¹⁾、
西田恭治¹⁾、上平朝子¹⁾、岡田誠治²⁾、
白阪琢磨¹⁾

- 1) 国立病院機構大阪医療センター
- 2) 熊本大学エイズ学研究センター

■日時：12月5日(金) 9:00～10:00

■会場：第5会場(大阪国際会議場
12F 特別会議場)

WS7 基礎：新薬開発の最前線

座長 馬場昌範

(鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科附属
難治ウイルス病態制御研究センター)

玉村啓和

(東京医科歯科大学 生体材料工学研究所)

WS7-033 HIV-1 放出阻害を目指したイノシトールリン脂質誘導体の創製

立石 大¹⁾、安楽健作²⁾、村尾直樹¹⁾、
古賀涼子¹⁾、岡本良成¹⁾、大塚雅巳¹⁾、
藤田美歌子³⁾

- 1) 熊本大学大学院生命科学研究部生体機能分子合成学分野
- 2) 熊本保健科学大学保健科学部 医学検査学科
- 3) 熊本大学薬学部附属創薬研究センター

WS7-034 HIV-1 プロテアーゼ (PR) の二量体化は2ステップで起こり darunavir のPR二量体化阻害は最初のステップで起こる

林 宏典^{1,2)}、高宗暢暁³⁾、葦澤 崇⁴⁾、
青木 学^{1,5)}、森下宜彦⁴⁾、
Debananda Das²⁾、こう康博¹⁾、
三隅将吾⁶⁾、満屋裕明^{1,2)}

- 1) 熊本大学生命科学研究部血液内科
- 2) NIH/NCI Experimental Retrovirology Section
- 3) 熊本大学イノベーション推進機構知的財産部門
- 4) Bruker Daltonics K. K.
- 5) 熊本保健科学大学保健科学部
- 6) 熊本大学大学院薬学教育部環境分子保健学

WS7-031 HIV-1 Capsid 蛋白の自己崩壊誘導作用を有する低分子化合物 (HIV-1 CA decomposers) の同定

天野将之¹⁾、
Pedro Miguel Salcedo-Gomez¹⁾、
満屋裕明^{1,2)}

- 1) 熊本大学医学部・血液内科学・膠原病内科学・
感染免疫診療部
- 2) Experimental Retrovirology Section, NCI, NIH,
DHHS, Bethesda, MD, USA.

WS7-032 新規CCR5阻害剤GRL-007の抗HIV活性の検討

中田浩智¹⁾、Debananda Das²⁾、
前田賢次²⁾、
Kalapala Venkateswara Rao³⁾、
Arun K. Ghosh³⁾、満屋裕明^{1,2)}

- 1) 熊本大学血液内科・感染免疫診療部
- 2) Experimental Retrovirology Section, HIV and
AIDS Malignancy Branch; National Cancer Institute,
National Institutes of Health, Bethesda, Maryland
20892-1868, USA
- 3) Departments of Chemistry and Medicinal
Chemistry, Purdue University, West Lafayette,
Indiana 47907, USA

■日時：12月3日(水) 11:10～11:50

■会場：第1会場(大阪国際会議場
10F 1003)

01 臨床：薬剤耐性

座長 杉浦 互

(独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター)

菊池 嘉

(国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

01-001 新規HIV/AIDS診断症例における薬剤耐性HIVの動向

岡崎玲子¹⁾、蜂谷敦子¹⁾、服部純子¹⁾、
瀧永博之²⁾、渡邊 大³⁾、長島真美⁴⁾、
貞升健志⁴⁾、近藤真規子⁵⁾、南 留美⁶⁾、
吉田 繁⁷⁾、森 治代⁸⁾、内田和江⁹⁾、
椎野慎一郎¹⁰⁾、加藤真吾¹¹⁾、千葉仁志⁷⁾、
伊藤俊広¹²⁾、佐藤武幸¹³⁾、上田敦久¹⁴⁾、
石ヶ坪良明¹⁴⁾、古賀一郎¹⁵⁾、太田康男¹⁵⁾、
山元泰之¹⁶⁾、福武勝幸¹⁶⁾、古賀道子¹⁷⁾、
岩本愛吉¹⁷⁾、西澤雅子¹⁰⁾、岡 慎一²⁾、
岩谷靖雅¹⁾、松田昌和¹⁾、重見 麗¹⁾、
保坂真澄¹⁾、林田庸総²⁾、横幕能行¹⁾、
上田幹夫¹⁸⁾、大家正義¹⁹⁾、田邊嘉也¹⁹⁾、
白阪琢磨³⁾、小島洋子⁸⁾、藤井輝久²⁰⁾、
高田 昇²⁴⁾、高田清式²¹⁾、山本政弘⁶⁾、
松下修三²²⁾、藤田次郎²³⁾、健山正男²³⁾、
杉浦 互^{1,10)}

- 1) (独) 名古屋医療センター
- 2) 国立国際医療研究センター
- 3) (独) 大阪医療センター
- 4) 東京都健康安全研究センター
- 5) 神奈川県衛生研究所
- 6) (独) 九州医療センター
- 7) 北海道大学
- 8) 大阪府立公衆衛生研究所
- 9) 埼玉県衛生研究所
- 10) 国立感染症研究所
- 11) 慶應義塾大学
- 12) (独) 仙台医療センター
- 13) 千葉大学
- 14) 横浜市立大学
- 15) 帝京大学
- 16) 東京医科大学
- 17) 東京大学医科学研究所
- 18) 石川県立中央病院
- 19) 新潟大学
- 20) 広島大学
- 21) 愛媛大学
- 22) 熊本大学
- 23) 琉球大学
- 24) おだ内科クリニック

01-002 当センターにおけるRaltegravirの耐性症例の検討

青木孝弘、柴田 怜、柳川泰昭、小林泰一郎、
水島大輔、西島 健、木内 英、渡辺恒二、
本田元人、田沼順子、塚田訓久、照屋勝治、
瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

01-003 当センターにおけるRalpivirine耐性症例の検討

青木孝弘、柴田 怜、柳川泰昭、小林泰一郎、
水島大輔、西島 健、木内 英、渡辺恒二、
本田元人、田沼順子、塚田訓久、照屋勝治、
瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター

01-004 外部精度評価をもとにしたHIV薬剤耐性検査推奨法の考案

吉田 繁¹⁾、熊谷菜海²⁾、松田昌和³⁾、
橋本 修⁴⁾、岡田清美⁵⁾、伊部史朗⁵⁾、
和山行正⁵⁾、西澤雅子⁶⁾、佐藤かおり⁷⁾、
藤澤真一⁷⁾、遠藤知之⁸⁾、藤本勝也⁸⁾、
豊嶋崇徳⁸⁾、加藤真吾⁹⁾、杉浦 互³⁾

- 1) 北海道大学保健科学研究所
- 2) 北海道大学医学部保健学科
- 3) 国立病院機構名古屋医療センター
- 4) LSIメディエンス
- 5) 北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所
- 6) 国立感染症研究所
- 7) 北海道大学病院検査・輸血部
- 8) 北海道大学病院血液内科
- 9) 慶應義塾大学医学部微生物学

■日時：12月3日(水) 9:30～10:40

■会場：第2会場(大阪国際会議場
10F 1001)

O2 臨床：抗HIV療法1

座長 渡邊 大

(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター)

塚田訓久

(国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

O2-005 残存プロウイルス量と抗HIV療法の治療期間との関連についての検討

渡邊 大^{1,2)}、蘆田美紗¹⁾、鈴木佐知子¹⁾、
湯川理己^{1,2)}、廣田和之²⁾、伊熊素子²⁾、
小川吉彦²⁾、矢嶋敬史郎²⁾、笠井大介²⁾、
西田恭治²⁾、上平朝子²⁾、白阪琢磨^{1,2)}

1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
臨床研究センターエイズ先端医療研究部
2) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター感染症内科

O2-006 準完全長HIV-1プロウイルスの定量とその臨床的意義

親泊あいみ¹⁾、田水映子²⁾、須藤弘二¹⁾、
戸槇祐子³⁾、藤原 宏²⁾、長谷川直樹²⁾、
加藤真吾¹⁾

1) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室
2) 慶應義塾大学医学部感染制御センター
3) 慶應義塾大学病院看護部

O2-007 国立大阪医療センターにおけるABC/3TC+RALについての検討

湯川理己¹⁾、渡邊 大¹⁾、廣田和之¹⁾、
伊熊素子¹⁾、小川吉彦¹⁾、矢嶋敬史郎¹⁾、
笠井大介¹⁾、西本亜矢²⁾、矢倉裕輝³⁾、
櫛田宏幸³⁾、富島公介³⁾、西田恭治¹⁾、
上平朝子¹⁾、白阪琢磨¹⁾

1) 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター
感染症内科
2) 同医療情報部
3) 同薬剤科

O2-008 日本人HIV患者におけるラルテグラビル薬物動態の検討

大木桜子¹⁾、土屋亮人²⁾、林田庸総²⁾、
増田純一¹⁾、瀧永博之²⁾、菊池 嘉²⁾、
和泉啓司郎¹⁾、岡 慎一²⁾

1) 国立国際医療研究センター病院 薬剤部
2) 国立国際医療研究センター病院
エイズ治療・研究開発センター

O2-009 HIV患者におけるラルテグラビル髄液中濃度と薬物トランスポータの遺伝子多型についての検討

土屋亮人¹⁾、林田庸総¹⁾、濱田哲暢^{2,3)}、
加藤真吾⁴⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一^{1,5)}、
瀧永博之^{1,5)}

1) 国立国際医療研究センター病院
エイズ治療・研究開発センター
2) 国立がん研究センター研究所
TR総合支援グループ 臨床薬理部門
3) 熊本大学大学院医学教育部
腫瘍治療・トランスレーショナル学分野
4) 慶應義塾大学医学部 微生物学・免疫学教室
5) 熊本大学エイズ学研究センター

O2-010 当センターにおける初回抗HIV療法の動向と新規インテグラーゼ阻害薬の使用経験

塚田訓久¹⁾、増田純一²⁾、赤沢 翼²⁾、
水島大輔¹⁾、西島 健¹⁾、青木孝弘¹⁾、
木内 英¹⁾、渡辺恒二¹⁾、本田元人¹⁾、
矢崎博久¹⁾、源河いくみ¹⁾、田沼順子¹⁾、
照屋勝治¹⁾、瀧永博之¹⁾、菊池 嘉¹⁾、
岡 慎一¹⁾

1) 国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター
2) 薬剤部

O2-011 当院におけるElvitegravir/Cobicistat/Tenofovir/Emtricitabine配合錠の初回導入例に関する検討

矢嶋敬史郎¹⁾、矢倉裕輝²⁾、湯川理己¹⁾、
廣田和之¹⁾、伊熊素子¹⁾、小川吉彦¹⁾、
笠井大介¹⁾、渡邊 大¹⁾、西田恭治¹⁾、
上平朝子¹⁾、白阪琢磨¹⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科
2) 国立病院機構大阪医療センター薬剤科

■日時：12月3日(水) 10:50～11:50

■会場：第2会場(大阪国際会議場
10F 1001)

03 臨床：抗HIV療法2

座長 笠井大介

(独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科)

上田幹夫

(社会医療法人財団 董仙会 恵寿金沢病院)

03-012 駒込病院における抗HIV薬の使用状況
(その1)
～EVG/COBI/TDF/FTCの使用成績～

佐野俊彦¹⁾、朽木絵美¹⁾、柳澤如樹²⁾、
菅沼明彦²⁾、味澤 篤³⁾、今村顕史²⁾

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院薬剤科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 3) 東京都保健医療公社豊島病院

03-013 駒込病院における抗HIV薬の使用状況
(その2)
～EVGの有効性と安全性の検討～

朽木絵美¹⁾、佐野俊彦¹⁾、柳澤如樹²⁾、
菅沼明彦²⁾、味澤 篤³⁾、今村顕史²⁾

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院薬剤科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 3) 東京都保健医療公社豊島病院

03-014 石川県立中央病院におけるドルテグラビル
使用状況について

安田明子¹⁾、下川千賀子¹⁾、林 志穂¹⁾、
柏原宏暢¹⁾、山田三枝子²⁾、辻 典子²⁾、
小谷岳春³⁾

- 1) 石川県立中央病院 薬剤部
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団
- 3) 石川県立中央病院免疫感染症科

03-015 当院におけるドルテグラビルの使用状況
について

安田 恵、日笠真一、秀田恭子、木村 健
兵庫医科大学病院薬剤部

03-016 当院におけるドルテグラビル変更の早期
の安全性と有効性の検討

鈴木克典¹⁾、齋藤和義²⁾、稲村由香³⁾、
寺本美江子^{1,4)}、田中美佐子⁴⁾、野田雅美⁵⁾、
曾我真千恵²⁾、真弓俊彦⁶⁾、田中良哉²⁾

- 1) 産業医科大学病院 感染制御部
- 2) 産業医科大学 第一内科学
- 3) 産業医科大学病院 薬剤部
- 4) 産業医科大学病院 看護部
- 5) 産業医科大学病院 事務部 医療支援課
- 6) 産業医科大学 救急医学

03-017 当院におけるドルテグラビルナトリウム
の使用例に関する分析

金井 修¹⁾、竹松茂樹²⁾、井上 悠³⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構京都医療センター呼吸器科
- 2) 独立行政法人国立病院機構京都医療センター薬剤部
- 3) 独立行政法人国立病院機構京都医療センター看護部

■日時：12月3日(水) 14:20～15:10

■会場：第2会場(大阪国際会議場
10F 1001)

04 臨床：抗HIV療法3

座長 宮川寿一

(熊本大学医学部附属病院
血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部)

吉野宗宏

(独立行政法人国立病院機構 姫路医療センター)

04-018 当院におけるdolutegravirの使用成績

吉村幸浩¹⁾、坂本洋平¹⁾、天野雄一郎¹⁾、
五十嵐俊²⁾、立川夏夫¹⁾

- 1) 横浜市立市民病院感染症内科
- 2) 横浜市立市民病院薬剤部

04-019 日本人HIV感染者におけるドルテグラビル
血中濃度の検討

水谷実花¹⁾、加藤万理¹⁾、戸上博昭¹⁾、
福島直子¹⁾、齋藤謙一¹⁾、松本修一¹⁾、
今村淳治²⁾、横幕能行²⁾、杉浦 亘²⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター
エイズ治療開発センター

04-020 名古屋医療センターにおけるNRTI Sparing Regimenの検討

今村淳治¹⁾、横幕能行¹⁾、中畑征史^{1,2)}、鈴木 純³⁾、今橋真弓¹⁾、小暮あゆみ¹⁾、杉浦 亙¹⁾

- 1) 名古屋医療センター エイズ治療開発センター
- 2) 同 呼吸器内科
- 3) 同 総合内科

04-021 慢性期合併症対策としてのetravirine/raltegravir (ETR/RAL) 併用レジメンの試み

柳澤邦雄¹⁾、小川孔幸¹⁾、林 俊誠²⁾、小林宣彦¹⁾、石崎芳美³⁾、城田陽子⁴⁾、兒玉知子⁵⁾、合田 史⁶⁾、内海英貴⁷⁾、野島美久¹⁾

- 1) 群馬大学医学部附属病院 血液内科
- 2) 前橋赤十字病院 総合・感染症内科
- 3) 群馬大学医学部附属病院 看護部
- 4) 群馬大学医学部附属病院 患者支援センター
- 5) 群馬大学医学部附属病院 薬剤部
- 6) 国立病院機構高崎総合医療センター 総合診療科
- 7) 医療法人社団日高会 白根クリニック

04-022 当院におけるリルピビルン塩酸塩の使用成績 第2報

矢倉裕輝¹⁾、榎田宏幸¹⁾、富島公介¹⁾、西本亜矢²⁾、廣田和之³⁾、伊熊素子³⁾、小川吉彦³⁾、矢嶋敬史郎³⁾、笠井大介³⁾、渡邊 大³⁾、西田恭治³⁾、吉野宗宏⁴⁾、上平朝子³⁾、白阪琢磨³⁾

- 1) 国立病院機構 大阪医療センター 薬剤科
- 2) 国立病院機構 大阪医療センター 医療情報部
- 3) 国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科
- 4) 国立病院機構 姫路医療センター 薬剤科

■日時：12月3日(水) 15:30～16:40

■会場：第2会場(大阪国際会議場 10F 1001)

O5 臨床：抗HIV療法4

座長 横幕能行

((独)国立病院機構 名古屋医療センター エイズ治療開発センター)

藤井輝久

(広島大学病院 輸血部)

05-023 名古屋医療センターにおける抗HIV療法初回導入の動向調査

戸上博昭¹⁾、福島直子¹⁾、水谷実花¹⁾、加藤万理¹⁾、今村淳治³⁾、松本修一¹⁾、横幕能行²⁾、杉浦 亙²⁾

- 1) 名古屋医療センター薬剤科
- 2) 名古屋医療センター臨床研究センター
- 3) 名古屋医療センター感染症科

05-024 名古屋医療センターにおける抗HIV療法の薬剤変更についての実態と傾向について

加藤万理¹⁾、戸上博昭¹⁾、水谷実花¹⁾、福島直子¹⁾、齋藤謙一¹⁾、松本修一¹⁾、今村淳治²⁾、横幕能行²⁾、杉浦 亙²⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター エイズ治療開発センター

05-025 ガイドラインによる初回推奨/代替抗HIV療法以外の組み合わせで治療中の患者背景

菊地 正¹⁾、古川龍太郎²⁾、宮崎菜穂子¹⁾、佐藤秀憲¹⁾、大亀路生¹⁾、安達英輔²⁾、中村仁美¹⁾、古賀道子¹⁾、岩本愛吉^{1,2)}、鯉淵智彦²⁾

- 1) 東京大学医科学研究所 先端医療研究センター感染症分野
- 2) 東京大学医科学研究所 附属病院感染免疫内科

05-026 ART導入例におけるレジメンとウイルス量及びCD4数の変化の関係

藤井輝久¹⁾、齋藤誠司¹⁾、山崎尚也¹⁾、小川良子²⁾、木下一枝⁴⁾、藤井健司³⁾、藤田啓子³⁾、畝井浩子³⁾、高田 昇⁵⁾

- 1) 広島大学病院輸血部/エイズ医療対策室
- 2) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 3) 広島大学病院薬剤部
- 4) 広島大学病院看護部
- 5) 広島文化学園大学看護学部

05-027 抗HIV療法中のlow level viremia症例の臨床検討

中村仁美¹⁾、古川龍太郎³⁾、佐藤秀憲²⁾、大亀路生²⁾、宮崎菜穂子⁴⁾、安達英輔³⁾、菊地 正²⁾、古賀道子²⁾、鯉淵智彦³⁾、岩本愛吉^{1,2,3)}

- 1) 東京大学医科学研究所 感染症国際研究センター
- 2) 東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野
- 3) 東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科
- 4) 薬剤部

05-028 E/C/F/TDF 第Ⅲ相臨床試験におけるアジア人での有効性及び安全性の評価 (投与144週時点)

松下修三¹⁾、大類 諭²⁾、D Wohl³⁾、N Clumeck⁴⁾、J Szwarcberg⁵⁾

- 1) 国立大学法人熊本大学 エイズ学研究センター
- 2) 日本たばこ産業株式会社
- 3) University of North Carolina
- 4) St Pierre University Hospital
- 5) Gilead Sciences

05-029 PI/r+F/TDF, NNRTI+F/TDF又はRAL+F/TDFからE/C/F/TDFへレジメン変更を行った試験におけるアジア人での有効性及び安全性の評価 (投与48週時点)

岡 慎一¹⁾、大類 諭²⁾、J Arribas³⁾、A Pozniak⁴⁾、A Mills⁵⁾、J Szwarcberg⁶⁾、D Piontkowsky⁶⁾

- 1) 独立行政法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 日本たばこ産業株式会社
- 3) Hospital Universitario La Paz
- 4) Chelsea and Westminster Hospital
- 5) Anthony Mills MD
- 6) Gilead Sciences

■日時：12月3日(水) 9:30～10:40

■会場：第3会場 (大阪国際会議場 10F 1002)

O6 臨床：副作用1

座長 遠藤知之

(北海道大学病院 血液内科)

宇野健司

(奈良県立医科大学 感染症センター)

06-030 使用成績調査から得られたビリアード錠300mgの使用状況と副作用について (8年の調査期間)

小松文美、山田良一、南 千晶、森下友紀、丹 求

日本たばこ産業株式会社 医薬事業部 医薬情報部

06-032 尿β2ミクログロブリンのTDF腎障害の予測における有用性の検討

西島 健^{1,2)}、田中紀子³⁾、松井優作³⁾、川崎洋平⁴⁾、古川恵太郎¹⁾、柴田 怜¹⁾、柳川泰昭^{1,2)}、谷崎隆太郎¹⁾、小林泰一郎¹⁾、水島大輔^{1,2)}、青木孝弘¹⁾、渡辺恒二¹⁾、木内 英¹⁾、本田元人¹⁾、矢崎博久¹⁾、田沼順子¹⁾、塚田訓久¹⁾、照屋勝治¹⁾、瀧永博之^{1,2)}、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一^{1,2)}

- 1) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 熊本大学 エイズ学研究センター
- 3) 国立国際医療研究センター臨床研究センター 医療情報解析研究部
- 4) 東京理科大学 理学部数学科

06-033 テノホビル/エムトリシタビン/エルビテグラビル/コピシスタット、ドルテグラビル開始後の腎機能マーカーの推移

日笠真一¹⁾、安田 恵¹⁾、秀田恭子¹⁾、木村 健¹⁾、徳川多津子²⁾、澤田暁宏²⁾、日笠 聡²⁾

- 1) 兵庫医科大学病院薬剤部
- 2) 兵庫医科大学血液内科

06-034 広島大学病院におけるHIV感染者の骨代謝異常の現状と原因の検討

山崎尚也^{1,3)}、木下一枝²⁾、小川良子²⁾、喜花伸子³⁾、浅井いづみ³⁾、塚本弥生³⁾、藤井健司⁴⁾、藤田啓子⁴⁾、畝井浩子⁴⁾、齊藤誠司^{1,3)}、藤井輝久^{1,3)}、高田 昇⁵⁾

- 1) 広島大学病院 輸血部
- 2) 広島大学病院 看護部
- 3) 広島大学病院 エイズ医療対策室
- 4) 広島大学病院 薬剤部
- 5) 広島文化学園大学 看護学部

06-035 本邦初のTDF/FTC/EVG/COBI (STB) による横紋筋融解症が疑われた1例

治田匡平¹⁾、青井博志¹⁾、赤澤紫乃¹⁾、古西 満²⁾、宇野健司²⁾、善本英一郎²⁾、三笠桂一²⁾、梶井節子¹⁾

1) 奈良県立医科大学附属病院 薬剤部
2) 奈良県立医科大学 感染症センター

06-036 ABC/3TC + DRV + RTV + RALによるcART後に副腎不全が顕在化したAIDS症例

福田寛文、和田秀穂、徳永博俊、杉原 尚
川崎医科大学血液内科学

■日時：12月3日(水) 10:50～11:40

■会場：第3会場(大阪国際会議場 10F 1002)

07 臨床：副作用2・免疫再構築症候群など

座長 白野倫徳

(大阪市立総合医療センター 感染症センター)

宮崎菜穂子

(東京大学医科学研究所附属病院 薬剤部)

07-037 HIV感染者における尿中L型脂肪酸結合蛋白と慢性腎臓病の関連

日笠真一¹⁾、安田 恵¹⁾、秀田恭子¹⁾、木村 健¹⁾、徳川多津子²⁾、澤田暁宏²⁾、日笠 聡²⁾

1) 兵庫医科大学病院薬剤部
2) 兵庫医科大学血液内科

07-038 生活圏において安全な薬物治療を受け続けてもらうために～かかりつけ薬局利用(面分業)推進に向けた取組の現状と課題～

宮崎菜穂子¹⁾、小林路世²⁾、千野寿子²⁾、古川龍太郎³⁾、安達英輔³⁾、菊地 正³⁾、古賀道子³⁾、中村仁美³⁾、鯉淵智彦³⁾、岩本愛吉³⁾

1) 東京大学医科学研究所附属病院薬剤部/地域医療連携室
2) 同 看護部
3) 同 感染免疫内科

07-039 生活圏において適正な薬物治療を支え続けるために～スキルアップのための薬業協働の試み～

宮崎菜穂子¹⁾、圓岡大典²⁾

1) 東京大学医科学研究所附属病院
2) 国立病院機構東京病院

07-040 大腸菌由来RNA分解酵素MazF遺伝子を導入したCD4陽性T細胞の自家移植による遺伝子治療I相臨床試験

Jacobson Jeffrey¹⁾、蝶野英人²⁾、Metz Meghan¹⁾、Plesa Gabriela³⁾、Jadlowsky Julie³⁾、Lacey Simon³⁾、Levine Bruce³⁾、吉岡広文²⁾、城所智秀²⁾、戸村大助²⁾、峰野純一²⁾、竹迫一任²⁾、June Carl³⁾

1) Drexel University College of Medicine
2) タカラバイオ株式会社
3) University of Pennsylvania

07-041 HBV/HIV重複感染者におけるART開始後のHBs抗原量の推移に関する検討

光本富士子¹⁾、村田昌之^{1,2)}、志水元洋¹⁾、豊田一弘¹⁾、小川栄一¹⁾、古庄憲浩^{1,2)}、林 純³⁾

1) 九州大学病院総合診療科
2) 九州大学大学院感染制御医学分野
3) 原土井病院九州総合診療センター

■日時：12月3日(水) 14:20～15:30

■会場：第3会場(大阪国際会議場 10F 1002)

08 臨床：日和見疾患1

座長 立川夏夫

(横浜市立市民病院)

西島 健

(国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

08-042 アトバコンの承認がニューモシスチス肺炎治療に及ぼした影響

白野倫徳¹⁾、笠松 悠¹⁾、市田裕之²⁾、佐々木剛²⁾、後藤哲志¹⁾

1) 大阪市立総合医療センター感染症センター
2) 大阪市立総合医療センター薬剤部

08-043 サイトメガロウイルス脳脊髄炎を合併したAIDSの一例

古川龍太郎¹⁾、菊地 正²⁾、安達英輔¹⁾、古賀道子²⁾、宮崎菜穂子³⁾、中村仁美⁴⁾、兼元みずき⁵⁾、武田克彦⁵⁾、鯉淵智彦¹⁾、岩本愛吉^{1,2,4)}

1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
2) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野
3) 東京大学医科学研究所附属病院薬剤部
4) 東京大学医科学研究所感染症国際研究センター
5) 国際医療福祉大学三田病院神経内科

08-044 病理学的検査により診断できたHIV合併クリプトスポリジウム症の一例

福島一彰¹⁾、田頭保彰²⁾、佐々木秀悟³⁾、
関谷紀貴³⁾、柳澤如樹¹⁾、菅沼明彦¹⁾、
味澤 篤⁴⁾、今村顕史¹⁾

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院
- 2) 東京都立多摩総合医療センター感染症科
- 3) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科
- 4) 東京都保健医療公社豊島病院

08-045 BKウイルス尿症が認められたHIV-1感染症患者の検討

村田昌之¹⁾、光本富士子¹⁾、居原 毅¹⁾、
志水元洋¹⁾、迎 はる¹⁾、豊田一弘¹⁾、
小川栄一¹⁾、江藤義隆¹⁾、古庄憲浩¹⁾、
林 純²⁾

- 1) 九州大学病院 総合診療科
- 2) 原土井病院 九州総合診療センター

08-046 VZV-IRISが疑われたVZV-ARNの一例

渡邊彩香¹⁾、細田智弘^{1,2)}、宮上泰樹¹⁾、
春日俊光³⁾、大串大輔^{1,4)}、志賀教克¹⁾、
乾 啓洋¹⁾、上原由紀¹⁾、磯沼 弘¹⁾、
内藤俊夫¹⁾

- 1) 順天堂大学医学部総合診療科
- 2) 川崎市立川崎病院感染症内科
- 3) 順天堂大学医学部眼科
- 4) 聖路加国際病院感染症科

08-047 当院におけるART時代のKaposi肉腫症例の治療成績・予後

柳川泰昭¹⁾、田里大輔²⁾、照屋勝治¹⁾、
柴田 怜¹⁾、古川恵太郎¹⁾、谷崎隆太郎¹⁾、
小林泰一郎¹⁾、水島大輔¹⁾、西島 健¹⁾、
木内 英¹⁾、青木孝弘¹⁾、渡辺恒二¹⁾、
本田元人¹⁾、田沼順子¹⁾、塚田訓久¹⁾、
瀧永博之¹⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センター病院
エイズ治療研究開発センター
- 2) 琉球大学大学院医学研究科
感染症・呼吸器・消化器内科学

08-048 耳下腺腫瘍を合併したHIV陽性5症例

松浦基夫¹⁾、大田加与²⁾、藤本卓司³⁾、
大成功一²⁾

- 1) 市立堺病院腎代謝免疫内科
- 2) 市立堺病院呼吸器内科
- 3) 市立堺病院総合内科

■日時：12月3日(水) 15:40～16:40

■会場：第3会場(大阪国際会議場
10F 1002)

09 臨床：日和見疾患2

座長 小林正行

(京都大学医学部附属病院 地域ネットワーク医療部)

徳川多津子

(兵庫医科大学 血液内科)

09-049 日本におけるHIV感染症に伴う日和見合併症の動向—全国HIV診療拠点病院アンケート調査より—

塚本美鈴¹⁾、寺坂陽子¹⁾、志岐直美¹⁾、
田代将人¹⁾、照屋勝治²⁾、泉川公一¹⁾、
安岡 彰³⁾

- 1) 長崎大学病院感染制御教育センター
- 2) 国立国際医療研究センター戸山病院
エイズ治療・研究開発センター
- 3) 市立大村市民病院

09-050 HIV感染者の剖検例における日和見感染症と腫瘍の頻度

片野晴隆¹⁾、比島恒和²⁾、望月 真^{3,6)}、
児玉良典⁴⁾、小柳津直樹⁵⁾、大田泰徳⁵⁾、
峰宗太郎^{1,6)}、猪狩 亨⁶⁾、味澤 篤²⁾、
照屋勝治⁶⁾、田沼順子⁶⁾、菊池 嘉⁶⁾、
岡 慎一⁶⁾、上平朝子⁴⁾、白阪琢磨⁴⁾、
鯉淵智彦⁵⁾、岩本愛吉⁵⁾、長谷川秀樹¹⁾、
岡田誠治⁷⁾、安岡 彰⁸⁾

- 1) 国立感染症研究所感染病理部
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院
- 3) 杏林大学
- 4) 大阪医療センター
- 5) 東京大学医科学研究所
- 6) 国立国際医療研究センター
- 7) 熊本大学エイズ学研究センター
- 8) 大村市民病院

09-051 当院におけるHIV-1感染者のCMV感染症についての検討

大谷眞智子、村松 崇、山元泰之、
四本美保子、一木昭人、備後真登、清田育男、
大龍 学、尾形享一、萩原 剛、鈴木隆史、
天野景浩、福武勝幸

東京医科大学 臨床検査医学分野

09-052 HIV感染症合併ニューモシスチス肺炎の治療におけるステロイド併用期間の検討

柴田 怜、青木孝弘、西島 健、古川恵太郎、谷崎隆太郎、柳川泰昭、小林泰一郎、水島大輔、渡辺恒二、木内 英、本田元人、田沼順子、塚田訓久、瀧永博之、照屋勝治、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター ACC

09-053 ST合剤の脱感作療法中に発現する過敏症の発現時期と投与法に関する検討

富島公介¹⁾、櫛田宏幸¹⁾、矢倉裕輝¹⁾、廣田和之²⁾、伊熊素子²⁾、小川吉彦²⁾、矢嶋敬史郎²⁾、笠井大介²⁾、渡邊 大²⁾、西田恭治²⁾、上平朝子²⁾、白阪琢磨²⁾

1) 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 薬剤科

2) 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科

09-054 HIV感染者での心臓超音波検査による肺高血圧症スクリーニングの検討

松枝 佑¹⁾、和田達彦¹⁾、田中住明¹⁾、莊 信博¹⁾、星山隆行¹⁾、高山陽子²⁾、廣畑俊成¹⁾

1) 北里大学医学部膠原病感染内科
2) 北里大学病院感染管理室

■日時：12月3日(水) 9:30～10:10

■会場：第4会場(大阪国際会議場 10F 1009)

010 社会：MSM

座長 日高庸晴

(宝塚大学 看護学部)

本間隆之

(山梨県立大学)

010-055 若年層のMSMを対象にしたコミュニティスペース利用者のライフスタイルとメンタルヘルスに関する調査

星野慎二¹⁾、長野 香¹⁾、宮島謙介^{1,2,4)}、井戸田一郎^{1,2)}、日高庸晴^{1,3)}、辻 宏幸⁵⁾、白阪琢磨⁶⁾

1) 特定非営利活動法人 SHIP
2) しらかば診療所
3) 宝塚大学看護学部
4) 東京都福祉保健局健康安全部
5) 公益財団法人 エイズ予防財団
6) 独立行政法人 国立病院機構大阪医療センター

010-056 地方自治体とNGOの協働による中高年MSM層を対象としたHIV予防啓発定期刊行物の発行および発行を促進した要因

大畑泰次郎¹⁾、伴仲昭彦¹⁾、田中信雄¹⁾、後藤大輔¹⁾、尾崎拓治²⁾、野崎丈晴³⁾、塩野徳史⁴⁾、市川誠一⁴⁾、鬼塚哲郎⁵⁾

1) MASH大阪
2) 大阪府健康医療部健康づくり課
3) 大阪市保健所感染症対策課
4) 名古屋市立大学
5) 京都産業大学

010-057 診療所を窓口としたMSM向け検査キャンペーン(2013年)

川畑拓也¹⁾、森 治代¹⁾、小島洋子¹⁾、後藤大輔^{2,3)}、町登志雄^{2,3)}、鬼塚哲郎^{2,4)}、塩野徳史⁵⁾、市川誠一⁵⁾、岳中美江⁶⁾、岩佐 厚⁷⁾、亀岡 博⁸⁾、菅野展史⁹⁾、杉本賢治¹⁰⁾、高田昌彦¹¹⁾、田端運久¹²⁾、中村幸生¹³⁾、古林敬一¹⁴⁾

1) 大阪府立公衆衛生研究所
2) MASH大阪
3) 公益財団法人エイズ予防財団
4) 京都産業大学
5) 名古屋市立大学
6) 特定非営利活動法人CHARM
7) 岩佐クリニック
8) 亀岡クリニック
9) 菅野クリニック
10) 京橋杉本クリニック
11) 高田泌尿器科
12) 田端医院
13) 中村クリニック
14) そねざき古林診療所

010-058 首都圏居住のMSMを対象とした、HIV抗体検査普及のためのウェブコンテンツ「あんしんHIV検査サーチ」の構成とその検討

岩橋恒太^{1,2,3)}、高野 操⁴⁾、大島 岳^{1,3)}、阿部甚兵¹⁾、柴田 恵¹⁾、矢島 嵩^{5,6)}、加藤悠二⁷⁾、佐久間久弘^{1,3)}、大木幸子⁸⁾、塩野徳史²⁾、金子典代²⁾、市川誠一²⁾、生島 嗣⁵⁾、荒木順子^{1,3)}

1) akta
2) 名古屋市立大学
3) エイズ予防財団
4) 国立国際医療・研究センター
5) ぶれいす東京
6) 日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
7) 国際基督教大学
8) 杏林大学

■日時：12月3日(水) 15:50～17:00

■会場：第4会場(大阪国際会議場
10F 1009)

011 社会：陽性者支援1

座長 井上洋士

(放送大学)

田中千枝子

(日本福祉大学 社会福祉学部)

011-059 HIV陽性者の医療機関への通院状況

細川陸也¹⁾、井上洋士²⁾、戸ヶ里泰典²⁾、
高久陽介^{3,4)}、矢島 嵩^{3,5)}、板垣貴志⁶⁾、
阿部桜子⁷⁾、吉澤繁行⁸⁾、大木幸子⁹⁾、
若林チヒロ¹⁰⁾、片倉直子¹¹⁾、山内麻江¹²⁾

- 1) 名古屋市立大学
- 2) 放送大学
- 3) 特定非営利活動法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 4) 公益財団法人エイズ予防財団
- 5) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 6) 株式会社アクセライト
- 7) NTT docomo
- 8) ANGEL LIFE NAGOYA
- 9) 杏林大学
- 10) 埼玉県立大学
- 11) 神戸市看護大学
- 12) 東京医科大学看護専門学校

011-060 「Futures Japan HIV陽性者のためのウェブ調査」における回答者属性の特徴の検討

板垣貴志¹⁾、鈴木達郎¹⁾、井上洋士²⁾、
戸ヶ里泰典²⁾、高久陽介^{3,4)}、矢島 嵩^{3,5)}、
阿部桜子⁶⁾、細川陸也⁷⁾、吉澤繁行⁸⁾、
大木幸子⁹⁾、若林チヒロ¹⁰⁾、片倉直子¹¹⁾、
山内麻江¹²⁾

- 1) 株式会社アクセライト
- 2) 放送大学
- 3) 特定非営利活動法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 4) 公益財団法人エイズ予防財団
- 5) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 6) NTT docomo
- 7) 名古屋市立大学
- 8) ANGEL LIFE NAGOYA
- 9) 杏林大学
- 10) 埼玉県立大学
- 11) 神戸市看護大学
- 12) 東京医科大学看護専門学校

011-061 HIV陽性者の陽性判明後の性行動及び性の相談に関連した経験に関する調査研究

井上洋士¹⁾、戸ヶ里泰典¹⁾、細川陸也²⁾、
阿部桜子³⁾、板垣貴志⁴⁾、片倉直子⁵⁾、
山内麻江⁶⁾、吉澤繁行⁷⁾、高久陽介^{8,9)}、
矢島 嵩^{8,10)}、若林チヒロ¹¹⁾、大木幸子¹²⁾

- 1) 放送大学
- 2) 名古屋市立大学
- 3) NTT docomo
- 4) 株式会社アクセライト
- 5) 神戸市看護大学
- 6) 東京医科大学看護専門学校
- 7) ANGEL LIFE NAGOYA
- 8) 日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 9) 公益財団法人エイズ予防財団
- 10) ぶれいす東京
- 11) 埼玉県立大学
- 12) 杏林大学

011-062 大阪における陽性者を主な対象とした電話相談の現状

大北全俊、岡本 学、岳中美江、土居加寿子、
平島園子、福庭加奈、福村和美、寶來徳子

特定非営利活動法人CHARM

011-063 電話相談に寄せられるHIV陽性者のトラブルおよび法的問題に関する相談から見えること

嶋田憲司¹⁾、藤部荒術¹⁾、河口和也^{1,2)}、
高嶋能文³⁾、柳橋晃俊¹⁾、飯塚信吾¹⁾、
太田昌二¹⁾、新美 広¹⁾

- 1) 特定非営利活動法人動くゲイとレズビアンのか(アカー)
- 2) 広島修道大学
- 3) 医療法人社団めぐみ会
自由が丘メディカルプラザ2小児科

011-064 HIV陽性者の老後に対する不安について

細川陸也¹⁾、井上洋士²⁾、戸ヶ里泰典²⁾、
高久陽介^{3,4)}、矢島 嵩^{3,5)}、板垣貴志⁶⁾、
阿部桜子⁷⁾、吉澤繁行⁸⁾、大木幸子⁹⁾、
若林チヒロ¹⁰⁾、片倉直子¹¹⁾、山内麻江¹²⁾

- 1) 名古屋市立大学
- 2) 放送大学
- 3) 特定非営利活動法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 4) 公益財団法人エイズ予防財団
- 5) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 6) 株式会社アクセライト
- 7) NTT docomo
- 8) ANGEL LIFE NAGOYA
- 9) 杏林大学
- 10) 埼玉県立大学
- 11) 神戸市看護大学
- 12) 東京医科大学看護専門学校

O11-065 地域における新規HIV陽性者対象プログラムの実践と課題～大阪での「ひよっこクラブ」5年間の振り返り～

白野倫徳、岳中美江、伊達直弘、大野まどか、野坂祐子、柏木瑛信、松浦基夫、青木理恵子

特定非営利活動法人CHARM

■日時：12月3日(水) 14:20～15:00

■会場：第6会場(大阪国際会議場 12F 1202)

O12 基礎：アジア・アフリカ地域におけるHIVの分子疫学

座長 市村 宏

(金沢大学 医薬保健研究域医学系 ウイルス感染症制御学分野)

井戸栄治

(東京医科歯科大学大学院 歯医学総合研究科)

O12-066 インドネシア・スラバヤ市の性産業従事者におけるHIV流行

亀岡正典^{1,2)}、小瀧将裕^{2,3)}、Qamariyah Khairunisa Siti Qamariyah⁴⁾、Sukartiningrum Septhia Dwi⁴⁾、Arfijanto M. Vitanata⁴⁾、内海孝子^{2,3)}、Normalina Irine⁴⁾、Handajani Retno⁴⁾、Widiyanti Prihartini⁴⁾、Rusli Musofa⁴⁾、Rahayu Retno Pudji⁴⁾、Lusida Maria Inge⁴⁾、林 祥剛²⁾、Nasronudin⁴⁾

- 1) 神戸大学大学院保健学研究科
- 2) 神戸大学大学院医学研究科感染症センター
- 3) 神戸大学インドネシア拠点
- 4) アイルラング大学熱帯病研究所

O12-067 ラオス国におけるHIV-1遺伝子型および薬剤耐性変異解析

名原奈津紀¹⁾、渡部匡史¹⁾、荒木真由²⁾、石崎有澄美³⁾、賀川裕貴¹⁾、小林 潤⁴⁾、渡部久実⁵⁾、市村 宏³⁾、藤室雅弘¹⁾

- 1) 京都薬科大学 細胞生物学分野
- 2) 横浜薬科大学 薬用資源学
- 3) 金沢大学 医薬保健学研究域医学系 ウイルス感染症制御学
- 4) 琉球大学 医学部保健学科 国際地域保健学
- 5) 琉球大学 熱帯生物圏研究センター 感染免疫制御学

O12-068 コンゴ盆地最奥地に位置するコンゴ民主共和国赤道州北部におけるHIVの分子疫学

井戸栄治^{1,2)}、Ahuka Steve^{3,4)}、Karhemere Stomy⁴⁾、Mangonza Bienvenue⁵⁾、Aziati Ishmael²⁾、Muyembe Jean-Jacques^{3,4)}

- 1) 東京医科歯科大学大学院歯医学総合研究科
- 2) ガーナ大学野口記念医学研究所
- 3) キンシャサ大学医学部
- 4) コンゴ民主共和国国立生物医学研究所
- 5) ギメナ総合病院

O12-069 ガーナ国コフォリデュア州立病院における現行ARTの有効性評価に関する4年間に亘る追跡調査研究

井戸栄治^{1,2)}、Barnor Jacob²⁾、Aziati Ishmael²⁾、Agbosu Esinam²⁾、Brandful James²⁾、Ampofo William²⁾、Danquah-Damperty George³⁾、Morton Samuel³⁾、山岡昇司¹⁾

- 1) 東京医科歯科大学大学院歯医学総合研究科
- 2) ガーナ大学野口記念医学研究所
- 3) コフォリデュア州立病院

■日時：12月3日(水) 15:05～15:55

■会場：第6会場(大阪国際会議場 12F 1202)

O13 基礎：複製1

座長 櫻木淳一

(大阪大学微生物病研究所 ウイルス感染制御分野)

上野貴将

(熊本大学 エイズ学研究センター)

O13-070 HIV-1マトリックス(MA)変異体を用いた複製前期過程の解析

引地優太^{1,2)}、武田英里³⁾、藤野真之¹⁾、Freed Eric⁴⁾、中山英美³⁾、塩田達雄³⁾、俣野哲朗^{1,2)}、村上 努¹⁾

- 1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター
- 2) 東京大学 医科学研究所
- 3) 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス感染制御分野
- 4) HIV Drug Resistance Program Center for Cancer Research National Cancer Institute, USA

O13-071 HIV-1インテグラーゼの逆転写過程以前における機能の解析

高畑辰郎¹⁾、徳永研三²⁾、長谷川温彦¹⁾、神奈木真理¹⁾、増田貴夫¹⁾

- 1) 東京医科歯科大学 免疫治療学分野
- 2) 国立感染症研究所 感染病理部

013-072 HIV-1 逆転写過程のストランド転移におけるウイルスゲノム RNA 5'末端配列の重要性

増田貴夫¹⁾、佐藤洋子¹⁾、高畑辰郎¹⁾、加藤義一¹⁾、厚井聡志¹⁾、長谷川温彦¹⁾、河合剛太²⁾、神奈木真理¹⁾

1) 東京医科歯科大学大学院 歯学総合研究科
2) 千葉工業大学 工学部 生命環境科学科

013-073 プロモーター領域を標的としたRNAによる潜伏感染細胞からのHIV再活性化の抑制

鈴木一雄

St Vincent's Centre for Applied Medical Research,
The Kirby Institute, University of New South Wales,
Australian

013-074 HIVパッケージングシグナル内最重要領域SL1の機能的構造に関する多角的解析

櫻木小百合、塩田達雄、櫻木淳一

大阪大学 微生物病研究所 ウイルス感染制御分野

■日時：12月3日(水) 16:00～16:50

■会場：第6会場(大阪国際会議場
12F 1202)

O14 基礎：複製2

座長 前田洋助

(熊本大学 大学院 生命科学研究部 感染防御)

田中勇悦

(琉球大学大学院医学研究科免疫学講座)

014-075 αGalCer augmented the "trans-infection" of sulfatide-specific CD1a-restricted T cells via immature DCs

新谷英滋¹⁾、大脇敦子¹⁾、清水真澄¹⁾、Lucia MORI²⁾、Gennaro DE LIBERO²⁾、高橋秀実¹⁾

1) 日本医科大学大学院微生物学・免疫学分野
2) Singapore Immunology Network

014-076 無治療の日本人HIV感染者におけるGag-Protease依存のウイルス増殖能と病態進行性の網羅的解析

阪井恵子¹⁾、近田貴敬¹⁾、長谷川真理¹⁾、瀧永博之^{1,3)}、岡 慎一^{1,3)}、滝口雅文^{1,2)}

1) 熊本大学 エイズ学研究センター
2) 熊本大学 国際先端医学研究拠点
3) 国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター

014-077 血友病のHIV slow progressor 6例を対象としたdeep sequencingによるtropism解析

林田庸総、土屋亮人、瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一

独立行政法人国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター

014-078 HIV-1 残存感染細胞の活性を測ることの意義

石坂 彩¹⁾、佐藤秀憲²⁾、立川(川名) 愛²⁾、中村仁美³⁾、古賀道子²⁾、細谷紀彰³⁾、鯉淵智彦⁴⁾、野本明男¹⁾、岩本愛吉^{2,3,4)}、水谷壮利¹⁾

1) 公財 微生物化学研究会 微生物化学研究所(微化研) 基盤生物研究部
2) 東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野
3) 東京大学医科学研究所 感染症国際研究センター
4) 東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科

014-079 次世代シーケンサーを用いたHIV感染時期推定法の研究

須藤弘二¹⁾、藤原 宏²⁾、佐野貴子³⁾、近藤真規子³⁾、井戸田一朗⁴⁾、今井光信⁵⁾、長谷川直樹²⁾、加藤真吾¹⁾

1) 慶應義塾大学医学部 微生物学・免疫学教室
2) 慶應義塾大学医学部 感染制御センター
3) 神奈川県衛生研究所 微生物部
4) しらかば診療所
5) 田園調布学園大学

■日時：12月3日(水) 9:30～10:40

■会場：第7会場(大阪国際会議場
10F 1008)

O15 社会：薬害

座長 松浦基夫

(市立堺病院 腎代謝免疫内科)

村上典子

(神戸赤十字病院)

015-080 HIV感染血友病患者の健康関連QOLの実態調査

大金美和¹⁾、塩田ひとみ¹⁾、小山美紀¹⁾、柴山志穂美²⁾、久地井寿哉³⁾、岩野友里³⁾、柿沼章子³⁾、大平勝美³⁾、池田和子¹⁾、瀧永博之¹⁾、岡 慎一¹⁾

1) 独立行政法人国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター
2) 杏林大学保健学部看護学科看護養護教育学専攻
3) 社会福祉法人はばたき福祉事業団

**015-081 HIV / HCV 重複感染患者の支援特性
(第5報) ~薬害HIV感染被害者の長期間
生存データに基づく生存予測分析**

久地井寿哉¹⁾、柿沼章子¹⁾、岩野友里²⁾、
大平勝美¹⁾

- 1) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団

**015-082 HIV / HCV 重複感染患者の支援特性
(第6報) ~薬害HIV感染被害者の長期療
養と今後の支援の方向性と提言**

柿沼章子¹⁾、久地井寿哉¹⁾、岩野友里²⁾、
大平勝美¹⁾

- 1) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団

**015-083 HIV 感染血友病における抗HIV薬の未使
用例について**

立浪 忍¹⁾、三間屋純一²⁾、白幡 聡³⁾、
大平勝美⁴⁾、花井十伍⁵⁾、桑原理恵⁶⁾、
秋田美恵子⁷⁾、瀧 正志⁸⁾

- 1) 聖マリアンナ医科大学医学統計学
- 2) 静岡県熱海健康福祉センター
- 3) 北九州八幡東病院
- 4) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
- 5) ネットワーク医療と人権
- 6) 聖マリアンナ医科大学アイソトープ研究施設
- 7) 聖マリアンナ医科大学小児科
- 8) 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科

**015-084 大阪医療センターにおける薬害HIV遺族
健康診断の取組みを通じた今後の遺族支
援の検討**

西川歩美^{1,2)}、仲倉高広²⁾、下司有加³⁾、
白阪琢磨⁴⁾

- 1) ネットワーク医療と人権
- 2) 大阪医療センター 臨床心理室
- 3) 大阪医療センター
- 4) 大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

**015-085 HIV 感染血友病患者の医療と福祉の連携
へのアプローチ~療養支援アセスメント
シートの検討~**

塩田ひとみ¹⁾、大金美和¹⁾、渡部恵子²⁾、
坂本玲子²⁾、伊藤ひとみ³⁾、川口 玲⁴⁾、
石塚さゆり⁴⁾、山田三枝子⁵⁾、高山次代⁵⁾、
羽柴知恵子⁶⁾、鍵浦文子⁷⁾、木下一枝⁸⁾、
長與由紀子⁹⁾、城崎真弓⁹⁾、池田和子¹⁾、
瀧永博之¹⁾、岡 慎一¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センター病院
- 2) 北海道大学病院
- 3) NHO 仙台医療センター
- 4) 新潟大学医歯学総合病院
- 5) 石川県立中央病院
- 6) NHO 名古屋医療センター
- 7) 広島大学
- 8) 広島大学病院
- 9) NHO 九州医療センター

**015-086 心理専門カウンセラーおよびピアカウ
ンセラーの介入に関する研究**

藤原良次¹⁾、早坂典生¹⁾、橋本 謙²⁾、
山田富秋³⁾、種田博之⁴⁾、藤原 都¹⁾、
白阪琢磨⁵⁾

- 1) 特定非営利活動法人りょうちゃんず
- 2) 岐阜県/愛知県スクールカウンセラー
- 3) 松山大学
- 4) 産業医科大学
- 5) 国立病院機構大阪医療センター

■日時：12月3日(水) 10:50~11:40

■会場：第7会場(大阪国際会議場
10F 1008)

016 社会：検査・相談体制 1

座長 岩室紳也

(厚木市立病院 泌尿器科)

今井光信

(田園調布学園大学)

**016-087 NGOと行政が連携した検査イベントに
おける現状と課題に関する一考察**

藤原良次、早坂典生

特定非営利活動法人りょうちゃんず

**016-088 東京都内公的検査機関におけるHIV
検査数および陽性例の解析(2008年
と2013年の比較)**

長島真美、宮川明子、新開敬行、林 志直、
貞升健志、甲斐明美

東京都健康安全研究センター 微生物部

016-089 HIVスクリーニング検査の偽陽性に関する検討

吉澤定子^{1,2)}、栗林智子³⁾、奥田 誠³⁾、
宮崎泰斗²⁾、前田 正²⁾、福井悠人^{1,2)}、
塚田真弓¹⁾、佐藤恵美¹⁾、舘田一博⁴⁾、
瓜田純久²⁾、小原 明³⁾

- 1) 東邦大学医療センター大森病院 感染管理部
- 2) 東邦大学医療センター大森病院 総合診療・急病センター
- 3) 東邦大学医療センター大森病院 輸血部
- 4) 東邦大学医学部微生物・感染症学講座

016-090 HIV郵送検査に関する実態調査と検査精度調査 (2013)

須藤弘二¹⁾、佐野貴子²⁾、近藤真規子²⁾、
今井光信³⁾、加藤真吾¹⁾

- 1) 慶應義塾大学医学部 微生物学・免疫学教室
- 2) 神奈川県衛生研究所 微生物部
- 3) 田園調布学園大学

016-091 唾液によるHIV抗体スクリーニング検査の有用性の検討

宇佐美雄司¹⁾、總山貴子¹⁾、菱田純代¹⁾、
荒川美貴子¹⁾、横幕能行²⁾、杉浦 互³⁾

- 1) 国立病院機構名古屋医療センター歯科口腔外科
- 2) 国立病院機構名古屋医療センターエイズ総合診療部
- 3) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部

017-093 東京都南新宿検査相談室におけるHIV検査受検者の動向 その2 ～相談行動より相談ニーズの分析と予防を中心としたアプローチの検討～

矢永由里子^{1,2)}、櫻井具子^{1,3)}、角田洋隆¹⁾、
今井朋美¹⁾、小沼和広¹⁾、山本貴子¹⁾、
村主千明¹⁾

- 1) 東京都南新宿検査・相談室
- 2) 慶應義塾大学医学部感染制御センター
- 3) 遠藤嗜癪問題相談室

017-094 無料匿名検査に併せて施行したアンケート調査に見る受検者の背景と今後の課題

保科斉生、田村久美、保阪由美子、清水昭宏、
佐藤文哉、堀野哲也、中澤 靖、堀 誠治

東京慈恵会医科大学附属病院 感染制御部

017-095 保健所のHIV検査相談を利用した妊婦の受検動機等に関する調査

佐野貴子¹⁾、山田里佳²⁾、矢永由里子³⁾、
近藤真規子¹⁾、塚原優己⁴⁾、今井光信⁵⁾、
加藤真吾⁶⁾

- 1) 神奈川県衛生研究所微生物部
- 2) 愛知厚生連海南病院産婦人科
- 3) 慶應義塾大学医学部感染制御センター
- 4) 国立成育医療研究センター産科
- 5) 田園調布学園大学
- 6) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室

■日時：12月3日(水) 14:20～15:10

■会場：第7会場(大阪国際会議場
10F 1008)

017 社会：検査・相談体制2

座長 矢永由里子

(慶應義塾大学医学部 感染制御センター)

佐野貴子

(神奈川県衛生研究所 微生物部)

017-096 感染不安の背景に深刻な精神的・心理的課題を抱えた受検者への心理支援

森 祐子^{1,2)}、鎌田依里^{1,3)}、小島菜々子^{1,3)}、
横幕能行¹⁾、杉浦 互¹⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター
- 2) エイズ予防財団 リサーチレジデント
- 3) エイズ予防財団 エイズ診療中核拠点病院相談員

017-092 東京都南新宿検査・相談室におけるHIV検査受検者の動向 その1～相談概要と陽性告知後相談の援助内容を中心として～

櫻井具子^{1,2)}、矢永由里子^{1,3)}、角田洋隆¹⁾、
今井朋美¹⁾、小沼和広¹⁾、山本貴子¹⁾、
村主千明¹⁾

- 1) 東京都南新宿検査・相談室
- 2) 遠藤嗜癪問題相談室
- 3) 慶應義塾大学医学部感染制御センター

一般演題 (口演)

■日時：12月3日(水) 15:20～16:00

■会場：第7会場(大阪国際会議場
10F 1008)

018 社会：疫学

座長 中瀬克己

(岡山大学 医療教育総合開発センター)

井戸田一郎

(しらかば診療所)

018-097 Estimate of HIV prevalence in Japan

Nishiura Hiroshi

Graduate School of Medicine, The University of Tokyo

018-098 梅毒はどのくらい増えているのか？

井戸田一郎

しらかば診療所

018-099 WB法HIV抗体確認検査陽性数による全国
のHIV診断動向

中瀬克己¹⁾、川畑拓也²⁾、中谷友樹³⁾、
山岸拓也⁴⁾、尾本由美子⁵⁾、神谷信行⁶⁾、
杉下由行⁶⁾、高野つる代⁷⁾

1) 岡山大学医療教育総合開発センター

2) 大阪府立公衆衛生研究所

3) 立命館大学文学部

4) 国立感染症研究所

5) 豊島区保健所

6) 東京都健康安全センター

7) 横浜市磯子区福祉保健センター

018-100 慶應義塾大学病院におけるHIV-1複合感染
(dual infection) の検討

藤原 宏¹⁾、須藤弘二²⁾、加藤真吾²⁾、
親泊あいみ²⁾、上養義典¹⁾、南宮 湖³⁾、
小谷 宙⁴⁾、戸蒔祐子⁵⁾、長谷川直樹¹⁾、
岩田 敏¹⁾

1) 慶應義塾大学医学部感染制御センター

2) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室

3) 慶應義塾大学医学部呼吸器内科

4) 慶應義塾大学病院薬剤部

5) 慶應義塾大学病院看護部

■日時：12月4日(木) 9:00～10:00

■会場：第2会場(大阪国際会議場
10F 1001)

019 臨床：悪性腫瘍

座長 鯉淵智彦

(東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科)

四本美保子

(東京医科大学 臨床検査医学分野)

019-101 HHV-8関連キャスルマン病患者に
おける低Na血症に関する後方視的解析

今井一男、前田卓哉、原 悠、佐々木裕明、
藤倉雄二、長 盛親、三木田馨、三沢和央、
叶宗一郎、川名明彦

防衛医科大学校内科学(感染症・呼吸器)

019-102 HIV感染悪性腫瘍患者の終末期医療での
心理職の関わりについて：現状と課題
～国内アンケート調査と聞き取り調査を
もとに～

矢永由里子¹⁾、小島勇貴²⁾、永井宏和³⁾、
岩崎奈美³⁾、加藤真樹子⁴⁾、味澤 篤⁵⁾、
田沼順子⁶⁾、萩原将太郎⁷⁾、上平朝子⁸⁾、
岡田誠治⁹⁾

1) 慶應義塾大学感染制御センター

2) 名古屋大学

3) 国立病院機構名古屋医療センター

4) 鶴見病院

5) 豊島病院

6) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発
センター

7) 国立国際医療研究センター

8) 国立病院機構大阪医療センター

9) 熊本大学エイズ学研究センター

019-103 リツキシマブと副腎皮質ステロイドに
より一時的に病勢コントロールが可能で
あったAIDS関連リンパ腫に伴う血球貪
食症候群の一例

小山田亮祐¹⁾、熊本忠史¹⁾、古川恵一²⁾、
森慎一郎¹⁾

1) 聖路加国際病院血液腫瘍科

2) 聖路加国際病院感染症科

O19-104 血清HHV-8陽性、血清hIL-6上昇を伴う全身性リンパ節腫脹を呈し、抗HIV療法にて改善を認めたHIV感染者の1例

錦 信吾¹⁾、佐々木秀悟¹⁾、関谷紀貴²⁾、柳澤如樹¹⁾、菅沼明彦¹⁾、味澤 篤³⁾、今村顕史¹⁾

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科
- 3) 東京都保健医療公社豊島病院

O19-105 非エイズ指標悪性腫瘍の臨床的検討

四本美保子、大谷眞智子、上久保淑子、一木昭人、備後真登、村松 崇、清田育男、大瀧 学、萩原 剛、鈴木 隆、天野景裕、山元泰之、福武勝幸

東京医科大学病院 臨床検査医学科

O19-106 腹水を契機に診断された形質芽球性リンパ腫の1例

田頭保彰^{1,2)}、佐々木秀悟³⁾、関谷紀貴³⁾、柳澤如樹²⁾、菅沼明彦²⁾、今村顕史²⁾、味澤 篤⁴⁾

- 1) 東京都立多摩総合医療センター 感染症科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科
- 3) がん・感染症センター都立駒込病院 臨床微生物科
- 4) 東京都保健医療公社豊島病院

■日時：12月4日(木) 10:10～11:00

■会場：第2会場(大阪国際会議場 10F 1001)

O20 臨床：母子感染1

座長 喜多恒和

(奈良県総合医療センター 周産期母子医療センター)

外川正生

(大阪市立総合医療センター 小児医療センター)

O20-107 最近5年間のHIV感染妊娠とその背景に関する検討

杉浦 敦^{1,2)}、喜多恒和^{1,2)}、藤田 綾^{1,2)}、吉野直人²⁾、外川正生²⁾、塚原優己²⁾

- 1) 奈良県総合医療センター
- 2) 厚労省科研費エイズ対策研究事業「HIV母子感染の疫学調査と予防対策および女性・小児感染者支援に関する研究」班

O20-108 わが国におけるHIV感染妊娠857例の臨床的疫学的検討

喜多恒和^{1,2)}、吉野直人²⁾、外川正生²⁾、杉浦 敦^{1,2)}、藤田 綾^{1,2)}、高橋尚子²⁾、中西美紗緒²⁾、箕浦茂樹²⁾、松田秀雄²⁾、高野政志²⁾、桃原祥人²⁾、小林裕幸²⁾、佐久本薫²⁾、太田 寛²⁾、石橋理子^{1,2)}、大島教子²⁾、明城光三²⁾、戸谷良造²⁾、稲葉憲之²⁾、和田裕一²⁾、塚原優己²⁾

- 1) 奈良県総合医療センター産婦人科
- 2) 厚労省科研費エイズ対策研究事業「HIV母子感染の疫学調査と予防対策および女性・小児感染者支援に関する研究」班

O20-109 HIV感染妊婦診療における周産期母子医療センターの役割

明城光三¹⁾、大沢昌二¹⁾、鈴木智子¹⁾、蓮尾泰之²⁾、五味洸秀人³⁾、林 公一⁴⁾、谷口晴記⁵⁾、喜多恒和⁶⁾、外川正生⁷⁾、吉野直人⁸⁾、大島教子⁹⁾、稲葉憲之⁹⁾、和田裕一¹⁾、塚原優己¹⁰⁾

- 1) 国立病院機構仙台医療センター
- 2) 国立病院機構九州医療センター
- 3) 河北総合病院
- 4) 国立病院機構 関門医療センター
- 5) 三重県立総合医療センター
- 6) 奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター
- 7) 大阪市立総合医療センター
- 8) 岩手医科大学
- 9) 獨協医科大学
- 10) 国立成育医療研究センター

O20-110 HIV陽性妊婦から出生した児の知能発達検査および頭部MRIにおける経時的変化の検討

松浦 潤¹⁾、細川真一²⁾、田中瑞恵¹⁾、木内 英³⁾、菊池 嘉³⁾、岡 慎一³⁾、松下竹次¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センター小児科
- 2) 国立国際医療研究センター新生児内科
- 3) 国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター

O20-111 成人と新生児におけるAZTリン酸化物細胞内濃度の比較

木内 英¹⁾、加藤真吾²⁾、細川真一³⁾、田中瑞恵³⁾、中西美紗緒⁴⁾、定月みゆき⁴⁾、田沼順子¹⁾、瀧永博之¹⁾、矢野 哲⁴⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 慶応義塾大学医学部 微生物・免疫学教室
- 3) 国立国際医療研究センター 小児科
- 4) 国立国際医療研究センター 産婦人科

■日時：12月4日(木) 11:20～12:10

■会場：第2会場(大阪国際会議場
10F 1001)

O21 臨床：母子感染2・生活習慣病3

座長 松浦基夫

(市立堺病院 腎代謝免疫内科)

堀場昌英

(国立病院機構 東埼玉病院)

O21-112 外国人の父親をもつHIV患児の服薬開始に至るまでの経緯—父親の文化・生活背景より薬に対する考え方の相互理解への介入—

高木雅敏、塘田貴代美

熊本大学医学部附属病院

O21-113 HIV陽性女性とHIV陰性男性の夫婦における体外受精-胚移植による妊娠出産例

松浦基夫¹⁾、三田洋子²⁾、住田るみ²⁾、那波みゆき³⁾、宇高 歩³⁾、齊藤孝子⁴⁾、樫木和美⁵⁾、森 治代⁶⁾、川畑拓也⁶⁾、小島洋子⁶⁾

- 1) 市立堺病院腎代謝免疫内科
- 2) 市立堺病院看護部
- 3) 市立堺病院薬剤科
- 4) 市立堺病院臨床検査技術科
- 5) 市立堺病院医療相談室
- 6) 大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課

O21-114 HIV感染症における女性症例の動向と経過についての検討

堀場昌英¹⁾、廣瀬友城¹⁾、森田暁壮¹⁾、増田貴史¹⁾、中野滋文¹⁾、諸井文子¹⁾、桑田加奈子²⁾、鈴木清美²⁾、人見公代²⁾

- 1) 国立病院機構 東埼玉病院 呼吸器科
- 2) 国立病院機構 東埼玉病院 看護部

O21-115 地域病院でのHIV診療におけるテノホビル/エムトリシタビン (TDF/FTC) の腎機能への影響

林 寛子¹⁾、石原正志^{1,2)}、渡邊珠代²⁾、鶴見広美²⁾、山口公大³⁾、後藤尚絵³⁾、馬淵量子³⁾、伊藤善規¹⁾、鶴見 寿^{2,3)}

- 1) 岐阜大学医学部附属病院薬剤部
- 2) 岐阜大学医学部附属病院エイズ対策推進センター
- 3) 岐阜大学医学部附属病院血液内科

O21-116 ハノイの腎機能障害を有するHIV感染者におけるテノホビル使用による腎機能予後

水島大輔¹⁾、田沼順子¹⁾、瀧永博之^{1,2)}、菊池 嘉¹⁾、Nguyen Kinh³⁾、岡 慎一^{1,2)}

- 1) 国立国際医療研究センター・エイズ治療研究開発センター
- 2) 熊本大学エイズ学研究センター
- 3) National Hospital of Tropical Diseases

■日時：12月4日(木) 16:50～17:40

■会場：第2会場(大阪国際会議場
10F 1001)

O22 臨床：生活習慣病2

座長 古賀一郎

(帝京大学 医学部 内科学講座)

柳澤如樹

(がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科)

O22-117 cART開始前のHIV感染症患者における骨密度低下の頻度と臨床マーカーの解析

古賀一郎、妹尾和憲、若林義賢、吉野友祐、北沢貴利、太田康男

帝京大学医学部内科学講座

O22-118 ART導入による骨代謝マーカーの推移

高濱宗一郎、郭 悠、中嶋恵理子、南 留美、長與由紀子、城崎真弓、山本政弘

国立病院機構 九州医療センター 免疫感染症科

O22-119 プロテアーゼ阻害薬の骨密度低下メカニズムに関する研究

木内 英、瀧永博之、水島大輔、西島 健、渡辺恒二、青木孝弘、矢崎博久、本田元人、田沼順子、源河いくみ、塚田訓久、照屋勝治、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

O22-120 当院におけるHIV感染者の慢性腎臓病の有病率および腎機能の経時的変化の検討

遠藤知之¹⁾、吉田美穂^{1,2)}、竹村 龍^{1,2)}、渡部恵子³⁾、坂本玲子²⁾、武内阿味²⁾、杉田純一¹⁾、重松明男¹⁾、小野澤真弘¹⁾、藤本勝也¹⁾、近藤 健¹⁾、橋野 聡⁴⁾、豊嶋崇徳¹⁾

- 1) 北海道大学病院血液内科
- 2) エイズ予防財団
- 3) 北海道大学病院看護部
- 4) 北海道大学保健センター

O22-121 本邦における維持透析患者のHIV感染有病率—維持透析患者受け入れ施設を対象とした全国アンケート調査に基づく報告—

柳澤如樹^{1,3)}、安藤 稔^{2,3)}、菅沼明彦¹⁾、
今村顕史¹⁾、土谷 健³⁾、新田孝作³⁾、
味澤 篤^{1,4)}

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院 腎臓内科
- 3) 東京女子医科大学病院 第四内科
- 4) 東京都保健医療公社 豊島病院

■日時：12月4日(木) 9:00～10:00

■会場：第3会場(大阪国際会議場
10F 1002)

O23 臨床：生活習慣病1

座長 上平朝子

(独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科)

古西 満

(奈良県立医科大学健康管理センター)

O23-124 HIV感染者における新たな慢性炎症マーカーと動脈硬化症

本田元人¹⁾、遠藤元誉²⁾、古川恵太郎¹⁾、
柴田 怜¹⁾、谷崎隆太郎¹⁾、柳川泰昭¹⁾、
小林泰一郎¹⁾、水島大輔¹⁾、西島 健¹⁾、
青木孝弘¹⁾、木内 英¹⁾、渡辺恒二¹⁾、
矢崎博久³⁾、田沼順子¹⁾、塚田訓久¹⁾、
瀧永博之¹⁾、照屋勝治¹⁾、菊池 嘉¹⁾、
尾池雄一²⁾、岡 慎一¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター
- 2) 熊本大学大学院生命科学研究部分子遺伝学分野
- 3) 国立国際医療研究センター国府台病院

O23-125 HIV感染者における白血球テロメア長決定の意義—慢性脳虚血性変化との関連

南 留美、小松真梨子、高濱宗一郎、
郭 悠、辻麻理子、阪木淳子、曾我真千代、
城崎真弓、長与由紀子、中嶋恵理子、
山本政弘

国立病院機構九州医療センター
AIDS/HIV総合治療センター・臨床研究センター

O23-122 HIV陽性男性患者のメタボリックシンドロームと食事摂取の実態調査

加藤久美子¹⁾、永田真基¹⁾、豊島裕子⁴⁾、
松本美由紀⁴⁾、後藤哲志²⁾、笠松 悠²⁾、
市田裕之³⁾、白野倫徳²⁾

- 1) 大阪市立大学生活科学部食品栄養科学科
- 2) 大阪市立総合医療センター 感染症センター
- 3) 大阪市立総合医療センター 薬剤部
- 4) 大阪市立総合医療センター 看護部

O23-123 HIV感染者における経時的動脈波速度測定の見直し

宇野健司¹⁾、古西 満^{1,2)}、笠原 敬¹⁾、
今北菜津子¹⁾、今井雄一郎¹⁾、
中村(内山) ふうみ¹⁾、米川真輔¹⁾、
梶田明裕¹⁾、前田光一¹⁾、谷口美苗³⁾、
治田匡平⁴⁾、赤澤紫乃⁴⁾、青井博志⁴⁾、
善本英一郎^{1,5)}、三笠桂一¹⁾

- 1) 奈良県立医科大学 感染症センター
- 2) 奈良県立医科大学 健康管理センター
- 3) 奈良県立医科大学附属病院 看護部
- 4) 奈良県立医科大学附属病院 薬剤部
- 5) 奈良厚生会病院 感染制御室

O23-126 HIV感染者を対象とした定量的超音波骨量測定(QUS)を用いた評価

古西 満^{1,2)}、宇野健司²⁾、善本英一郎^{2,3)}、
治田匡平⁴⁾、赤澤紫乃⁴⁾、青井博志⁴⁾、
谷口美苗⁵⁾、梶田明裕²⁾、今北菜津子²⁾、
今井雄一郎²⁾、米川真輔²⁾、笠原 敬²⁾、
中村(内山) ふうみ²⁾、前田光一²⁾、
三笠桂一²⁾

- 1) 奈良県立医科大学健康管理センター
- 2) 奈良県立医科大学感染症センター
- 3) 奈良厚生会病院感染制御室
- 4) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部
- 5) 奈良県立医科大学附属病院看護部

O23-127 HIV感染者の骨密度・骨代謝関連マーカーに関する調査

村松 崇、山元泰之、一木昭人、近澤悠志、
備後真登、清田育男、四本美保子、大瀧 学、
萩原 剛、鈴木隆史、天野景裕、福武勝幸

東京医科大学病院臨床検査医学科

■日時：12月4日(木) 10:10～11:10

■会場：第3会場(大阪国際会議場
10F 1002)

O24 臨床：症例1

座長 矢嶋敬史郎

(独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科)

塚田訓久

(国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

O24-128 ART開始直後に血球貪食症候群を引き起こした1例

弓場達也¹⁾、藤野貴大³⁾、大城宗生³⁾、大野聖子²⁾

- 1) 京都第一赤十字病院呼吸器内科
- 2) 京都第一赤十字病院 感染制御部
- 3) 京都第一赤十字病院 血液内科

O24-129 脳生検でCD8陽性細胞の浸潤を認めたHIV感染者の1例

廣田和之¹⁾、渡邊 大¹⁾、沖田典子²⁾、児玉良典³⁾、伊熊素子¹⁾、小川吉彦¹⁾、矢嶋敬史郎¹⁾、笠井大介¹⁾、西田恭治¹⁾、上平朝子¹⁾、白阪琢磨¹⁾

- 1) 国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科
- 2) 国立病院機構 大阪医療センター 脳神経外科
- 3) 国立病院機構 大阪医療センター 臨床検査科

O24-130 リルピビリン服用後に著明な精神症状を呈し、血中濃度測定をおこなった症例

森本清香¹⁾、西野 隆¹⁾、大石裕樹¹⁾、阪木淳子²⁾、高濱宗一郎^{2,3)}、郭 悠^{2,3)}、南 留美^{2,3)}、山本政弘^{2,3)}

- 1) 独立行政法人国立病院機構 九州医療センター薬剤科
- 2) 九州医療センター AIDS/HIV総合治療センター
- 3) 九州医療センター免疫感染症科

O24-131 肺門・縦隔リンパ腫脹の縮小を画像上、観察し得たMACによる免疫再構築症候群の一例

南宮 湖¹⁾、藤原 宏²⁾、西松直美³⁾、小谷 宙³⁾、戸蒔祐子⁴⁾、加藤真吾⁵⁾、岩田 敏⁶⁾、長谷川直樹²⁾

- 1) 慶應義塾大学医学部呼吸器内科
- 2) 慶應義塾大学医学部感染制御センター
- 3) 慶應義塾大学病院薬剤部
- 4) 慶應義塾大学病院看護部
- 5) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室
- 6) 慶應義塾大学医学部感染症学教室

O24-132 Sulfadiazineによる尿路結石で急性腎機能障害を発症したトキソプラズマ脳炎の1例

阪本直也、小林謙一郎、岩淵千太郎、大西健児

東京都立墨東病院

O24-133 多彩な合併症を呈したCryptococcus髄膜炎の二症例

比嘉令子、上田敦久、寒川 整、仲野寛人、筑丸 寛、石ヶ坪良明

横浜市立大学附属病院 リウマチ血液感染症内科

■日時：12月4日(木) 11:20～12:10

■会場：第3会場(大阪国際会議場
10F 1002)

O25 社会：カウンセリング1

座長 安尾利彦

(大阪医療センター 臨床心理室)

高田知恵子

(秋田大学)

O25-134 中核相談事業の現状と課題 その1
—メールアンケートから見えたこと—

高田知恵子¹⁾、嶋 篤子²⁾、平塚信子³⁾、加藤朋子⁴⁾、長浦由紀⁵⁾、高橋義博⁶⁾、塚本琢也⁷⁾、梅澤有美子⁸⁾、山中京子⁹⁾

- 1) 秋田大学
- 2) 滋賀医科大学附属病院
- 3) 滋賀県健康福祉部
- 4) 金沢市福祉健康センター
- 5) 長崎大学病院
- 6) 大館市立総合病院
- 7) 仙台医療センター
- 8) 福井大学
- 9) 大阪府立大学

O25-135 中核相談事業の現状と課題 その2
—中核相談員への電話インタビューから見えてきたこと—

嶋 篤子¹⁾、高田知恵子²⁾、平塚信子³⁾、加藤朋子⁴⁾、長浦由紀⁵⁾、高橋義博⁶⁾、塚本琢也⁷⁾、梅澤有美子⁸⁾、山中京子⁹⁾

- 1) 滋賀医科大学附属病院
- 2) 秋田大学
- 3) 滋賀県健康医療福祉部
- 4) 金沢市福祉健康センター
- 5) 長崎大学病院
- 6) 大館市立総合病院
- 7) 仙台医療センター
- 8) 福井大学
- 9) 大阪府立大学

025-136 HIV感染症患者における自閉症スペクトラム障害 (Autism Spectrum Disorder ; ASD) 傾向の検討

松岡亜由子¹⁾、石原真理¹⁾、森 祐子^{1,2)}、杉浦 互¹⁾、横幕能行¹⁾

1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター
エイズ治療開発センター
2) (公財) エイズ予防財団

025-137 HIV陽性者における内的自己・外的自己の意識化について

鍛治まどか^{1,2)}、仲倉高広¹⁾、下司有加¹⁾、東 政美¹⁾、鈴木成子¹⁾、上平朝子¹⁾、白阪琢磨¹⁾

1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
2) 公益財団法人エイズ予防財団

025-138 血友病でHIV感染症をもつ青年期男性の心理療法について～生き続けることを支える～

仲倉高広¹⁾、矢嶋敬史郎²⁾、白阪琢磨³⁾

1) 大阪医療センター臨床心理室
2) 大阪医療センター感染症内科
3) 大阪医療センター

■日時：12月4日(木) 16:50～17:40

■会場：第3会場(大阪国際会議場
10F 1002)

026 社会：カウンセリング2

座長 山中京子

(大阪府立大学 地域保健学域)

仲倉高広

(大阪医療センター 臨床心理室)

026-139 当院のHIV感染者における適応障害患者のHIV治療状況とカウンセリング介入についての検討

渡邊愛祈^{1,2)}、仲里 愛^{1,2)}、小松賢亮^{1,2)}、高橋卓巳³⁾、木内 英¹⁾、大金美和¹⁾、池田和子¹⁾、田沼順子¹⁾、照屋勝治¹⁾、塚田訓久¹⁾、瀧永博之¹⁾、加藤 温³⁾、関由賀子³⁾、今井公文³⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾

1) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
2) エイズ予防財団
3) 国立国際医療研究センター 精神科

026-140 ブロック拠点病院などでの心理検査の実施に関する研究

山中京子¹⁾、辻麻理子²⁾、阪木淳子^{2,11)}、松岡亜由子³⁾、塚本琢也^{4,11)}、大川満生⁵⁾、早津正博⁹⁾、小松賢亮⁶⁾、渡邊愛祈⁶⁾、仲里 愛⁶⁾、北志保里^{7,11)}、鍛治まどか^{10,11)}、仲倉高広¹⁰⁾、喜花伸子^{8,11)}

1) 大阪府立大学
2) 九州医療センター
3) 名古屋医療センター
4) 仙台医療センター
5) 北海道大学病院
6) 国立国際医療研究センター病院
7) 石川県立中央病院
8) 広島大学病院
9) 新潟大学歯学総合病院
10) 大阪医療センター
11) エイズ予防財団

026-141 HIV感染者のターミナルケア —HIV治療に消極的な感染者との心理面接—

小松賢亮^{1,2)}、仲里 愛^{1,2)}、渡邊愛祈^{1,2)}、塩田ひとみ¹⁾、大金美和¹⁾、西島 健¹⁾、矢崎博久¹⁾、田沼順子¹⁾、照屋勝治¹⁾、塚田訓久¹⁾、瀧永博之¹⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾

1) 国立国際医療研究センター病院
エイズ治療研究・開発センター
2) エイズ予防財団 リサーチレジデント

026-142 HIV医療におけるカウンセリング機能の明確化の試み—仮想事例に対する援助方法に関する記述分析から—

安尾利彦¹⁾、仲倉高広¹⁾、白阪琢磨²⁾、山中京子³⁾

1) 大阪医療センター臨床心理室
2) 大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター
3) 大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類

026-143 HIV医療における「心の整理法」の有効性と導入時の留意点についての検討

宮本哲雄^{1,2)}、白阪琢磨¹⁾

1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
2) 公益財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント

■日時：12月4日(木) 16:40～17:40

■会場：第4会場(大阪国際会議場
10F 1009)

O27 臨床：看護2

座長 大金美和

(独立行政法人国立国際医療研究センター病院
エイズ治療・研究開発センター)

宮城京子

(琉球大学医学部附属病院)

O27-144 HIV陽性者の慢性疾患、自覚症状及び睡眠状況に関する調査研究

山内麻江¹⁾、井上洋士²⁾、戸ヶ里泰典²⁾、
高久陽介^{3,4)}、矢島 嵩^{3,5)}、板垣真志⁶⁾、
阿部桜子⁷⁾、細川陸也⁸⁾、吉澤繁行⁹⁾、
大木幸子¹⁰⁾、若林チヒロ¹¹⁾、片倉直子¹²⁾

- 1) 東京医科大学看護専門学校
- 2) 放送大学
- 3) 特定非営利活動法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 4) 公益財団法人エイズ予防財団
- 5) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 6) 株式会社アクセライト
- 7) NTT docomo
- 8) 名古屋市立大学
- 9) ANGEL LIFE NAGOYA
- 10) 杏林大学
- 11) 埼玉県立大学
- 12) 神戸市看護大学

O27-145 ACCに通院中の高齢HIV感染者の現状

杉野祐子、池田和子、大金美和、伊藤 紅、
小山美紀、塩田ひとみ、木下真里、
中家奈緒美、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター

O27-146 知的能力障害を有するHIV患者への療養支援一周年にHIV感染を告知しないことを選択した一事例

木下一枝¹⁾、喜花伸子²⁾、塚本弥生³⁾、
齊藤誠司^{2,5)}、小川良子²⁾、藤井健司⁴⁾、
畝井浩子⁴⁾、山崎尚也^{2,5)}、藤井輝久^{2,5)}、
高田 昇⁶⁾

- 1) 広島大学病院看護部
- 2) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 3) 広島大学病院精神科
- 4) 広島大学病院薬剤部
- 5) 広島大学病院輸血部
- 6) 広島文化学園大学看護学部

O27-147 知的障害者のHIV陽性患者に対し社会的支援を生かし服薬継続が可能となった1例

塚田真弓¹⁾、吉澤定子^{1,2)}、宮崎泰斗^{1,3)}、
前田 正³⁾、佐藤恵美^{1,4)}、松田洋子⁴⁾、
長谷川香菜子⁴⁾、平山 忍^{1,5)}、田村清美^{1,4)}、
舘田一博^{1,6)}

- 1) 東邦大学医療センター大森病院 感染管理部
- 2) 総合診療・急病センター(感染症科)
- 3) 総合診療・急病センター(内科)
- 4) 看護部
- 5) 薬剤部
- 6) 東邦大学医学部 微生物・感染症学講座

O27-148 HIV感染症と境界性人格障害を抱えた患者とその家族に対する看護支援～自傷行為を繰り返し、母と共依存関係にあった事例に協働プログラムを導入し実践した1例～

佐々木育子、佐々木直美、青野由紀子、
常山純子

JA北海道帯広厚生病院内科外来

O27-149 沖縄県における拠点病院看護師等・MSM当事者NGO合同研修会の試み

宮城京子¹⁾、金城 健²⁾、生島 嗣³⁾、
前田サオリ¹⁾、石郷岡美穂¹⁾、
辺土名優美子¹⁾、大城市子¹⁾、翁長 薫⁴⁾、
新江裕貴¹⁾、仲村秀太⁴⁾、當山国江¹⁾、
健山正男⁴⁾

- 1) 琉球大学医学部附属病院
- 2) nankr 沖縄
- 3) ぶれいす東京
- 4) 琉球大学大学院・感染症・呼吸器・消化器内科学

■日時：12月4日(木) 9:00～10:00

■会場：第5会場(大阪国際会議場
12F 特別会議場)

O28 臨床：看護1

座長 島田 恵

(首都大学東京大学院 人間健康科学研究科)

鍵浦文子

(広島大学大学院 医歯薬保健学研究科)

O28-150 HIV陽性者の二次感染予防に関する認識と行動

下司有加^{1,3)}、多留ちえみ²⁾、長尾式子²⁾、
白阪琢磨³⁾、宮脇郁子²⁾

- 1) 神戸大学大学院保健学研究科博士課程前期課程
- 2) 神戸大学大学院保健学研究科
- 3) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

O28-151 性行動における予防介入の時期と方法の検討

前田サオリ¹⁾、宮城京子¹⁾、健山正男²⁾、
仲村秀太²⁾、比嘉 太²⁾、小橋川文江¹⁾、
新江裕貴³⁾、諸見牧子³⁾、石郷岡美穂⁴⁾、
辺土名優美子⁵⁾、大城市子⁵⁾、下地孝子¹⁾、
藤田次郎²⁾

- 1) 琉球大学医学部附属病院 看護部
- 2) 同大学医学部研究科感染症・呼吸器・内科学講座
- 3) 同医学部附属病院薬剤部
- 4) 同大学医学部附属病院地域医療部
- 5) 沖縄県HIV派遣カウンセラー

**O28-152 HIV陽性者へのケア経験別・職種別にみた標準予防策の実施状況
～第1報：入所施設の特徴～**

九津見雅美¹⁾、内海桃絵²⁾、池田和子³⁾、
大金美和³⁾

- 1) 兵庫県立大学看護学部
- 2) 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻
- 3) 独立行政法人国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター

**O28-153 HIV陽性者へのケア経験別・職種別にみた標準予防策の実施状況
～第2報：在宅看護・介護の特徴～**

内海桃絵¹⁾、九津見雅美²⁾、池田和子³⁾、
大金美和³⁾

- 1) 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻
- 2) 兵庫県立大学看護学部
- 3) 独立行政法人国立国際医療研究センターエイズ治療・
研究開発センター

**O28-154 HIV/AIDS外来受診患者の療養支援に
関する実態調査**

鈴木清美、猿渡加奈子、定方 泉、松嶋優希、
竹内宏美、人見公代、大舘ときゑ、堀場昌英

独立行政法人国立病院機構東埼玉病院

**O28-155 国立国際医療研究センター病院における
HIV陽性者の入院状況に関する診療録調査**

石井祥子¹⁾、宮村麻理²⁾、小宮山優佳²⁾、
鈴木節子²⁾、服部久恵²⁾、池田和子³⁾、
照屋勝治³⁾、菊池 嘉³⁾、岡 慎一³⁾

- 1) (独) 国立国際医療研究センター病院
感染症看護専門看護師
- 2) (独) 国立国際医療研究センター病院 12階東病棟
- 3) (独) 国立国際医療研究センター病院
エイズ治療・研究開発センター

■日時：12月4日(木) 17:10～17:40

■会場：第5会場(大阪国際会議場
12F 特別会議場)

O29 基礎：検査

座長 古田里佳

(日本赤十字社 近畿ブロック血液センター)

松岡佐織

(国立感染症研究所 エイズ研究センター)

**O29-156 新規に開発されたイムノクロマトグラ
フィー法による第4世代HIV迅速診断
試薬の臨床的有用性の検討**

土屋亮人、瀧永博之、岡 慎一

国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発
センター

O29-157 第4世代HIV迅速診断試薬の性能評価

中桐逸博¹⁾、徳永博俊²⁾、福田寛文²⁾、
和田秀穂^{1,2)}

- 1) 川崎医科大学附属病院輸血部
- 2) 川崎医科大学血液内科学

**O29-158 日本における20プールNAT導入後
初めての輸血後HIV感染事例**

篠原直也¹⁾、蕎麦田理英子¹⁾、松本千恵子¹⁾、
古居保美²⁾、内田茂治¹⁾、五十嵐滋²⁾、
日野 学²⁾、佐竹正博¹⁾、田所憲治¹⁾

- 1) 日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所
- 2) 日本赤十字社血液事業本部

一般演題 (口演)

■日時：12月4日(木) 9:00～9:30

■会場：第6会場(大阪国際会議場
12F 1202)

O30 基礎：免疫

座長 高橋秀実

(日本医科大学 微生物学免疫学教室)

吉村和久

(国立感染症研究所 エイズ研究センター)

O30-159 ベトナムのHIV感染小児における腸内細菌の体内移行と免疫活性化

畢 袖晴¹⁾、石崎有澄美¹⁾、
Nguyen Lam Van²⁾、松田一乗³⁾、
Pham Hung Viet^{1,2)}、
Phan Chung Thi Thu^{1,2)}、緒方清仁³⁾、
Phung Thuy Thi Bick²⁾、Pham An Nhat²⁾、
Khu Dung Thi Khanh²⁾、市村 宏¹⁾

1) 金沢大学医学保健研究域医学系・ウイルス感染症
制御学分野

2) ハノイ市国立小児病院

3) ヤクルト本社中央研究所

O30-160 ART中のreservoirであるNKT細胞の制御に関わる $\gamma\delta$ T細胞

松村次郎、近江恭子、大脇敦子、清水真澄、
新谷英滋、高橋秀実

日本医科大学微生物学・免疫学

O30-161 HIV-1 p24抗原検査におけるヒト異好抗体による疑陽性の解消：カイコで作製したヒト/ラットキメラ抗体を用いたサンドイッチELISA

田中礼子^{1,2)}、田中勇悦¹⁾

1) 琉球大学大学院医学研究科免疫学講座

2) (株)琉球免疫研究所(RIMCO)

■日時：12月4日(木) 9:40～10:30

■会場：第6会場(大阪国際会議場
12F 1202)

O31 基礎：アクセサリー遺伝子

座長 鈴 伸也

(熊本大学 エイズ学研究センター 国際先端医学研究拠点施設)

間 陽子

(独立行政法人 理化学研究所)

O31-162 HIV-1 Nefが抗炎症性マクロファージを選択的に活性化する機構

橋本倫拓、Hesham Nasser、鈴 伸也

熊本大学エイズ学研究センター・

国際先端医学研究拠点施設

O31-163 NefによるCD4およびCCR5発現抑制機能：生体内での機能的相関と責任領域の解析

豊田真子¹⁾、緒方陽子¹⁾、
Mahiti Macdonald¹⁾、Pereyra Florencia²⁾、
Walker Bruce²⁾、Brumme Zabrina³⁾、
Brockman Mark³⁾、上野貴将^{1,4)}

1) 熊本大学エイズ学研究センター

2) Ragon Institute of MGH, MIT, and Harvard, USA

3) Simon Frazer Univ, Canada

4) 熊本大学国際先端医学研究拠点施設

O31-164 NefはHLA-AとHLA-Bに異なる発現抑制活性を示す

Mahiti Macdonald¹⁾、豊田真子¹⁾、
Walker Bruce²⁾、Brumme Zabrina³⁾、
Brockman Mark³⁾、上野貴将^{1,4)}

1) 熊本大学エイズ学研究センター

2) Ragon Institute of MGH, MIT, and Harvard, USA

3) Simon Frazer Univ, Canada

4) 熊本大学国際先端医学研究拠点施設

O31-165 霊長類レンチウイルスのNefタンパク質の機能的進化とその意義

中野雄介^{1,2)}、吉川禄助¹⁾、山田英里¹⁾、
小林朋子^{1,3)}、竹内(柴田)潤子¹⁾、
三沢尚子¹⁾、小柳義夫¹⁾

1) 京都大学ウイルス研究所ウイルス病態研究領域

2) 熊本大学大学院医学教育部感染防御学分野

3) 東京農業大学農学部畜産学科生産科学分野

031-166 Mutational Analysis of HIV-2 Vpx concerning on ability to degrade SAMHD1

Ciftci Halil Ibrahim¹⁾、藤野悠那¹⁾、古賀涼子¹⁾、山本充奈美¹⁾、川村宗吾¹⁾、岩谷靖雅²⁾、大塚雅巳¹⁾、藤田美歌子³⁾

- 1) 熊本大学大学院 生命科学研究部 生体機能分子合成学分野
- 2) 国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター
- 3) 熊本大学 薬学部 附属創薬研究センター

■日時：12月4日(木) 16:40～17:40

■会場：第6会場(大阪国際会議場 12F 1202)

O32 基礎：宿主因子

座長 徳永研三

(国立感染症研究所 感染病理部)

高折晃史

(京都大学医学研究科 血液・腫瘍内科学)

032-167 HIV-1 gp120/CXCR4 シグナルが誘導する CCR7 受容体多量体化と CCR7 リガンド 依存的 CD4 T細胞遊走の亢進

早坂晴子¹⁾、小林大地¹⁾、吉村洋美¹⁾、中山英美²⁾、塩田達雄²⁾、宮坂昌之³⁾

- 1) 大阪大学医学系研究科 / WPI免疫学フロンティア研究センター 免疫制御学
- 2) 大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野
- 3) 大阪大学未来戦略機構

032-168 HIV-1 co-receptor (CXCR4, CCR5) 架橋を介した R5 HIV-1 感染制御

田中勇悦¹⁾、田中礼子^{1,2)}

- 1) 琉球大学大学院医学研究科免疫学講座
- 2) (株) 琉球免疫研究所 (RIMCO)

032-169 hRAD18 による HIV-1 複製の抑制

吉永則良¹⁾、松井佑亮¹⁾、新堂啓祐¹⁾、武田俊一²⁾、高折晃史¹⁾

- 1) 京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科
- 2) 京都大学大学院医学研究科 放射線遺伝学

032-170 新規 HIV 感染制御因子 AMPK-RPK による HIV 感染制御機構の解析

武内寛明、山岡昇司

東京医科歯科大学歯学総合研究科ウイルス制御学分野

032-171 ERK2-HIV capsid タンパク質間相互作用を介する脱殻制御機構と新規抗 HIV 薬の探索

堂地赳生¹⁾、高宗暢暁³⁾、三隅将吾²⁾

- 1) 熊本大学 大学院 薬学教育部 環境分子保健学分野
- 2) 熊本大学 大学院 生命科学研究部 環境分子保健学分野
- 3) 熊本大学イノベーション推進機構

032-172 宿主因子 GAPDH による tRNA^{Lys3} 取込み 阻害機構の解析

岸本直樹¹⁾、鬼塚彩乃²⁾、伊賀 望²⁾、高宗暢暁³⁾、庄司省三⁴⁾、三隅将吾⁴⁾

- 1) 熊本大学大学院 薬学教育部 環境分子保健学分野
- 2) 熊本大学 薬学部 環境分子保健学分野
- 3) 熊本大学 イノベーション推進機構
- 4) 熊本大学大学院 生命科学研究部 環境分子保健学

■日時：12月4日(木) 9:00～10:10

■会場：第7会場(大阪国際会議場 10F 1008)

O33 社会：陽性者支援2

座長 伊藤美樹子

(大阪大学 大学院医学系研究科 保健学専攻)

青木理恵子

(特定非営利活動法人 CHARM)

033-173 HIV 陽性男性におけるメンタルヘルスと HIV/AIDS を巡るの孤立状態との関連

戸ヶ里泰典¹⁾、井上洋士¹⁾、高久陽介^{2,3)}、矢島 嵩^{2,4)}、板垣貴志⁵⁾、阿部桜子⁶⁾、細川陸也⁷⁾、吉澤繁行⁸⁾、大木幸子⁹⁾、若林チヒロ¹⁰⁾、片倉直子¹¹⁾、山内麻江¹²⁾

- 1) 放送大学
- 2) 日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 3) エイズ予防財団
- 4) ぶれいず東京
- 5) アクセライト
- 6) NTT docomo
- 7) 名古屋市立大学
- 8) ANGEL LIFE NAGOYA
- 9) 杏林大学
- 10) 埼玉県立大学
- 11) 神戸市立看護大学
- 12) 東京医科大学看護専門学校

033-174 HIV関連のスティグマが陽性者のメンタルヘルスに与える影響について

阿部桜子¹⁾、井上洋士²⁾、戸ヶ里泰典²⁾、高久陽介^{3,4)}、矢島 嵩^{3,5)}、板垣貴志⁶⁾、細川陸也⁷⁾、吉澤繁行⁸⁾、大木幸子⁹⁾、若林チヒロ¹⁰⁾、片倉直子¹¹⁾、山内麻江¹²⁾

- 1) NTT docomo
- 2) 放送大学
- 3) 日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 4) エイズ予防財団
- 5) ぶれいす東京
- 6) アクセライト
- 7) 名古屋市立大学
- 8) ANGEL LIFE NAGOYA
- 9) 杏林大学
- 10) 埼玉県立大学
- 11) 神戸市看護大学
- 12) 東京医科大学看護専門学校

033-175 HIV陽性者におけるソーシャルサポートネットワークの実態について

阿部桜子¹⁾、井上洋士¹⁾、戸ヶ里泰典¹⁾、高久陽介^{3,4)}、矢島 嵩^{3,5)}、板垣貴志⁶⁾、細川陸也⁷⁾、吉澤繁行⁸⁾、大木幸子⁹⁾、若林チヒロ¹⁰⁾、片倉直子¹¹⁾、山内麻江¹²⁾

- 1) NTT docomo
- 2) 放送大学
- 3) 日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 4) エイズ予防財団
- 5) ぶれいす東京
- 6) アクセライト
- 7) 名古屋市立大学
- 8) ANGEL LIFE NAGOYA
- 9) 杏林大学
- 10) 埼玉県立大学
- 11) 神戸市看護大学
- 12) 東京医科大学看護専門学校

033-176 当院における受診を中断したHIV感染症患者の傾向

中家奈緒美^{1,2)}、小山美紀¹⁾、木下真里¹⁾、塩田ひとみ¹⁾、伊藤 紅¹⁾、杉野祐子¹⁾、大金美和¹⁾、池田和子¹⁾、塚田訓久¹⁾、田沼順子¹⁾、照屋勝治¹⁾、瀧永博之¹⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾

- 1) 国立国際医療研修センター病院エイズ治療研究開発センター
- 2) エイズ予防財団 リサーチレジデント

033-177 初診時より1年間における相談行動と定期受診・抗HIV薬の飲み忘れに関する研究

大谷ありさ¹⁾、仲倉高広¹⁾、安尾利彦¹⁾、森田真子¹⁾、速見佳子¹⁾、鍛冶まどか^{1,2)}、宮本哲雄^{1,2)}、西川歩美^{1,3)}、廣常秀人¹⁾、白阪琢磨¹⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
- 2) 財団法人エイズ予防財団
- 3) ネットワーク医療と人権

033-178 富山県内のHIV患者における食生活・栄養管理の現状と課題

内山志織^{1,2)}、鳴河宗聡³⁾、彼谷裕康⁴⁾、窪田佳代子⁵⁾、山本善裕²⁾

- 1) 日精協 富山県支部栄養部会
- 2) 魚津緑ヶ丘病院
- 3) 富山大学 感染予防医学講座/感染症科
- 4) 富山県立中央病院
- 5) 富山大学附属病院 薬剤部

033-179 (独) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センターにおける外国人患者対応—初診時のコミュニケーションについて—

木下真里、池田和子、中家奈緒美、塩田ひとみ、小山美紀、伊藤 紅、杉野祐子、大金美和、塚田訓久、田沼順子、照屋勝治、瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター

■日時：12月4日(木) 10:20～11:20

■会場：第7会場(大阪国際会議場
10F 1008)

034 社会：薬物使用

座長 樽井正義

(慶應義塾大学)

生島 嗣

(特定非営利活動法人ぶれいす東京)

034-180 関西と東海のHIV陽性者における受診前、受診後の物質使用状況の把握

仲倉高広¹⁾、宮本哲雄¹⁾、鍛冶まどか¹⁾、下司有加²⁾、白阪琢磨³⁾

- 1) 大阪医療センター臨床心理室
- 2) 大阪医療センター看護部
- 3) 大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター長

034-181 HIV陽性者男性における依存性薬物使用の実態とその関連要因

戸ヶ里泰典¹⁾、井上洋士¹⁾、高久陽介^{2,3)}、
矢島 嵩^{2,4)}、板垣貴志⁵⁾、阿部桜子⁶⁾、
細川陸也⁷⁾、吉澤繁行⁸⁾、大木幸子⁹⁾、
若林チヒロ¹⁰⁾、片倉直子¹¹⁾、山内麻江¹²⁾

- 1) 放送大学
- 2) 日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 3) エイズ予防財団
- 4) ぶれいす東京
- 5) アクセライト
- 6) NTT docomo
- 7) 名古屋市立大学
- 8) ANGEL LIFE NAGOYA
- 9) 杏林大学
- 10) 埼玉県立大学
- 11) 神戸市立看護大学
- 12) 東京医科大学看護専門学校

034-182 エイズ拠点病院における薬物関連問題の重症度と薬物依存回復支援の可能性

嶋根卓也¹⁾、今村顕史²⁾、岡 慎一³⁾、
池田和子³⁾、山本政弘⁴⁾、辻麻理子⁴⁾、
長与由紀子⁴⁾、大久保猛⁵⁾、太田実男⁵⁾、
神田博之⁶⁾、岡崎重人⁷⁾、大江昌夫⁸⁾

- 1) 国立精神・神経医療研究センター
- 2) 都立駒込病院感染症科
- 3) 国立国際医療研究センター病院
- 4) NHO九州医療センター AIDS/HIV総合治療センター
- 5) 京都DARC
- 6) 横浜DARC
- 7) 川崎DARC
- 8) 九州DARC

034-183 全国保健機関の精神保健担当者におけるHIV陽性者の薬物相談への自己効力感とその関連要因

大木幸子¹⁾、高城智圭¹⁾、阿部幸枝²⁾、
生島 嗣³⁾、岡野江美⁴⁾、中澤よう子⁵⁾、
野口雅美⁶⁾、古屋智子⁷⁾、谷部陽子⁸⁾、
若林チヒロ⁹⁾

- 1) 杏林大学保健学部
- 2) 多摩総合精神保健福祉センター
- 3) ぶれいす東京
- 4) 東京女子医大病院
- 5) 神奈川県保健福祉局
- 6) 東京都多摩府中保健所
- 7) 川崎市多摩区
- 8) 世田谷区総合支所
- 9) 埼玉県立大学

034-184 HIV陽性MSMにおける薬物使用とその関連要因 ～薬物使用経験のあるHIV陽性者のインタビューを中心に～

野坂祐子^{1,2)}、生島 嗣²⁾、岡本 学³⁾、
山口正純⁴⁾、中山雅博^{5,6)}、大槻知子²⁾、
肥田明日香⁵⁾、白野倫徳⁷⁾、樽井正義²⁾

- 1) 大阪大学大学院
- 2) ぶれいす東京
- 3) 大阪医療センター
- 4) 白十字総合病院
- 5) アパリクリニック
- 6) 日本ダルク
- 7) 大阪市立総合医療センター

034-185 公立精神科病院におけるHIV感染症症例の検討～精神科医療の側面から～

山田時央¹⁾、林 栄治¹⁾、高橋克昌²⁾、
樫山鉄矢¹⁾

- 1) 東京都立松沢病院内科
- 2) 東京都立松沢病院精神科

■日時：12月4日(木) 16:40～17:40

■会場：第7会場(大阪国際会議場
10F 1008)

O35 社会：予防・教育

座長 金子典代

(名古屋市立大学 看護学部 国際保健看護学)

市川誠一

(名古屋市立大学 看護学部)

035-186 エイズ予防指針に基づく国・地方公共団体・医療関係者・NGOの連携に関する意識調査(1) ～地方公共団体アンケートから～

高久陽介^{1,2)}、山崎厚司²⁾

- 1) 特定非営利活動法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団

035-187 エイズ予防指針に基づく国・地方公共団体・医療関係者・NGOの連携に関する意識調査(2) ～エイズ治療拠点病院アンケートから～

高久陽介^{1,2)}、山崎厚司²⁾

- 1) 特定非営利活動法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団

035-188 エイズ診療拠点病院全国調査から見た外国人の受療動向と診療体制に関する検討

沢田貴志^{1,2)}、山本裕子²⁾、仲尾唯治³⁾

- 1) 港町診療所
- 2) シェア=国際保健協力市民の会
- 3) 山梨学院大学経営情報学部

035-189 企業における管理職のHIV/エイズに関する理解の現状について

安井典子、細井舞子、松本珠実、奥町彰礼、廣川秀徹、半羽宏之

大阪市保健所感染症対策課

035-190 地方において、陽性者支援NPO運営に起きている2つの大きな問題について

矢崎三大

特定非営利活動法人Rinかごしま

035-191 大学生を対象としたHIV/エイズに関する知識調査

細井舞子、安井典子、松本珠実、奥町彰礼、廣川秀徹、半羽宏之

大阪市保健所感染症対策課

036-194 HIV患者の梅毒治療におけるアモキシシリンの治療効果

谷崎隆太郎¹⁾、青木孝弘²⁾、西島 健²⁾、古川恵太郎¹⁾、柴田 怜²⁾、柳川泰昭²⁾、小林泰一郎²⁾、水島大輔²⁾、渡辺恒二²⁾、木内 英²⁾、本田元人²⁾、田沼順子²⁾、塚田訓久²⁾、瀧永博之²⁾、照屋勝治²⁾、菊池 嘉²⁾、岡 慎一²⁾

- 1) 国立国際医療研究センター 総合感染症コース/感染症内科
- 2) 国立国際医療研究センター エイズ治療研究開発センター

036-195 当院のHIV陽性者におけるHBV共感染の現状

渡辺崇夫¹⁾、高田清式²⁾、徳本良雄¹⁾、末盛浩一郎³⁾、村上雄一³⁾、日浅陽一¹⁾

- 1) 愛媛大学大学院 消化器・内分泌・代謝内科学
- 2) 愛媛大学医学部附属病院 総合臨床研修センター
- 3) 愛媛大学大学院 血液・免疫・感染症内科学

036-196 HIV感染患者における赤痢アメーバ潜伏感染についての検討

渡辺恒二¹⁾、永田尚義²⁾、柳川泰昭¹⁾、小林泰一郎¹⁾、水島大輔¹⁾、西島 健¹⁾、青木孝弘¹⁾、木内 英¹⁾、本田元人¹⁾、田沼順子¹⁾、塚田訓久¹⁾、瀧永博之¹⁾、照屋勝治¹⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センター エイズ治療研究開発センター
- 2) 国立国際医療研究センター消化器内科

036-197 HIV合併アメーバ性肝膿瘍の発症リスクとしてのHLA対立遺伝子の解析

小林泰一郎、渡辺恒二、古川恵太郎、柴田 怜、柳川泰昭、谷崎隆太郎、水島大輔、西島 健、青木孝弘、木内 英、本田元人、田沼順子、照屋勝治、塚田訓久、瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター病院
エイズ治療・研究開発センター

■日時：12月5日(金) 9:00～10:00

■会場：第2会場(大阪国際会議場
10F 1001)

036 臨床：STI・STD

座長 清水恒広

(京都市立病院 感染症科)

澤田暁宏

(兵庫医科大学 血液内科)

036-192 当院におけるHIV感染者に合併した神経梅毒の臨床的診断に関する検討

佐々木秀悟¹⁾、関谷紀貴²⁾、柳澤如樹¹⁾、菅沼明彦¹⁾、味澤 篤³⁾、今村顕史¹⁾

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科
- 3) 東京都保健医療公社豊島病院

036-193 当院HIV/AIDS患者における梅毒感染の動向と抗菌化学療法の実際

清水恒広、藤倉裕之、土戸康弘、朽谷健太郎

京都市立病院感染症科

■日時：12月5日(金) 10:10～11:10

■会場：第2会場(大阪国際会議場
10F 1001)

O37 臨床：HAND1

座長 菊池 嘉

(国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

辻麻理子

(独立行政法人国立病院機構 九州医療センター)

O37-198 HIV感染症患者の認知機能低下と鑑別診断

辻麻理子¹⁾、阪木淳子^{1,2)}、郭 悠¹⁾、
曾我真千恵³⁾、城崎真弓¹⁾、長與由紀子¹⁾、
高濱宗一郎¹⁾、南 留美¹⁾、山本政弘¹⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV総合治療センター
- 2) (公財) エイズ予防財団リサーチレジデント
- 3) 福岡県保健医療介護部

O37-199 HIV感染症患者の認知機能の低下と鑑別診断—抑うつ傾向との関連および臨床経過—

辻麻理子¹⁾、阪木淳子^{1,2)}、郭 悠¹⁾、
曾我真千恵³⁾、城崎真弓¹⁾、長與由紀子¹⁾、
高濱宗一郎¹⁾、南 留美¹⁾、山本政弘¹⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV総合治療センター
- 2) (公財) エイズ予防財団リサーチレジデント
- 3) 福岡県保健医療介護部

O37-200 HIV感染症患者の認知機能低下と鑑別診断—物質使用との関連と臨床経過—

阪木淳子^{1,2)}、辻麻理子¹⁾、郭 悠¹⁾、
曾我真千恵³⁾、城崎真弓¹⁾、長與由紀子¹⁾、
高濱宗一郎¹⁾、南 留美¹⁾、山本政弘¹⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV総合治療センター
- 2) (公財) エイズ予防財団リサーチレジデント
- 3) 福岡県保健医療介護部

O37-201 HIVに関連した神経認知障害 (HAND) のcART導入後の認知機能の変化

翁長 薫¹⁾、健山正男¹⁾、富永大介²⁾、
仲村秀太¹⁾、新江裕貴¹⁾、前城達次¹⁾、
宮城京子³⁾、前田サオリ³⁾、比嘉 太¹⁾、
藤田次郎¹⁾

- 1) 琉球大学医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座
- 2) 琉球大学教育学部
- 3) 琉球大学医学部附属病院看護部

O37-202 HAND/ ANI/ MNDの効果的なスクリーニング法確立の試み

緒方 稔¹⁾、江崎百美子¹⁾、渋谷安紀子¹⁾、
高木雅敏¹⁾、宮川寿一¹⁾、中田浩智¹⁾、
松下修三²⁾、満屋裕明¹⁾

- 1) 熊本大学医学部附属病院 血液内科・感染免疫診療部
- 2) 熊本大学エイズ学センター

O37-203 HIV患者の認知機能低下とアルツハイマー型認知症

郭 悠、辻麻理子、阪木淳子、曾我真千恵、
城崎真弓、長與由紀子、高濱宗一郎、
中嶋恵理子、南 留美、山本政弘

NHO九州医療センター AIDS/HIV総合治療センター

■日時：12月5日(金) 11:20～12:20

■会場：第2会場(大阪国際会議場
10F 1001)

O38 臨床：HAND2・服薬アドヒアランス

座長 後藤哲志

(大阪市立総合医療センター 感染症センター)

矢倉裕輝

(国立病院機構 大阪医療センター 薬剤科)

O38-204 当施設のHIV-1感染者におけるHANDの有病率と危険因子に関する臨床検討

仲村秀太¹⁾、健山正男¹⁾、田里大輔¹⁾、
翁長 薫¹⁾、前田サオリ¹⁾、宮城京子¹⁾、
原永修作¹⁾、比嘉 太¹⁾、富永大輔²⁾、
藤田次郎¹⁾

- 1) 琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学
- 2) 琉球大学大学院教育学研究科臨床心理学専攻

O38-205 レジメン変更が著効したCNSエスケープを認めたHANDの一例

新江裕貴^{1,2)}、健山正男¹⁾、仲村秀太¹⁾、
翁長 薫¹⁾、宮城京子³⁾、前田サオリ³⁾、
諸見牧子²⁾、比嘉 太¹⁾、外間惟夫²⁾、
藤田次郎¹⁾

- 1) 琉球大学大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学
- 2) 琉球大学病院薬剤部
- 3) 琉球大学病院看護部

038-206 中枢神経への移行性および有効性を考慮したARTにより、高次脳機能が長期にわたり改善を続けたHANDの一例

西松直美¹⁾、小谷 宙^{1,2)}、坪井郁枝³⁾、藤原 宏²⁾、上菟義典²⁾、長谷川直樹²⁾、山口雅也¹⁾、岩田 敏²⁾、岡本真一郎^{1,4)}

- 1) 慶應義塾大学病院薬剤部
- 2) 慶應義塾大学医学部感染制御センター
- 3) 慶應義塾大学病院リハビリテーション科言語聴覚療法室
- 4) 慶應義塾大学医学部血液内科学教室

038-207 抗HIV療法と服薬援助のための基礎的調査－治療開始時の抗HIV薬処方動向調査(2014年)

日笠 聡¹⁾、小島賢一²⁾、栗原 健³⁾、山元泰之⁴⁾

- 1) 兵庫医科大学血液内科
- 2) 荻窪病院血液科
- 3) 国立循環器病研究センター 薬剤部
- 4) 東京医科大学 臨床検査医学科

038-208 抗HIV療法と服薬援助のための基礎的調査－抗HIV薬の薬剤変更状況調査(2014年)

小島賢一¹⁾、日笠 聡²⁾、栗原 健²⁾、山元泰之³⁾

- 1) 荻窪病院血液科
- 2) 国立循環器病研究センター 薬剤部
- 3) 東京医科大学病院臨床検査医学教室

038-209 スタリビルド[®] 配合錠の内服が日常生活へ与える影響の検討

那波みゆき¹⁾、宇高 歩¹⁾、石坂敏彦¹⁾、松浦基夫²⁾、藤本卓司⁴⁾、大成功一³⁾

- 1) 市立堺病院薬剤科
- 2) 同 腎代謝免疫内科
- 3) 同 呼吸器内科
- 4) 同 総合内科

■日時：12月5日(金) 13:40～14:30

■会場：第2会場(大阪国際会議場 10F 1001)

O39 基礎：新薬開発

座長 大塚雅巳

(熊本大学 大学院 生命科学研究部)

児玉栄一

(東北大学大学院医学系研究科)

039-210 Gagに作用する抗HIV剤BMMPの作用機序解明と活性改良の試み

加茂真宏¹⁾、立石 大¹⁾、岡本良成¹⁾、森川裕子²⁾、大塚雅巳¹⁾、藤田美歌子³⁾

- 1) 熊本大学大学院 生命科学研究部 生体機能分子合成学分野
- 2) 北里大学大学院 感染制御科学府
- 3) 熊本大学 薬学部 附属創薬研究センター

039-211 細胞内のHIV-1 pol polyprotein (pol)のダイナミクスと二量体化の制御に関する薬剤の解析

中村朋文¹⁾、Joseph R. Campbell¹⁾、相川春夫²⁾、玉村啓和²⁾、満屋裕明¹⁾

- 1) 熊本大学生命科学研究部・血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部
- 2) 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 生体機能分子研究部門 メディシナルケミストリー分野

039-212 HIV-1 遺伝子産物由来のインテグラーゼ阻害活性を持ったステーブルペプチド

野村 渉¹⁾、水口貴章¹⁾、大橋南美¹⁾、Mathieu Metifiot²⁾、藤野真之³⁾、Yves Pommier²⁾、駒野 淳³⁾、村上 努³⁾、玉村啓和¹⁾

- 1) 東京医科歯科大学生体材料工学研究所
- 2) National Cancer Institute, National Institutes of Health
- 3) 国立感染症研究所エイズ研究センター

039-213 ビオチン化PIの分子設計と活性HIVプロテアーゼの同定

日高興士¹⁾、亀岡正典²⁾、木曾良明³⁾、津田裕子¹⁾

- 1) 神戸学院大学薬学部
- 2) 神戸大学大学院保健学研究科
- 3) 長浜バイオ大学バイオサイエンス学部

O39-214 ガーナ産植物由来化合物による潜伏 HIV-1 プロウイルス再活性化とその分子機構の解析

堀 恭徳¹⁾、Tung Nguyen Huu²⁾、
宇都拓洋²⁾、森永 紀²⁾、Jerry Nzdinu³⁾、
Barnor Jacob³⁾、Odoom John³⁾、
Bonney Kofi³⁾、Brandful James³⁾、
Ampofo William³⁾、吉仲由之¹⁾、
神奈木真理⁴⁾、Koram Kwadwo³⁾、
正山征洋²⁾、山岡昇司¹⁾

- 1) 東京医科歯科大学 歯医学総合研究科 ウイルス制御学分野
- 2) 長崎国際大学 薬学部 薬学科
- 3) ガーナ大学野口医学研究所
- 4) 東京医科歯科大学 歯医学総合研究科 免疫治療学分野

■日時：12月5日(金) 9:00～10:00

■会場：第3会場(大阪国際会議場 10F 1002)

O40 臨床：症例2

座長 西田恭治

(独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科)

小川吉彦

(独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター)

O40-215 ARTのregimen変更にDLSTが有用であった重症薬疹合併HIV感染症の1例

小川孔幸¹⁾、小林宣彦¹⁾、柳澤邦雄¹⁾、
石崎芳美²⁾、林 俊誠³⁾、合田 史⁴⁾、
城田陽子⁶⁾、兒玉知子⁷⁾、内海英貴⁵⁾、
野島美久¹⁾

- 1) 群馬大学医学部附属病院 血液内科
- 2) 群馬大学医学部附属病院 看護部
- 3) 前橋赤十字病院 総合・感染症内科
- 4) 国立病院機構 高崎総合医療センター 総合診療科
- 5) 医療法人社団日高会 白根クリニック
- 6) 群馬大学医学部附属病院 患者支援センター
- 7) 群馬大学医学部附属病院 薬剤部

O40-216 Tenofovirによる腎機能障害の危険因子に関する検討

森 尚義¹⁾、林 雅彦²⁾、八重徹司²⁾、
谷口晴記³⁾

- 1) 三重県立総合医療センター薬剤部
- 2) 鈴鹿医療科学大学薬学部
- 3) 三重県立総合医療センター産婦人科

O40-217 HIV感染者唾液を用いた口腔疾患発症予測因子の検討

泉福英信¹⁾、有家 巧²⁾、富永 燦¹⁾、
吉村和久³⁾

- 1) 国立感染症研究所細菌第一部
- 2) 国立病院機構大阪医療センター口腔外科
- 3) 国立感染症研究所エイズ研究センター

O40-218 17例の急性HIV感染症の報告

仲野寛人、上田敦久、寒川 整、比嘉令子、
石ヶ坪良明

横浜市立大学大学院医学研究科病態免疫制御内科学

O40-219 インテグラーゼ阻害剤による出血症状の増悪が疑われたHIV/重症血友病Aの一例

神尾咲留未¹⁾、佐藤麻希²⁾、阿部憲介¹⁾、
小山田光孝¹⁾、塚本琢也^{3,5)}、佐々木晃子⁵⁾、
伊藤ひとみ⁵⁾、佐藤 功^{4,5)}、伊藤俊広⁵⁾

- 1) 仙台医療センター薬剤科
- 2) 国立国際医療研究センター
- 3) 公益財団法人エイズ予防財団
- 4) 医療法人医徳会真壁病院
- 5) 仙台医療センター感染症内科

O40-220 HIV感染患者におけるvWFおよびADAMTS13活性の評価

宮川寿一、中田浩智、満屋裕明

熊本大学医学部附属病院
血液内科・膠原病内科・感染症

■日時：12月5日(金) 10:10～10:50

■会場：第3会場(大阪国際会議場 10F 1002)

O41 臨床：その他

座長 伊藤俊広

(独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター)

味澤 篤

(東京都保健医療公社 豊島病院)

O41-221 DolutegravirとRalpivirineによるSmall tablet への剤形変更がアドヒアランスの改善につながった症例

佐藤麻希¹⁾、早川史織¹⁾、増田純一¹⁾、
和泉啓司郎¹⁾、瀧永博之²⁾、菊池 嘉²⁾、
岡 慎一²⁾

- 1) 国立国際医療研究センター病院薬剤部
- 2) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

O41-222 HIV感染者の転帰に関する研究

味澤 篤^{1,2)}、関矢早苗²⁾、佐々木秀悟²⁾、
関谷紀貴³⁾、柳澤如樹²⁾、菅沼明彦²⁾、
今村顕史²⁾

- 1) 東京都保健医療公社豊島病院
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 3) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科

O41-223 Cultural Competency in Mongolian Community-Based Cohort for HIV Treatment as Prevention

叶谷文秀^{1,2)}、Setsen Zayasaikhan³⁾、
Miigaa Myagmardorj⁴⁾、高野 操¹⁾、
Davaalkham Jagdagsuren³⁾、岡 慎一¹⁾

- 1) 独立行政法人国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 公益法人日本エイズ予防財団
- 3) National Centre for Communicable Diseases
- 4) Youth for Health

O41-224 HIV陽性妊婦から出生した児の長期予後に関する全国調査

田中瑞恵¹⁾、細川真一¹⁾、外川正生²⁾、
塚原優己²⁾、菊池 嘉³⁾、岡 慎一³⁾、
松下竹次¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センター小児科
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV母子感染の疫学調査と予防対策および女性・小児感染者支援に関する研究」班
- 3) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

■日時：12月5日(金) 11:20～12:10

■会場：第3会場(大阪国際会議場
10F 1002)

O42 臨床：看護4

座長 前田ひとみ

(熊本大学 大学院 生命科学部)

下司有加

(独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター)

O42-225 ブロック拠点病院とACCにおける「健康と生活調査」－HIV治療と他疾患管理の課題－

池田和子¹⁾、若林チヒロ²⁾、岡本 学³⁾、
渡部恵子⁴⁾、遠藤知之⁴⁾、伊藤ひとみ⁵⁾、
伊藤俊広⁵⁾、川口 玲⁶⁾、田邊嘉也⁶⁾、
羽柴知恵子⁷⁾、横幕能行⁷⁾、高山次代⁸⁾、
上田幹夫⁸⁾、下司有加³⁾、白阪琢磨³⁾、
木下一枝⁹⁾、藤井輝久⁹⁾、城崎真弓¹⁰⁾、
山本政弘¹⁰⁾、岡 慎一¹⁾、生島 嗣¹¹⁾

- 1) 独立行政法人国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 埼玉県立大学
- 3) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
- 4) 北海道大学病院
- 5) 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
- 6) 新潟大学医学総合病院
- 7) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
- 8) 石川県立中央病院
- 9) 広島大学病院
- 10) 独立行政法人国立病院機構九州医療センター
- 11) 特定非営利活動法人ぶれいす東京

O42-226 ブロック拠点病院とACCにおける「健康と生活調査」－自覚症状とメンタルヘルス－

大金美和¹⁾、池田和子¹⁾、若林チヒロ²⁾、
坂本玲子³⁾、遠藤知之³⁾、伊藤ひとみ⁴⁾、
伊藤俊広⁴⁾、川口 玲⁵⁾、田邊嘉也⁵⁾、
羽柴知恵子⁶⁾、横幕能行⁶⁾、山田三枝子⁷⁾、
上田幹夫⁷⁾、下司有加⁸⁾、白阪琢磨⁸⁾、
鍵浦文子⁹⁾、藤井輝久¹⁰⁾、城崎真弓¹¹⁾、
山本政弘¹¹⁾、岡 慎一¹⁾、生島 嗣¹²⁾

- 1) 独立行政法人国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 埼玉県立大学
- 3) 北海道大学病院
- 4) 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
- 5) 新潟大学医学総合病院
- 6) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
- 7) 石川県立中央病院
- 8) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
- 9) 広島大学
- 10) 広島大学病院
- 11) 独立行政法人国立病院機構九州医療センター
- 12) 特定非営利活動法人ぶれいす東京

O42-227 HIV感染症外来の病棟・外来看護体制の
評価と課題 第2報

有馬美奈

がん・感染症センター都立駒込病院

O42-228 HIV関連悪性リンパ腫患者の看護
- 18事例からの検討 -

及川真理子、二宮夏美、有馬美奈

がん・感染症センター都立駒込病院

O42-229 進行性多巣性白質脳症 (PML) が急速に
進行した患者とその家族への関わり
～病棟担当看護師の役割～

正木るり子、三田洋子、住田るみ、山下裕子、
澤田恵美、縦木和美、宇高 歩、松浦基夫、
大成功一

市立堺病院

■日時：12月5日 (金) 9:00～10:00

■会場：第6会場 (大阪国際会議場
12F 1202)

O43 臨床：看護3

座長 羽柴知恵子

(独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター)

城崎真弓

(NHO 九州医療センター)

O43-230 HIVサポートリーダー養成研修の課題と
展望

佐保美奈子

大阪府立大学大学院看護学研究科

O43-231 当院におけるHIV感染症患者の喫煙状況
と禁煙指導の現状

中村真理子¹⁾、藤原光子¹⁾、川上真理子¹⁾、
中尾 綾²⁾、木村博史³⁾、井門敬子³⁾、
小野恵子⁴⁾、若松 綾⁴⁾、村上雄一²⁾、
末盛浩一郎²⁾、高田清式⁵⁾

1) 愛媛大学医学部附属病院看護部

2) 第一内科

3) 薬剤部

4) 総合診療サポートセンター

5) 臨床研修センター

O43-232 「ともナビを活用した患者の実態調査」
～セルフマネジメントに関する現状と
課題～

宮越郁子、村上則子、多羽田直実、
白井佐恵子、杉山ひかる、佐々木祐子、
松田幸恵、最上いくみ、梅田聖子

札幌医科大学附属病院

O43-233 HIV関連神経認知障害 (HAND) により
服薬アドヒアランスが低下した看護の検討

松本美由紀、豊島裕子、白野倫徳、笠松 悠、
亀田和明、内山良則

大阪市立総合医療センター

O43-234 HANDに関連した軽度認知症がある患者
への服薬支援～訪問看護/訪問薬剤師と
連携して～

向井三穂子¹⁾、椎木創一²⁾、谷口智宏²⁾、
呉屋多恵子³⁾、赤嶺一姫³⁾、喜舎場利恵⁴⁾、
与那覇愛⁴⁾、新垣恵美子⁵⁾、砂川信子⁶⁾

1) 沖縄県立中部病院

2) 同内科

3) 同薬剤部

4) 同MSW

5) 訪問看護ステーションリズム

6) 業正堂すこやか薬局グループ

O43-235 入院HANDパス導入のこころみ

山地由恵¹⁾、犬丸真司¹⁾、廣末佳子¹⁾、
城崎真弓¹⁾、長與由紀子¹⁾、辻麻理子¹⁾、
阪木淳子^{1,2)}、曾我真千恵^{1,3)}、郭 悠¹⁾、
高濱宗一郎¹⁾、南 留美¹⁾、山本政弘¹⁾

1) 独立行政法人国立病院機構九州医療センター

2) (公財) エイズ予防財団

3) 福岡県保健医療介護部

■日時：12月5日(金) 10:10～11:20

■会場：第6会場(大阪国際会議場
12F 1202)

O44 基礎：薬剤耐性

座長 蜂谷敦子

(独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター臨床研究センター 感染免疫研究部)

貞升健志

(東京都健康安全研究センター 微生物部)

O44-236 Illumina MiSeq を用いた HIV-1 近全長
遺伝子配列解析の試み

松田昌和¹⁾、大出裕高¹⁾、松岡和弘¹⁾、
蜂谷敦子¹⁾、横幕能行¹⁾、岩谷靖雅^{1,2)}、
杉浦 互^{1,2)}

1) (独) 名古屋医療センター 臨床研究センター
感染・免疫研究部
2) 名古屋大学大学院医学系研究科

O44-237 HIV-1 の高度 darunavir 耐性発現には
darunavir 高感受性を単独で付与する
V32I の獲得が重要である

青木 学^{1,2)}、Debananda Das³⁾、
林 宏典¹⁾、青木宏美¹⁾、Arun K. Ghosh⁴⁾、
満屋裕明^{1,3)}

1) 熊本大学大学院生命科学研究部・血液内科・
感染免疫診療部
2) 熊本保健科学大学・保健科学部・医学検査学科
3) Experimental Retrovirology Section, National
Cancer Institute, National Institute of Health
4) Departments of Chemistry and Medicinal
Chemistry, Purdue University

O44-238 Impact of maraviroc (MVC)
-resistant mutations in C1 and C4
regions of gp120 on sensitivity to
antibody-mediated neutralization

Samatchaya Boonchawalit¹⁾、原田恵嘉²⁾、
松下修三¹⁾、吉村和久^{1,2)}

1) 熊本大学エイズ学研究センター
2) 国立感染症研究所エイズ研究センター

O44-239 Maraviroc 治療失敗症例にみる
envelope 領域の遺伝的多様性の解析

鬼頭優美子¹⁾、大出裕高¹⁾、松田昌和^{1,4)}、
松岡和弘⁵⁾、蜂谷敦子^{1,4)}、清水宣明³⁾、
今村淳治¹⁾、岩谷靖雅^{1,2)}、杉浦 互^{1,2)}、
横幕能行¹⁾

1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター
2) 名古屋大学大学院医学系研究科免疫不全統御学講座
3) 愛知県立大学看護学部
4) エイズ予防財団
5) 愛媛大学大学院医学系研究科分子寄生虫学講座

O44-240 HIV-1 の viral RNA および proviral DNA
を用いた chemokine receptor 指向性結
果の乖離に対する deep sequencing を
用いた系統解析による原因の検討

小谷 宙^{1,2)}、須藤弘二³⁾、藤原 宏²⁾、
上菘義典²⁾、山口雅也¹⁾、長谷川直樹²⁾、
岩田 敏²⁾、岡本真一郎^{1,4)}、加藤真吾³⁾

1) 慶應義塾大学病院薬剤部
2) 慶應義塾大学医学部感染制御センター
3) 慶應義塾大学医学部微生物・免疫学教室
4) 慶應義塾大学医学部血液内科学教室

O44-241 抗 HIV 治療患者から臨床経過観察中に
検出される 微小集族薬剤耐性変異の特性
と臨床的意義の解析

西澤雅子¹⁾、Johnson Jeffrey²⁾、
Heneine Walid²⁾、杉浦 互^{1,3)}

1) 国立感染症研究所
2) 米国疾病対策局 (CDC)
3) (独) 名古屋医療センター

O44-242 Different effects of drug-resistant
mutations on CTL recognition
between HIV-1 subtype B and
subtype A/E infections

Rahman Mohammad Arif¹⁾、
Kuse Nozomi¹⁾、Murakoshi Hayato¹⁾、
Chikata Takayuki¹⁾、Tran Van Giang¹⁾、
Gatanaga Hiroyuki^{1,3)}、Oka Shinichi^{1,3)}、
Takiguchi Masafumi^{1,2)}

1) Center for AIDS Research, Kumamoto University
2) International Centre for Medical Sciences,
Kumamoto University
3) AIDS Clinical Center, National Center for Global
Health and Medicine

■日時：12月5日(金) 11:30～12:20

■会場：第6会場(大阪国際会議場
12F 1202)

O45 基礎：ワクチンと中和抗体

座長 滝口雅文

(熊本大学 エイズ学研究センター)

俣野哲朗

(国立感染症研究所)

O45-243 抗HIV薬投与下の治療ワクチン接種により誘導されるCD8陽性T細胞のSIV複製抑制能の解析

中村 碧^{1,2)}、高原悠佑^{1,2)}、松岡佐織¹⁾、
團塚 愛³⁾、三浦智行³⁾、小柳義夫³⁾、
成瀬妙子⁴⁾、木村彰方⁴⁾、俣野哲朗^{1,2)}

1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター

2) 東京大学医科学研究所

3) 京都大学ウイルス研究所

4) 東京医科歯科大学難治疾患研究所

O45-244 HIV-1 gp120における中和逃避のためのアロステリックパス

横山 勝、佐藤裕徳

国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター

O45-245 V3エピトープへの交叉反応性をもつ中和抗体の遺伝子組み換えによる小型化の試み

江上由華、丸田泰広、田中和樹、
Alam Muntasir、Ramirez Kristel、
桑田岳夫、松下修三

熊本大学エイズ学研究センター

O45-246 強力な抗SIV中和抗体B404からの逃避メカニズムの解析

桑田岳夫、松下修三

熊本大学 エイズ学研究センター

O45-247 Complementary effect of anti-V3, CD4bs and CD4i antibodies accounts for cross-neutralizing and non-neutralizing activities against HIV-1

Ramirez Kristel¹⁾、Kuwata Takeo¹⁾、
Maruta Yasuhiro¹⁾、Tanaka Kazuki¹⁾、
Alam Muntasir¹⁾、Yoshimura Kazuhisa^{1,2)}、
Matsushita Shuzo¹⁾

1) Matsushita Project Laboratory, Center for AIDS Research, Kumamoto University, Kumamoto, Japan.

2) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Tokyo, Japan.

■日時：12月5日(金) 9:50～10:50

■会場：第7会場(大阪国際会議場
10F 1008)

O46 社会：政策・医療体制1

座長 健山正男

(琉球大学 大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学講座)

根岸昌功

(ねぎし内科診療所)

O46-248 神奈川県HIV診療の現状についてのアンケート調査

上田敦久¹⁾、寒川 整¹⁾、松山奈央²⁾、
竹林早苗²⁾、白井 輝³⁾、田原 秀⁴⁾、
石ヶ坪良明¹⁾

1) 横浜市立大学附属病院リウマチ・血液・感染症内科

2) 横浜市立大学附属病院看護部

3) 聖ヨゼフ病院

4) 神奈川県保健福祉局

O46-249 HIV診療を再開したエイズ診療拠点病院での患者受診状況と院内での受け入れに対する考察

加藤英明^{1,2)}、石井哲人¹⁾、上田敦久²⁾、
石ヶ坪良明²⁾

1) 横浜市立大学附属市民総合医療センター

2) 横浜市立大学 大学院医学研究科 病態免疫制御内科学

O46-250 診療所におけるHIV感染症診療の試み—第7報

根岸昌功¹⁾、荒井祐貴子¹⁾、織田幸子¹⁾、
西岡春菜¹⁾、木村リエ¹⁾、南宮 湖^{1,2)}

1) ねぎし内科診療所

2) 慶應義塾大学医学部呼吸器内科

046-251 岡山県のエイズ医療における行政機関との連携強化

和田秀穂¹⁾、芦田英厚²⁾、福田寛文¹⁾、
徳永博俊¹⁾、徳田佳之³⁾、佐久川亮⁴⁾、
草野展周⁵⁾

- 1) 川崎医科大学附属病院血液内科
- 2) 岡山県保健福祉部健康推進課
- 3) 津山中央病院内科
- 4) 岡山赤十字病院呼吸器内科
- 5) 岡山大学病院感染症内科

046-252 地域連携を活用した栃木県内における HIV 針刺し事故対策ネットワークの構築

外島正樹

自治医大臨床感染症センター感染症科

**046-253 青森県内 HIV/AIDS 診療の実態の把握
～医師主導の HIV/AIDS データベース
作成の試み～**

山口公平¹⁾、富士井孝彦¹⁾、赤木智昭¹⁾、
千葉大²⁾、前田俊一³⁾、玉井佳子⁴⁾、
相原守夫⁵⁾、久保恒明¹⁾

- 1) 青森県立中央病院血液内科
- 2) 八戸市立市民病院総合診療科
- 3) 八戸市立市民病院化学療法科
- 4) 弘前大学医学部附属病院輸血部
- 5) 相原内科小児科医院

■日時：12月5日(金) 11:10～12:20

■会場：第7会場(大阪国際会議場
10F 1008)

O47 社会：政策・医療体制2

座長 岡本 学

(独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター)

池田正一

(神奈川歯科大学附属横浜研修センター)

**047-254 ブロック拠点病院とACCにおける
「健康と生活調査」－就労と職場環境－**

岡本 学¹⁾、生島 嗣²⁾、大金美和³⁾、
坂本玲子⁴⁾、遠藤知之⁴⁾、伊藤ひとみ⁵⁾、
伊藤俊広⁵⁾、川口 玲⁶⁾、田邊嘉也⁶⁾、
羽柴知恵子⁷⁾、横幕能行⁷⁾、山田三枝子⁸⁾、
上田幹夫⁸⁾、下司有加¹⁾、白阪琢磨¹⁾、
鍵浦文子⁹⁾、藤井輝久¹⁰⁾、城崎真弓¹¹⁾、
山本政弘¹¹⁾、岡 慎一³⁾、若林チヒロ¹²⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
- 2) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 3) 独立行政法人国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター
- 4) 北海道大学病院
- 5) 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
- 6) 新潟大学医学部総合病院
- 7) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
- 8) 石川県立中央病院
- 9) 広島大学
- 10) 広島大学病院
- 11) 独立行政法人国立病院機構九州医療センター
- 12) 埼玉県立大学

**047-255 ブロック拠点病院とACCにおける
「健康と生活調査」－薬物使用の状況－**

生島 嗣¹⁾、岡本 学²⁾、池田和子³⁾、
渡部恵子⁴⁾、遠藤知之⁴⁾、伊藤ひとみ⁵⁾、
伊藤俊広⁵⁾、川口 玲⁶⁾、田邊嘉也⁶⁾、
羽柴知恵子⁷⁾、横幕能行⁷⁾、高山次代⁸⁾、
上田幹夫⁸⁾、下司有加²⁾、白阪琢磨²⁾、
木下一枝⁹⁾、藤井輝久⁹⁾、城崎真弓¹⁰⁾、
山本政弘¹⁰⁾、岡 慎一³⁾、若林チヒロ¹¹⁾

- 1) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 2) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
- 3) 独立行政法人国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター
- 4) 北海道大学病院
- 5) 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
- 6) 新潟大学医学部総合病院
- 7) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
- 8) 石川県立中央病院
- 9) 広島大学病院
- 10) 独立行政法人国立病院機構九州医療センター
- 11) 埼玉県立大学

O47-256 新エイズ予防指針に基づく全国自治体の 在日外国人对応に関する認識と現状

仲尾唯治¹⁾、沢田貴志²⁾、山本裕子³⁾

- 1) 山梨学院大学経営情報学部
- 2) 港町診療所
- 3) 特別活動法人 シェア=国際保健協力市民の会

O47-257 群馬県のHIV感染者受け入れに関する 透析施設向けアンケート調査

小川孔幸¹⁾、柳澤邦雄¹⁾、永井康男²⁾、
横堀功一²⁾、川島 崇³⁾、猿木和久⁴⁾、
野島美久¹⁾

- 1) 群馬大学医学部附属病院 血液内科
- 2) 群馬県庁 保健予防課 感染症対策係
- 3) 群馬県医師会 理事 (感染症対策)
- 4) 医療法人さるきクリニック

O47-258 広島大学病院が実施したHIV歯科診療体 制構築事業後のアンケートから伺える課題

岩田倫幸^{1,2)}、柴 秀樹^{1,2)}、松井加奈子³⁾、
新谷智章⁴⁾、岡田美穂³⁾、濱本京子⁵⁾、
畝井浩子⁶⁾、齊藤誠司⁷⁾、高田 昇⁸⁾、
藤井輝久⁷⁾

- 1) 広島大学病院 歯周診療科
- 2) 広島大学大学院医歯薬保健学研究院 歯周病態学研究室
- 3) 広島大学病院 歯科衛生部門
- 4) 広島大学病院 口腔検査センター
- 5) 広島大学病院 エイズ医療対策室
- 6) 広島大学病院 薬剤部
- 7) 広島大学病院 輸血部
- 8) 広島文化学園大学 看護学部看護学科

O47-259 HIV感染者の歯科治療時における曝露 事故の検討

宇佐美雄司、菱田純代、荒川美貴子

国立病院機構名古屋医療センター

O47-260 中核拠点病院における地域歯科医療確保 に向けた取組の現状と課題～エイズ治療 中核拠点病院及びブロック拠点病院にお ける地域歯科医療体制整備に関する実態 調査～

秋野憲一¹⁾、遠藤浩正²⁾、田村光平³⁾、
宮田 勝⁴⁾、前田憲昭⁵⁾、宇佐美雄司⁶⁾

- 1) 札幌市保健福祉局保健所
- 2) 埼玉県保健医療部 健康長寿課
- 3) 葛飾区保健所 健康推進課
- 4) 石川県立中央病院 歯科口腔外科
- 5) 医療法人社団皓歯会
- 6) 独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター

一般演題プログラム (ポスター)

※本号 (() 内) のページ数を掲載しております。

ポスター

プログラム/抄録

日時： 12月3日(水) 16:50~17:50
12月4日(木) 15:30~16:30

社会	政策・医療体制	P1-001~P1-006		
		P1-104	P.81	P.376
社会	検査・相談体制	P1-007~P1-011	P.81	P.379
社会	ソーシャルワーク	P1-012~P1-016	P.82	P.382
臨床	診療体制	P1-017~P1-019	P.83	P.384
臨床	性感染症	P1-020~P1-022	P.83	P.386
臨床	診療体制	P1-023~P1-024	P.83	P.387
臨床	日和見感染症	P1-025~P1-029	P.83	P.388
臨床	臨床薬理	P1-030~P1-031	P.84	P.391
臨床	免疫再構築症候群	P1-032~P1-034	P.84	P.392
臨床	抗HIV療法	P1-035~P1-041		
		P1-103	P.84	P.393
臨床	悪性腫瘍	P1-042~P1-046	P.85	P.397
基礎		P1-047~P1-051	P.86	P.400
社会	予防・教育	P2-052~P2-060	P.87	P.402
社会	在宅療養支援・ケアコーディネーション	P2-061~P2-068	P.87	P.407
臨床	症例	P2-069~P2-070	P.88	P.411
臨床	看護	P2-071~P2-080	P.88	P.412
臨床	症例	P2-081~P2-083	P.89	P.417
臨床	服薬支援	P2-084~P2-090	P.89	P.418
臨床	副作用	P2-091~P2-094		
		P2-105	P.90	P.422
臨床	生活習慣病関連合併症(骨)	P2-095	P.91	P.424
臨床	母子感染	P2-096~P2-097	P.91	P.424
基礎		P2-098~P2-102	P.91	P.425

一般演題 (ポスター)

■日時：12月3日(水) 16:50～17:50

■会場：ポスター会場 (大阪国際会議場
10F 1004-1007)

社会：政策・医療体制

P1-001 当院における抗HIV薬の院外処方移行後の患者満足度調査

石崎芳美¹⁾、兒玉知子²⁾、小川孔幸³⁾、
柳澤邦雄³⁾、関上里子⁴⁾、大川友子⁴⁾、
城田陽子⁴⁾、合田 史⁵⁾、林 俊誠⁶⁾、
内海英貴⁷⁾

- 1) 群馬大学医学部附属病院看護部
- 2) 群馬大学医学部附属病院薬剤部
- 3) 群馬大学医学部附属病院血液内科
- 4) 群馬大学医学部附属病院患者支援センター
- 5) 国立病院機構高崎総合医療センター
- 6) 前橋赤十字病院総合感染症内科
- 7) 医療法人社団日高会白根クリニック

P1-002 HIV / HCV重複感染患者の支援特性(第4報)～生活困難状況ならびに生活機能との関連

岩野友里¹⁾、久地井寿哉²⁾、柿沼章子²⁾、
大平勝美²⁾

- 1) 公益財団法人エイズ予防財団
- 2) 社会福祉法人はばたき福祉事業団

P1-003 発展途上国におけるHIVケアと治療継続の状況についてのアンケート調査

武本重毅^{1,2)}、Mabelele Mathias^{3,5)}、
Kwadwo Owusu^{4,5)}、JICA研修員⁵⁾

- 1) 国立病院機構熊本医療センター臨床検査科
- 2) 熊本大学大学院医学教育部臨床国際協力学分野
- 3) タンザニア保健福祉省
- 4) ガーナ保健省
- 5) JICA研修「次の10年に向けてのAIDSの予防及び対策」平成24・25年度

P1-004 HIV患者に対する院外処方の問題点と取り組み

窪田佳代子¹⁾、鳴河宗聡²⁾、成田綾香³⁾、
彼谷裕康⁴⁾、山本善裕²⁾

- 1) 富山大学附属病院 薬剤部
- 2) 富山大学 感染予防医学講座/感染症科
- 3) 富山県立高志学園 診療科
- 4) 富山県立中央病院 感染症科

P1-005 倫理/ethicsに求められてきたもの—海外でのHIV/AIDSに関する倫理的議論の歴史的調査より

大北全俊¹⁾、遠矢和希²⁾、加藤 穰³⁾、
Franziska Kasch⁴⁾、花井十伍⁵⁾、
横田恵子⁶⁾、白阪琢磨⁷⁾

- 1) 大阪大学大学院医学系研究科
- 2) 国立循環器病研究センター
- 3) 石川県立看護大学
- 4) 大阪大学大学院文学研究科
- 5) 特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権
- 6) 神戸女学院大学文学部
- 7) 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

P1-006 拠点病院診療案内2014年度版からみる拠点病院の現状

須貝 恵^{1,8)}、吉用 緑^{2,8)}、
センチノ田村恵子^{3,8)}、鈴木智子^{4,8)}、
辻 典子^{5,8)}、築山亜紀子^{6,8)}、濱本京子^{7,8)}、
田邊嘉也¹⁾、伊藤俊広⁴⁾

- 1) 新潟大学医歯学総合病院 感染管理部
- 2) 独立行政法人国立病院機構九州医療センター
- 3) 北海道大学病院
- 4) 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
- 5) 石川県立中央病院
- 6) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
- 7) 広島大学病院
- 8) 公益財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント

P1-104 当院におけるHIV感染症患者へのかかりつけ薬局の登録支援に向けた調査

今西美香¹⁾、橋本光子¹⁾、土師知子¹⁾、
木内智香子¹⁾、小林謙一郎²⁾、阪本直也²⁾、
岩渕千太郎²⁾、大西健児²⁾

- 1) 東京都立墨東病院薬剤科
- 2) 東京都立僕等病院感染症科

社会：検査・相談体制

P1-007 大阪府内の性感染症関連医療機関におけるHIV検査に関するアンケート調査結果

川畑拓也^{1,2)}、古林敬一^{1,3)}

- 1) 大阪STI研究会
- 2) 大阪府立公衆衛生研究所
- 3) そねざき古林診療所

**P1-008 HIVマップ
—「HIVお役立ちナビ」の改訂に関する
考察—**

矢島 嵩^{1,2)}、岩橋恒太^{3,4,6)}、柴田 恵³⁾、
阿部甚兵³⁾、加藤悠二⁵⁾、大島 岳^{3,6)}、
佐久間久弘^{3,6)}、市川誠一⁴⁾、生島 嗣¹⁾、
荒木順子^{3,6)}

- 1) ぶれいす東京
- 2) 日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 3) akta
- 4) 名古屋市立大学
- 5) 国際基督教大学
- 6) エイズ予防財団

**P1-009 常設夜間休日HIV検査場における6年間の
受検者の動向**

毛受矩子^{1,2)}、落合世津子^{2,3)}、織田 肇²⁾

- 1) 四天王寺大学
- 2) NPOスマートらいふネット
- 3) 藍野大学

**P1-010 当院におけるHIV陽性患者への支援
—心理面接と神経心理学的検査を通して**

中尾 綾¹⁾、中村真理子²⁾、藤原光子²⁾、
小野恵子³⁾、若松 綾³⁾、木村博史⁴⁾、
井門敬子⁴⁾、中西英元¹⁾、村上雄一¹⁾、
末盛浩一郎¹⁾、安川正貴¹⁾、高田清式⁵⁾

- 1) 愛媛大学大学院医学系研究科
血液・免疫・感染症内科学
- 2) 愛媛大学医学部附属病院 看護部
- 3) 同 総合診療サポートセンター
- 4) 同 薬剤部
- 5) 同 臨床研修センター

**P1-011 北海道大学病院におけるHIV/AIDS電話
相談の現状**

武内阿味^{1,2)}、渡部恵子³⁾、坂本玲子^{1,2)}、
センチノ田村恵子^{1,2)}、遠藤知之⁴⁾、
成田月子³⁾、大野稔子³⁾、富田健一¹⁾、
大川満生¹⁾、江端あい¹⁾、豊嶋崇徳⁴⁾、
岡林靖子³⁾

- 1) 北海道大学病院相談室
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団
- 3) 北海道大学病院看護部
- 4) 北海道大学病院血液内科

社会：ソーシャルワーク

**P1-012 認知症合併例の地域包括ケアシステムの
構築を可能とした要因の検討**

岩室紳也¹⁾、福島ゆきよ²⁾、五十嵐ひとみ²⁾、
関原弘子²⁾、岩崎弥生³⁾、山本貴子⁴⁾

- 1) 厚木市立病院 泌尿器科
- 2) 厚木市立病院 看護局
- 3) 厚木市立病院 薬剤管理指導室
- 4) 神奈川県保健福祉局保健医療部健康危機管理課

**P1-013 介護が必要な状況であるにもかかわらず
一人暮らしを継続した事例への対処**

首藤美奈子¹⁾、城崎真弓¹⁾、阪木淳子^{1,2)}、
南 留美¹⁾、高濱宗一郎¹⁾、郭 悠¹⁾、
長與由紀子¹⁾、辻麻理子¹⁾、山本政弘¹⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構九州医療センター
AIDS/HIV総合治療センター
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団

**P1-014 社会サービスを活用し社会復帰した双極
性障害を患うHIV陽性者の一例と支援者
へのアンケートを実施して**

三嶋一輝¹⁾、岩崎博道²⁾、南部千代恵³⁾、
五十嵐敏明⁴⁾、梅澤有美子⁵⁾

- 1) 福井大学医学部附属病院地域医療連携部
- 2) 同感染制御部
- 3) 同看護部
- 4) 同薬剤部
- 5) 福井大学保健管理センター

**P1-015 南大阪におけるHIV陽性者の療養支援体
制充実をめざす当院の取り組み**

縦木和美¹⁾、三田洋子²⁾、正木るり子²⁾、
松浦基夫³⁾

- 1) 地方独立行政法人堺市立病院機構 市立堺病院
地域医療連携室
- 2) 市立堺病院 看護局
- 3) 市立堺病院 腎代謝免疫内科

**P1-016 HIV陽性者の施設入所支援で浮きぼりと
なった問題点**

坂部茂俊¹⁾、Hirokazu Toyoshima¹⁾、
辻 幸太¹⁾、森尾志保²⁾、服部公紀³⁾、
落合幸太郎⁴⁾、上部真嗣⁴⁾

- 1) 伊勢赤十字病院感染症内科
- 2) 伊勢赤十字病院看護部
- 3) 伊勢赤十字病院薬剤部
- 4) 伊勢赤十字病院医療社会事業部

臨床：診療体制

P1-017 拠点病院と歯科診療所との連携に関する考察 第4報
一石川県歯科医師会と歯科医療体制のネットワーク化の取り組み—

宮田 勝¹⁾、高木純一郎¹⁾、藤邑守成²⁾、能島初美³⁾、宮浦朗子³⁾、山本裕佳³⁾、上田幹夫⁴⁾、山田三枝子⁵⁾、辻 典子⁵⁾、前田憲昭⁶⁾、宇佐美雄司⁷⁾

- 1) 石川県立中央病院歯科口腔外科
- 2) 石川県歯科医師会
- 3) 石川県立中央病院歯科技術室
- 4) 恵寿金沢病院
- 5) 石川県立中央病院・公益財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント
- 6) 医療法人社団皓歯会
- 7) 名古屋医療センター歯科口腔外科

P1-018 エイズ中核拠点病院における歯科衛生士学生教育の試み

伊地知由賀¹⁾、吉田美和¹⁾、正木綾香¹⁾、柳生貴裕⁴⁾、福辻 智⁴⁾、上田順宏⁴⁾、今井裕一郎⁴⁾、青木久美子⁴⁾、宇野健司²⁾、古西 満³⁾、三笠桂一²⁾、桐田忠昭⁴⁾

- 1) 奈良県立医科大学附属病院 医療技術センター
- 2) 奈良県立医科大学 感染症センター
- 3) 奈良県立医科大学 健康管理センター
- 4) 奈良県立医科大学 口腔外科学講座

P1-019 富山県におけるHIV診療の現状

彼谷裕康¹⁾、丸山敬子¹⁾、吉森文子¹⁾、窪田佳代子²⁾、鳴河宗聡²⁾、山本善裕²⁾

- 1) 富山県立中央病院 内科
- 2) 富山大学医学部 感染予防医学講座/感染症科

臨床：性感染症

P1-020 顕症梅毒を合併したHIV陽性者において梅毒血清反応が陰性であった1症例

齊藤孝子¹⁾、松浦基夫²⁾、大田加与³⁾、藤本卓司⁴⁾、大成功一⁵⁾

- 1) 市立堺病院 臨床検査技術科
- 2) 市立堺病院 腎代謝免疫内科
- 3) 市立堺病院 呼吸器内科
- 4) 市立堺病院 総合内科
- 5) 市立堺病院 内科統括部

P1-021 当院における新規罹患した2期梅毒5人の臨床的特徴

谷口智宏¹⁾、津霸実史¹⁾、椎木創一¹⁾、向井三穂子²⁾

- 1) 沖縄県立中部病院感染症内科
- 2) 沖縄県立中部病院看護部

P1-022 HIV陽性MSM患者において肛門部尖圭コンジローマとポウエン病を同時に発症した一例

古川聡美¹⁾、飯原久仁子³⁾、柳 富子²⁾、佐原力三郎¹⁾

- 1) 東京山手メディカルセンター 大腸肛門病センター
- 2) 東京山手メディカルセンター 血液内科
- 3) 東京山手メディカルセンター 病理診断部

臨床：診療体制

P1-023 当院におけるHIV感染者に対する外来個別栄養指導の実績

宮森敦子、濱口優子、鈴野千鶴子

石川県立中央病院栄養部

P1-024 信州大学医学部附属病院のHIV診療の現状と地域活動

金井信一郎^{1,4)}、牛木淳人¹⁾、土屋広行¹⁾、小林裕子¹⁾、小堀福子¹⁾、小竹美千穂²⁾、北野喜良^{3,4)}、小林和代^{3,4)}

- 1) 信州大学医学部附属病院
- 2) 藤森病院
- 3) 国立病院機構まつもと医療センター松本病院
- 4) 松本市HIV感染症等性感染症予防啓発推進協議会

臨床：日和見感染症

P1-025 岐阜大学医学部附属病院（岐阜県中核拠点病院）における日和見合併症の発生状況

渡邊珠代^{1,2)}、石原正志^{1,3)}、鶴見広美¹⁾、山口公大⁴⁾、林 寛子³⁾、村上啓雄²⁾、鶴見 寿^{1,4)}

- 1) 岐阜大学医学部附属病院エイズ対策推進センター
- 2) 岐阜大学医学部附属病院生体支援センター
- 3) 岐阜大学医学部附属病院薬剤部
- 4) 岐阜大学医学部附属病院血液内科

P1-026 トキソプラズマ脳症、HIV脳症、胃リンパ腫を合併したAIDS症例

芦野有悟^{1,2)}、齋藤弘樹¹⁾、服部俊夫³⁾、賀来満男¹⁾

- 1) 東北大学病院総合感染症科
- 2) 東北大学大学院医学研究科内科病態学講座感染病態学
- 3) 東北大学災害科学研究所

P1-027 結核合併後天性免疫不全症候群5例の治療経験

池田 博¹⁾、五十嵐哲祥¹⁾、青木由佳¹⁾、
林 敏昭¹⁾、村上則子²⁾、宮越郁子²⁾、
國本雄介³⁾、任田宜史³⁾、石田禎夫¹⁾、
篠村恭久¹⁾

- 1) 札幌医科大学消化器免疫リウマチ内科
- 2) 札幌医科大学看護部
- 3) 札幌医科大学薬剤部

P1-028 結核合併 AIDS 症例3例に関する臨床的検討

堀 亮介¹⁾、藤原 宏¹⁾、南宮 湖²⁾、
上藁義典¹⁾、親泊あいみ³⁾、小谷 宙⁴⁾、
戸時祐子⁵⁾、加藤真吾³⁾、長谷川直樹¹⁾、
岩田 敏¹⁾

- 1) 慶應義塾大学病院感染制御センター
- 2) 慶應義塾大学病院呼吸器内科
- 3) 慶應義塾大学医学部微生物・免疫学
- 4) 慶應義塾大学病院薬剤部
- 5) 慶應義塾大学病院看護部

P1-029 PCRとワコー法 (1→3) -β-Dグルカンの組み合わせで HIV 患者におけるニューモシス肺炎の診断精度は向上するか

笠松 悠¹⁾、白野倫徳¹⁾、市田裕之²⁾、
佐々木剛²⁾、後藤哲志¹⁾

- 1) 大阪市立総合医療センター 感染症センター
- 2) 大阪市立総合医療センター 薬剤部

臨床：臨床薬理

P1-030 血中と唾液中のアタザナビル濃度の検討

山田瑛子¹⁾、高木律男¹⁾、矢倉裕輝²⁾、
吉野宗宏³⁾、加藤真吾⁴⁾

- 1) 新潟大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面口腔外科学分野
- 2) 国立病院機構 大阪医療センター 薬剤科
- 3) 国立病院機構 姫路医療センター 薬剤科
- 4) 慶應義塾大学医学部 微生物・免疫学教室

P1-031 薬物相互作用データベースを用いて抗 HIV 薬の血中濃度をモニタリングした症例

増田純一¹⁾、和泉啓司郎¹⁾、本田元人²⁾、
菊池 嘉²⁾、岡 慎一²⁾

- 1) 国立国際医療研究センター病院薬剤部
- 2) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

臨床：免疫再構築症候群

P1-032 早期から ART を併用したが免疫再構築症候群なく順調に改善したサイトメガロウイルス網膜炎の1例

坂部茂俊¹⁾、中西雄紀¹⁾、豊嶋弘一¹⁾、
辻 幸太¹⁾、服部公紀²⁾、森尾志保³⁾

- 1) 伊勢赤十字病院感染症内科
- 2) 伊勢赤十字病院薬剤部
- 3) 伊勢赤十字病院看護部
- 4) 伊勢赤十字病院社会事業部

P1-033 免疫再構築症候群による縦隔リンパ節炎を発症し、気管・食道瘻孔形成を認めたが保存的に治療し得た非結核性抗酸菌症の1例

古川恵太郎、柴田 怜、谷崎隆太郎、
水島大輔、西島 健、渡辺恒二、青木孝弘、
本田元人、矢崎博久、田沼順子、塚田訓久、
木内 英、瀧永博之、照屋勝治、菊池 嘉、
岡 慎一

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

P1-034 免疫再構築症候群が疑われた免疫性血小板減少症の2例

善本英一郎^{1,2)}、古西 満⁵⁾、宇野健司²⁾、
治田匡平³⁾、赤澤紫乃³⁾、青井博志³⁾、
谷口美苗⁴⁾、梶田明裕²⁾、今北菜津子²⁾、
今井雄一郎²⁾、米川真輔²⁾、笠原 敬²⁾、
中村 (内山) ふくみ²⁾、前田光一²⁾、
三笠桂一²⁾

- 1) 奈良厚生会病院感染制御室
- 2) 奈良県立医科大学感染症センター
- 3) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部
- 4) 奈良県立医科大学附属病院看護部
- 5) 奈良県立医科大学健康管理センター

臨床：抗 HIV 療法

P1-035 当院における Dolutegravir の使用経験

保崎有紀¹⁾、吉野宗宏¹⁾、村田真弓²⁾、
藤井希代子²⁾、白石幸子³⁾、鏡 亮吾³⁾、
勝田倫子³⁾、水守康之³⁾、田中三晶¹⁾、
望月吉郎³⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構姫路医療センター薬剤科
- 2) 独立行政法人国立病院機構姫路医療センター看護部
- 3) 独立行政法人国立病院機構姫路医療センター呼吸器内科

P1-036 初回治療でNRTI sparing regimenを選択し長期に渡り治療奏功したHIV感染症の一例

乾 啓洋、内藤俊夫、中村暢宏、大池美希、鈴木麻衣、森田芙路子、福井由希子、甘利 悠、小林俊幸、上原由紀、三橋和則、磯沼 弘

順天堂大学医学部総合診療科

P1-103 ドルテグラビルの血中濃度測定系の開発とその薬物動態に関する検討

高橋昌明¹⁾、柴田雅章²⁾、戸上博昭²⁾、松本修一²⁾、横幕能行³⁾、杉浦 亙³⁾

- 1) 静岡てんかん・神経医療センター
- 2) 名古屋医療センター・薬剤科
- 3) 名古屋医療センター・エイズ治療研究センター

P1-037 当院における抗HIV薬とリファンピシンの併用について

右川 浩¹⁾、田中三枝子¹⁾、高森幹雄²⁾、阪下健太郎²⁾

- 1) 東京都立多摩総合医療センター 薬剤科
- 2) 東京都立多摩総合医療センター 呼吸器内科

P1-038 HIV/HCV重複感染者の治療経験

前城達次¹⁾、翁長 薫¹⁾、宮城京子²⁾、仲村秀太¹⁾、原永修作¹⁾、比嘉 太¹⁾、健山正男¹⁾、藤田次郎¹⁾

- 1) 琉球大学医学部附属病院第一内科
- 2) 琉球大学医学部附属病院看護部

P1-039 血液製剤によるHIV感染者の調査成績第1報 CD4値、HIV-RNA量と治療の現状と推移

白阪琢磨¹⁾、岡 慎一²⁾、川戸美由紀³⁾、橋本修二³⁾、日笠 聡⁴⁾、福武勝幸⁵⁾、吉崎和幸⁶⁾、八橋 弘⁷⁾

- 1) 国立病院機構大阪医療センター
- 2) 国立国際医療研究センター
- 3) 藤田保健衛生大学
- 4) 兵庫医科大学
- 5) 東京医科大学
- 6) 大阪大学
- 7) 国立病院機構長崎医療センター

P1-040 CD4リンパ球数増加を狙ってマラビロクを上乗せした3例

小谷岳春、上田幹夫

石川県立中央病院

P1-041 AIDS発症後の抗HIV療法中に免疫回復が十分でない症例に関する一考察

関 義信¹⁾、池田孝和²⁾、成田清子³⁾、高橋晴代³⁾、菅沢明美³⁾、高岡勝利³⁾

- 1) 新潟県立新発田病院内科
- 2) 新潟県立新発田病院臨床検査科
- 3) 新潟県立新発田病院看護部

臨床：悪性腫瘍

P1-042 HIV感染悪性腫瘍患者の終末期医療についての国内アンケート調査

小島勇貴¹⁾、岩崎奈美²⁾、矢永由里子³⁾、田沼順子⁴⁾、小泉祐介⁵⁾、上平朝子⁶⁾、四本美保子⁷⁾、味澤 篤⁸⁾、萩原将太郎⁹⁾、岡田誠治¹⁰⁾、永井宏和²⁾

- 1) 名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター
- 3) 慶応義塾大学医学部 感染制御センター
- 4) 国立国際医療研究センター エイズ治療研究開発センター
- 5) 滋賀医科大学医学部附属病院 血液内科
- 6) 国立病院機構大阪医療センター 感染症内科
- 7) 東京医科大学 臨床検査医学科
- 8) 豊島病院 副院長
- 9) 国立国際医療研究センター 血液内科
- 10) 熊本大学 エイズ学研究センター

P1-043 悪性黒色腫診断時にHIV陽性が判明した一例

小林寿美子¹⁾、大塚麻子²⁾、天貝純都²⁾、木村久美子²⁾、葉山惟大²⁾、照井 正²⁾、武井正美¹⁾

- 1) 日本大学医学部血液膠原病内科
- 2) 日本大学板橋病院皮膚科

P1-044 声帯部カポジ肉腫の生検時にキシロカインショックを生じ、治療に難渋した全身性カポジ肉腫合併AIDSの一例

佐々木信一^{1,2)}、南條友央太^{1,2)}、中澤武司²⁾、木下綾子³⁾、成田久美⁴⁾、岩崎沙奈美⁵⁾、飯田美奈子⁵⁾、月山智美⁵⁾、古田あずさ⁶⁾、金森由和⁷⁾、玉野知佐⁷⁾、伊藤友美⁷⁾、鈴木俊介⁸⁾、唐島孝彰⁹⁾、米山桂一¹⁰⁾

- 1) 順天堂大学医学部附属浦安病院 呼吸器内科
- 2) 感染対策室
- 3) 皮膚科
- 4) 薬剤科
- 5) 看護部
- 6) メンタルクリニック
- 7) 医療福祉相談室
- 8) 医事課
- 9) 総務課
- 10) 情報管理室

P1-045 出血性の原発性脳リンパ腫と多臓器のカポジ肉腫を合併した高齢発症 AIDS の一症例

脇田真希、古川恵一

聖路加国際病院 内科 感染症科

P1-046 直腸悪性リンパ腫を契機に HIV/AIDS が判明、2年後に同部位の肛門管癌が判明した症例

岩淵千太郎、小林謙一郎、阪本直也、大西健児

東京都立墨東病院感染症科

P1-049 サル指向性 HIV-1 の感染個体における増殖効率を上昇させる要因

芳田 剛^{1,2)}、齊藤 暁¹⁾、松岡和弘³⁾、大出裕高³⁾、岩谷靖雅³⁾、保富康宏⁴⁾、俣野哲朗⁵⁾、杉浦 互³⁾、三浦智行⁶⁾、明里宏文^{1,2)}

- 1) 京都大学霊長類研究所
- 2) 京都大学ウイルス研究所・進化ウイルス研究領域
- 3) (独) 国立病院機構名古屋医療センター・臨床研究センター
- 4) (独) 医薬基盤研究所・霊長類医学科学研究センター
- 5) 国立感染症研究所・エイズ研究センター
- 6) 京都大学ウイルス研究所・霊長類モデル研究領域

P1-050 再生医療技術のエイズ研究応用のためのアカゲザル iPS 細胞樹立と CD34 陽性細胞への分化

田谷かほる¹⁾、武田英里¹⁾、中山英美¹⁾、塩田達雄¹⁾、明里宏文²⁾、金子 新³⁾

- 1) 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス感染制御分野
- 2) 京都大学 霊長類研究所
- 3) 京都大学 iPS 細胞研究所、増殖分化機構研究部門

P1-051 TRIM5 α 存在下における HIV-1 および HIV-2 のカプシドコアの脱殻

武田英里¹⁾、河野 健¹⁾、Amy E. Hulme²⁾、Thomas J. Hope²⁾、中山英美¹⁾、塩田達雄¹⁾

- 1) 大阪大学微生物病研究所 ウイルス感染制御分野
- 2) Department of Cell and Molecular Biology, Feinberg School of Medicine, Northwestern University, USA.

基礎

P1-047 Establishment of a model system for studying the transcriptional regulation of HIV-1 in latently infected human monocyte cell lines

Jin Gohda¹⁾、Lijun Gu^{1,2)}、Yu Zhang²⁾、George Fu Gao³⁾、Aikichi Iwamoto⁴⁾、Takaomi Ishida^{1,2)}

- 1) Research Center for Asian Infectious Diseases, IMSUT, Tokyo, Japan
- 2) China-Japan Joint Laboratory of Molecular Immunology & Microbiology, IMCAS, Beijing, P.R.China
- 3) CAS Key Laboratory of Pathogenic Microbiology and Immunology, IMCAS, Beijing, P.R.China.
- 4) Division of Infectious Diseases, Advanced Clinical Research Center, IMSUT, Tokyo, Japan.

P1-048 Novel mutant HIV-1 strains with high degree of resistance to cynomolgus macaque TRIMCyp generated by random mutagenesis

Tahmina Sultana¹⁾、中山英美¹⁾、飛田哲志¹⁾、齊藤 暁²⁾、明里宏文²⁾、塩田達雄¹⁾

- 1) 大阪大学微生物病研究所 ウイルス感染制御分野
- 2) 京都大学霊長類研究所 比較免疫微生物領域

一般演題 (ポスター)

■日時：12月4日(木) 15:30～16:30

■会場：ポスター会場 (大阪国際会議場
10F 1004-1007)

社会：予防・教育

P2-052 保険薬局薬剤師として大学薬学部における外部講師への取り組み

中村美紀¹⁾、佐藤真基子¹⁾、城尾秀和¹⁾、高田雅弘²⁾

1) 一般社団法人日本薬業育成会 きらめき薬局
2) 摂南大学薬学部医療薬学研究室

P2-053 当院におけるエイズピアエディケーションについて

市川智之¹⁾、湯原里美²⁾、堀越建一¹⁾、篠原陽子³⁾、鴨下昌晴⁴⁾、常盤英文¹⁾

1) 総合病院土浦協同病院 薬剤部
2) 総合病院土浦協同病院 看護部
3) 総合病院土浦協同病院 呼吸器内科
4) 総合病院土浦協同病院 血液内科

P2-054 薬学部実務実習生におけるHIV/AIDSに関する意識調査

阿部憲介¹⁾、佐藤麻希²⁾、若生治友³⁾、神尾咲留未¹⁾、伊藤俊広¹⁾、小山田光孝¹⁾、水沼周市¹⁾

1) 国立病院機構仙台医療センター
2) 国立国際医療研究センター病院
3) 特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権

P2-055 ゲイバーにおけるゲイ/MSM向け予防啓発ワークショップ「LIFEGUARD 2013」

藤部荒術¹⁾、嶋田憲司¹⁾、河口和也^{1,2)}、高嶋能文³⁾、飯塚信吾¹⁾、太田昌二¹⁾、新美 広¹⁾

1) 特定非営利活動法人動くゲイとレズビアンのかい (アカー)
2) 広島修道大学
3) 医療法人社団めぐみ会 自由が丘メディカルプラザ2 小児科

P2-056 中学生に対する性的リスク予防意識への心理教育的介入プログラムの試み

—アサーション能力・自尊感情の観点から—

飯田大輔¹⁾、高田知恵子²⁾

1) 国立精神・神経医療研究センター病院
2) 秋田大学

P2-057 医療現場から高校へ予防教育に出向いた経験と結果について—2013年度—

吉村幸浩、宮林優子、立川夏夫、寺澤美穂
横浜市立市民病院

P2-058 エイズの啓発活動についての新しい試み ATAC&ABCD in NARA

畠山雅行^{1,2,3)}

1) 東京都結核予防会
2) 奈良産業保健総合支援センター
3) 労働衛生コンサルタントオフィス畠山

P2-059 AIDS文化フォーラムin横浜の意義と役割に関して - その2 -

山田雅子¹⁾、岩室紳也²⁾

1) 河北医療財団看護専門学校
2) ヘルスプロモーション推進センター

P2-060 セックスワーカー女性の実態調査—インターネットを用いた全国規模のアンケート調査より—

宮田 良^{1,2,3)}、塩野徳史⁴⁾、市川誠一⁴⁾、金子典代⁴⁾

1) TGWAP (TransGenderWomenAidsProgram)
2) 関西大学大学院
3) MASH大阪
4) 名古屋市立大学看護学部

社会：在宅療養支援・ケアコーディネーション

P2-061 エイズ中核拠点病院における訪問看護師に対する実地研修の有用性

中村美保¹⁾、武内世生^{1,2,3)}、岡崎雅史¹⁾、見元 尚¹⁾、光畑知佐子¹⁾、前田武英¹⁾、北村直也¹⁾、西原えり子¹⁾、有瀬和美^{1,2)}、西崎紗矢香²⁾

1) 高知大学医学部附属病院 エイズ治療対策チーム
2) 高知大学医学部附属病院 感染制御部
3) 高知大学医学部附属病院 総合診療部

P2-062 多くの合併症を持った外国人感染者の訪問看護ステーションを利用した療養支援の経験

前田多見¹⁾、大石晃嗣⁵⁾、川原田真由¹⁾、ワキモト隆子¹⁾、地崎真寿美¹⁾、鳥井信子¹⁾、大治季代子²⁾、山田起久子²⁾、田所孝子³⁾、石橋美紀⁴⁾、松本剛史⁵⁾、内田恵一¹⁾

1) 三重大学医学部附属病院医療福祉支援センター
2) 内科外来
3) 血液内科病棟
4) 薬剤部
5) 輸血部

P2-063 自立困難なHIV陽性者に対するサポート体制について－自験例を元に考察する－

金井 修¹⁾、竹松茂樹²⁾、井上 悠³⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構京都医療センター呼吸器科
- 2) 独立行政法人国立病院機構京都医療センター薬剤部
- 3) 独立行政法人国立病院機構京都医療センター看護部

P2-064 介護付有料老人ホームでのHIV感染者の受け入れ

小川孔幸¹⁾、岡田知一²⁾、柳澤邦雄¹⁾、
林 俊誠³⁾、合田 史⁴⁾、野島美久¹⁾

- 1) 群馬大学医学部附属病院 血液内科
- 2) グリーンライフ株式会社 (入居相談センター)
- 3) 前橋赤十字病院 総合・感染症内科
- 4) 国立病院機構 高崎総合医療センター 総合診療科

P2-065 HIV陽性患者の在宅療養支援～院内外の多職種とのチームワークで自宅退院できた症例をとおして～

仲澤 恵¹⁾、人見優子¹⁾、高野尊行²⁾、
池野義彦³⁾、荒井邦彦⁴⁾、阿久津郁夫³⁾

- 1) 日本赤十字社那須赤十字病院看護部
- 2) 那須赤十字病院薬剤部
- 3) 那須赤十字病院内科
- 4) 済生会宇都宮病院総合内科

P2-066 調剤薬局におけるHIV患者の在宅医療へ向けた問題点の抽出とその対応

迫田直樹¹⁾、城 好江²⁾、堅田陽介³⁾

- 1) 株式会社法円坂メディカル 法円坂薬局
- 2) 法円坂メディカル株式会社 谷町センター薬局
- 3) 法円坂メディカル株式会社

P2-067 地域におけるHIV感染症患者の連携支援に関する調査

高山次代¹⁾、山下美津江¹⁾、北志保里^{1,2)}、
古川夢乃¹⁾、小谷岳春¹⁾

- 1) 石川県立中央病院
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団

P2-068 当院におけるHIV陽性者療養支援の現状と課題

南部千代恵¹⁾、小寺美智子¹⁾、梅澤有美子⁴⁾、
三嶋一輝⁵⁾、五十嵐敏明⁷⁾、田居克規²⁾、
池ヶ谷諭史^{2,6)}、岩崎博道⁶⁾

- 1) 福井大学医学部附属病院看護部
- 2) 福井大学医学部附属病院感染症・膠原病内科
- 3) 福井大学医学部附属病院薬剤部
- 4) 福井大学 松岡地区保健センター
- 5) 福井大学医学部附属病院医療サービス課
- 6) 福井大学医学部附属病院感染制御部
- 7) 福井大学医学部附属病院薬剤部

臨床：症例

P2-069 血友病Aに合併した狭心症に対し冠動脈形成術後の抗血小板療法2剤併用期間短縮を目的としてZotarolimus薬剤溶出ステントを用いた一例

本田元人¹⁾、中川 堯²⁾、山本正也²⁾、
谷崎隆太郎¹⁾、柴田 怜¹⁾、古川恵太郎¹⁾、
柳川泰昭¹⁾、小林泰一郎¹⁾、水島大輔¹⁾、
西島 健¹⁾、木内 英¹⁾、青木孝弘¹⁾、
渡辺恒二¹⁾、矢崎博久³⁾、田沼順子¹⁾、
塚田訓久¹⁾、瀧永博之¹⁾、照屋勝治¹⁾、
菊池 嘉¹⁾、原 久男²⁾、岡 慎一¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター
- 2) 国立国際医療研究センター病院 循環器科
- 3) 国立国際医療研究センター国府台病院 感染症科

P2-070 HIV感染症患者に合併した潰瘍性大腸炎

内山真理子¹⁾、山田 徹¹⁾、手塚貴文²⁾、
塚田弘樹²⁾

- 1) 新潟市民病院 薬剤部
- 2) 新潟市民病院 感染症内科

臨床：看護

P2-071 ブロック拠点病院とACCにおける「健康と生活調査」－基本的属性と感染判明後の生活変化－

若林チヒロ¹⁾、池田和子²⁾、岡本 学³⁾、
渡部恵子⁴⁾、遠藤知之⁴⁾、伊藤ひとみ⁵⁾、
伊藤俊広⁵⁾、川口 玲⁶⁾、田邊嘉也⁶⁾、
羽柴知恵子⁷⁾、横幕能行⁷⁾、高山次代⁸⁾、
上田幹夫⁸⁾、下司有加³⁾、白阪琢磨³⁾、
木下一枝⁹⁾、藤井輝久⁹⁾、城崎真弓¹⁰⁾、
山本政弘¹⁰⁾、岡 慎一²⁾、生島 嗣¹¹⁾

- 1) 埼玉県立大学
- 2) 独立行政法人国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
- 3) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
- 4) 北海道大学病院
- 5) 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
- 6) 新潟大学歯学総合病院
- 7) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
- 8) 石川県立中央病院
- 9) 広島大学病院
- 10) 独立行政法人国立病院機構九州医療センター
- 11) 特定非営利活動法人ぶれいす東京

P2-072 視力障害を持つAIDS患者の服薬支援

須藤美給子、山本奈津子、阿部直美、
工藤麻子、伊藤ひとみ、伊藤俊広、阿部憲介
独立行政法人国立病院機構仙台医療センター

一般演題 (ポスター)

P2-073 当院におけるHIV感染者の死に至るまでの経過に関する検討

羽柴知恵子¹⁾、前田絵美¹⁾、石原真理²⁾、
今村淳治²⁾、横幕能行²⁾、杉浦 互²⁾

1) 国立病院機構名古屋医療センター看護部
2) 国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター

P2-074 HIV感染者AIDS患者における他者告知の現状と背景要因の関連性の検討

渡邊三恵子¹⁾、香西早苗¹⁾、森田純子¹⁾、
笹本奈美¹⁾、西村瑞穂¹⁾、福田寛文²⁾、
徳永博俊²⁾、和田秀穂²⁾

1) 川崎医科大学附属病院 看護部
2) 川崎医科大学附属病院 血液内科学

P2-075 当院における現状

片井麻美
市立函館病院

P2-076 HIV/AIDS患者の日常生活における服薬継続の困難内容と退院支援の充実にむけて

福田愛香、山尾美希、増田雅子
国立病院機構 大阪医療センター

P2-077 青年期に発症した寝たきりAIDS患者に対する在宅療養支援

守屋千佳子¹⁾、千葉里沙¹⁾、三瓶 歩¹⁾、
黒川清美²⁾、神田恵里²⁾、前田卓哉³⁾、
小口康江¹⁾、川名明彦³⁾、小林智恵子¹⁾

1) 防衛医科大学校病院看護部
2) 防衛医科大学校病院地域医療連携室
3) 防衛医科大学校内科学 (感染症・呼吸器)

P2-078 HIV/AIDS患者の周囲への病名告知への実態

王 美玲、宮本京子、坂元裕子
大阪市立総合医療センター

P2-079 大阪HIVナースネットワーク会議のねらい

佐保美奈子¹⁾、古山美穂¹⁾、山田加奈子¹⁾、
椿 知恵¹⁾、工藤里香²⁾

1) 大阪府立大学大学院看護学研究科
2) 兵庫医療大学看護学部

P2-080 当院におけるHIV感染者の双胎妊娠における関わり

川口 玲、内山正子、清水さなえ、茂呂 寛
新潟大学医歯学総合病院

臨床：症例

P2-081 抗HIV療法中に関節炎性乾癬を発症した1例

伊熊素子、渡邊 大、廣田和之、小川吉彦、
矢嶋敬史郎、笠井大介、西田恭治、上平朝子、
白阪琢磨

国立病院機構大阪医療センター

P2-082 抗HIV療法の経過中にヘノッホ・シェーライン紫斑病を発症した成人HIV患者の1例

田中 勝¹⁾、佐々木秀悟¹⁾、関谷紀貴²⁾、
柳澤如樹¹⁾、菅沼明彦¹⁾、味澤 篤³⁾、
今村顕史¹⁾

1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科
3) 東京都保健医療公社豊島病院

P2-083 HIV感染とCMV感染に合併した副腎不全の1例

荘 信博、和田達彦、谷 名、児玉華子、
松枝 佑、小川英佑、有沼良幸、永井立夫、
田中住明、廣畑俊成

北里大学医学部 膠原病・感染内科学

臨床：服薬支援

P2-084 視覚障害患者への視覚障害者用点字シートを用いた服薬支援の症例

早川史織¹⁾、増田純一¹⁾、和泉啓司郎¹⁾、
田沼順子²⁾、菊池 嘉²⁾、岡 慎一²⁾

1) 国立国際医療研究センター病院 薬剤部
2) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

P2-085 抗てんかん薬併用中のアドヒアランス不良例に対する病棟薬剤の積極的介入の一例

有山真由美¹⁾、赤沢 翼¹⁾、増田純一¹⁾、
内野悦男¹⁾、澤井孝夫¹⁾、和泉啓司郎¹⁾、
柳川泰昭²⁾、矢崎博久²⁾、菊池 嘉²⁾、
岡 慎一²⁾

1) 国立国際医療研究センター病院薬剤部
2) 国立国際医療研究センター病院
エイズ・治療研究開発センター

P2-086 嚥下障害をもつ患者へのARTと問題点

服部公紀¹⁾、坂部茂俊²⁾、豊嶋弘一³⁾、
辻 幸太²⁾、谷村 学¹⁾

- 1) 伊勢赤十字病院薬剤部
- 2) 伊勢赤十字病院血液・感染症内科
- 3) 伊勢赤十字病院呼吸器内科

P2-087 認知機能障害を合併したAIDS患者の服薬支援と両親へのかかわり

中村聡洋¹⁾、小林瑞枝¹⁾、北島美加¹⁾、
小出光子¹⁾、石崎芳美¹⁾、兒玉知子²⁾、
柳澤邦雄³⁾、小川孔幸³⁾、野島美久³⁾

- 1) 群馬大学医学部附属病院 看護部
- 2) 群馬大学医学部附属病院 薬剤部
- 3) 群馬大学医学部附属病院 血液内科

P2-088 抗HIV薬服用中患者における「お薬手帳」の活用状況調査～見えてきた現状と課題～

海老昌子¹⁾、岡村奈津子¹⁾、細矢雅秀¹⁾、
西沢佳佑¹⁾、矢野道代¹⁾、星 正敏²⁾、
阿部真也³⁾、吉町昌子³⁾、後藤輝明³⁾

- 1) ツルハHD (株) リバース 調剤薬局ツルハドラッグ白金台店
- 2) ツルハHD (株) リバース
- 3) ツルハHD (株) ツルハ

P2-089 当薬局が経験したHIV患者から寄せられた問い合わせ事項について

田橋美佳¹⁾、滝澤杏美¹⁾、竹内大悟²⁾

- 1) 薬樹株式会社 薬樹薬局三ツ沢
- 2) 一般社団法人 ソーシャルユニバーシティ

P2-090 石川県立中央病院での院外処方せんの発行状況とその傾向

下川千賀子¹⁾、安田明子¹⁾、林 志穂¹⁾、
辻 典子²⁾、山田三枝子²⁾、柏原宏暢¹⁾、
小谷岳春³⁾

- 1) 石川県立中央病院 薬剤部
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団
- 3) 石川県立中央病院免疫感染症科

臨床：副作用

P2-091 アタザナビル結晶と推定された腎結石及び間質性腎炎の一例

市田裕之¹⁾、白野倫徳²⁾、佐々木剛¹⁾、
笠松 悠²⁾、後藤哲志²⁾、浅井利大³⁾、
奥野高裕⁴⁾、福島裕子⁴⁾、井上 健⁴⁾

- 1) 大阪市立総合医療センター薬剤部
- 2) 大阪市立総合医療センター感染症センター
- 3) 大阪市立総合医療センター泌尿器科
- 4) 大阪市立総合医療センター病理診断科

P2-092 AZTミオパチーを発症した血友病Aの一例

三浦 明¹⁾、酒井秀章¹⁾、田中洋康²⁾、
加藤量広³⁾、鈴木直輝³⁾、豎山真規³⁾

- 1) 国立病院機構 仙台西多賀病院 内科
- 2) 国立病院機構 仙台西多賀病院 神経内科
- 3) 東北大学病院 神経内科

P2-093 ラルテグラビルの大量内服後に重篤な有害事象なく経過したHIV感染者の一例

細田智弘^{1,2)}、松田直人²⁾、高橋雄一²⁾、
鈴木麻衣²⁾、福井由希子²⁾、乾 啓洋²⁾、
内藤俊夫²⁾

- 1) 川崎市立川崎病院感染症内科
- 2) 順天堂大学医学部総合診療科

P2-094 Genome-wide association study of HIV-related lipatrophy in Thai patients: Association of a DLGAP1 polymorphism with fat loss

中山英美¹⁾、Uttayamakul Sumonmal²⁾、
Tiphaine Oudot-Mellakh³⁾、
Pimrapat Tengtrakulcharoen⁴⁾、
Julien Guernon³⁾、
Jean-Francois Delfrayssy⁵⁾、
Srisin Khusmith⁶⁾、Chariya Sangsajja²⁾、
Sirirat Likanonsakul²⁾、
Ioannis Theodorou³⁾、塩田達雄¹⁾

- 1) 大阪大学微生物病研究所 ウイルス感染制御分野
- 2) Bamrasnaradura Infectious Diseases Institute, Thailand
- 3) Hopital Pitie-Salpetriere, France
- 4) Siriraj Hospital, Mahidol University, Thailand
- 5) Hopital Kremlin-Bicetre, France
- 6) Faculty of Tropical medicine, Mahidol University, Thailand

P2-105 腎機能に影響を及ぼす薬剤を使用したレジメンでの腎機能検査値推移の調査

石橋幹雄、久保庸子、内藤哲哉、酒井義朗、
中垣春美、有馬千代子

久留米大学付属病院薬剤部

臨床：生活習慣病関連合併症 (骨)

P2-095 当院における HIV 患者の骨密度測定について

竹松茂樹¹⁾、井上 悠²⁾、岩嶋貴子²⁾、
金井 修³⁾、永井聡子¹⁾、河合 実¹⁾、
玉田太志¹⁾、北村良雄¹⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構京都医療センター 薬剤科
- 2) 同 看護部
- 3) 同 呼吸器内科

P2-100 ガーナ共和国における HIV-2 感染の実態調査に関する研究

井戸栄治^{1,2)}、Jacob Barnor²⁾、
Ishmael Aziati²⁾、Esinam Agbosu²⁾、
James Brandful²⁾、William Ampofo²⁾、
Samson Ofori³⁾、山岡昇司¹⁾

- 1) 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
- 2) ガーナ大学野口記念医学研究所
- 3) コフォリデュア州立病院

臨床：母子感染

P2-096 妊婦 HIV スクリーニング検査実施率と他の感染症検査との比較

吉野直人^{1,2)}、喜多恒和²⁾、高橋尚子^{1,2)}、
伊藤由子²⁾、杉山 徹²⁾、竹下亮輔²⁾、
外川正生²⁾、戸谷良造²⁾、稲葉憲之²⁾、
和田裕一²⁾、塚原優己²⁾

- 1) 岩手医科大学微生物学講座感染症学・免疫学分野
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 母子感染の疫学調査と予防対策および女性・小児感染者支援に関する研究」班

P2-101 HIV-1 感染急性期における HIV 特異的な病態バイオマーカーの探索について

重見 麗¹⁾、蜂谷敦子¹⁾、松田昌和¹⁾、
今村淳治¹⁾、渡邊綱正^{1,2)}、横幕能行¹⁾、
岩谷靖雅^{1,3)}、杉浦 互^{1,3)}

- 1) (独) 名古屋医療センター
- 2) 名古屋市立大学大学院医学研究科病態医科学
- 3) 名古屋大学大学院医学系研究科

P2-097 母乳を介した HIV 母子感染予防法の確立

武田 哲¹⁾、堀谷まどか^{2,3)}、山口晃史⁴⁾

- 1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター
- 2) 国立感染症研究所 ウイルス第一部
- 3) 東京慈恵会医科大学産婦人科講座
- 4) 国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター

P2-102 次世代シーケンサを用いた Human Papillomavirus の検出及び解析方法の開発

魚田 慎¹⁾、今村淳治¹⁾、古川聡美³⁾、
大出裕高¹⁾、横幕能行²⁾、杉浦 互¹⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部
- 2) 独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター エイズ治療開発センター
- 3) 独立行政法人地域医療機能推進機構 東京山手メディカルセンター 大腸・肛門科

基礎

P2-098 HIV 感染小児におけるプロバイオティクス短期間投与の効果

石崎有澄美¹⁾、畢 袖晴¹⁾、
Nguyen Van Lam²⁾、松田一乗³⁾、
Pham Viet Hung^{1,2)}、
Phan Thi Thu Chung^{1,2)}、緒方清仁³⁾、
Phung Thi Bick Thuy²⁾、Pham Nhat An²⁾、
Khu Thi Khanh Dung²⁾、市村 宏¹⁾

- 1) 金沢大学医薬保健学総合研究科 ウイルス感染症制御学分野
- 2) ハノイ市国立小児病院
- 3) ヤクルト本社 中央研究所

P2-099 HIV 感染経路が抗ウイルス薬感受性とウイルス産生に与える影響

志村和也、松岡雅雄

京都大学ウイルス研究所